

# 第4章

---

## 初期設定と システムプログラミング

この章では、システムの電源投入からシステムプログラミングやシステムコードレスのID登録など、初期設定の方法について説明します。

## 交換機の電源投入

### ■ 電源投入時の注意事項

システムの電源を投入する前に、次の項目をもう一度点検してください。

- 基板ユニットは所定のスロットに確実に装着されているか。
- ケーブル、コネクタ類の配線と接続は正しく確実に行われているか。
- アースは正しく接続されているか。

### ■ 電源投入

次の手順で電源を投入してください。

1. 電源ユニット E-7000DS、電源フレーム E-7000PS、および蓄電池フレーム E-7000BC の POWER スイッチが「OFF」になっていることを確認します。
2. 電源フレームと蓄電池フレームの AC コードを電源コンセントに接続します。
3. 電源フレームの POWER スイッチを「ON」にします。このとき、緑色の LED ランプが点灯することを確認してください。
4. 蓄電池フレームの POWER スイッチを「ON」にします。このとき、緑色の LED ランプが点灯することを確認してください。
5. 蓄電池フレームの OUTPUT スイッチを「ON」にします。
6. 基本フレーム E-7000BF のフロントパネルのファンコネクタを接続します。
7. 電源ユニットのスイッチを「ON」にします。

※ 拡張フレームを使用しているときは、拡張フレーム側の電源ユニットのスイッチを先に「ON」にします。その後、基本フレーム側の電源ユニットのスイッチを「ON」にします。このとき、電源ユニットにある 4 個の緑色の LED が点灯することを確認してください。

## 初期設定

本システムは、工場出荷時に 160 回線すべての登録が多機能マスターで、局番は「000」～「159」に設定されています。

したがって、要求される仕様に登録する前に再度、登録データを初期化する必要があります。以下にその方法について説明します。

### ■ 登録データの初期化

1. 「システムプログラミングのしかた」( P.4-4) に従ってシステムプログラムモードに移行します。
2. ⑧、⑩ キーを押し、選択キーを押します。

続けて、選択キーを押すとメモリの初期化モードに移行します。以下の手順は、「メモリの初期化」( P.4-43) に従って行ってください。

→ 8 0  
メモリー ノ ショキカ

# システムプログラミング

システムプログラミングは、局番の設定やページングの系統分けなど、システムの仕様を要求される仕様に合わせるための作業です。以下にシステムプログラミングで設定する項目とその内容を説明します。

※ 以下の内容は、160回線までのシステムの登録方法です。

160回線を超えるシステムでは、付属のパソコンプログラムで登録してください。

## ■ 登録のキー操作

プログラミングするときの各キーの操作は以下のとおりです。

キ ー	操 作
メニュー 	プログラムモード、通常モードの表示切り換え
   	矢印（カーソル）の移動
選択 	選択と入力決定
保留 	設定中のメニューの最初に戻る
	表示されているデータのクリア

特番などに登録するときの各キーは、以下のように画面表示されます。

キ ー	表 示	キ ー	表 示
 ~ 	0 ~ 9	転送 	TR
	#	リダイヤル 	-
	*	機能 	F-
呼出 	P-	PTT 	PT
応答 	R-		C
保留 	HD		

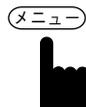
## ■ システムプログラミングのしかた

システムプログラミングには多機能マスター端末（S-7000MまたはS-7010M）が必要です。まず、多機能マスター端末を任意の回線に接続します。

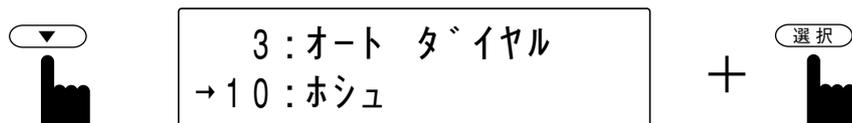
システムプログラミングは次の手順で行います。

※ 第7章に、システムプログラミングに便利な設定表を用意しています。  
必要な設定表をコピーしてご使用ください。

1. メニューキーを押します。



2. 下矢印キーを押して「10：ホシュ」を表示させ、選択キーを押します。

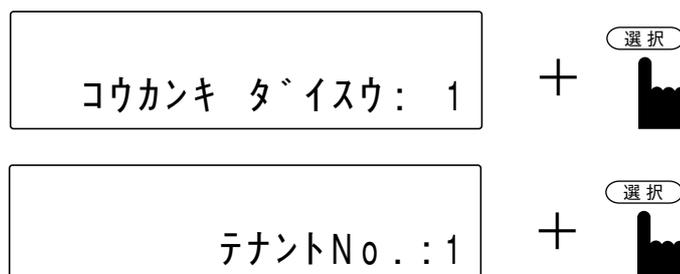


※ ① キーだけを押ししても、次の「パスワード」に入ることができます。

3. 「パスワード」が表示されますので ① ① ⑧ ② を入力し、選択キーを押します。



4. 「コウカンキ ダイスウ：1」と「テナントNo.：1」を選択キーを押して選択します。



5. LCD表示が「ラインゾクセイ トウロク」に移ると、各登録データをプログラミングできる状態になります。上下の矢印キーを押して、必要な設定項目を選択してください。

※ 機能コード番号を直接入力して選択することもできます。

→01 ラインゾクセイ トウロク
---------------------

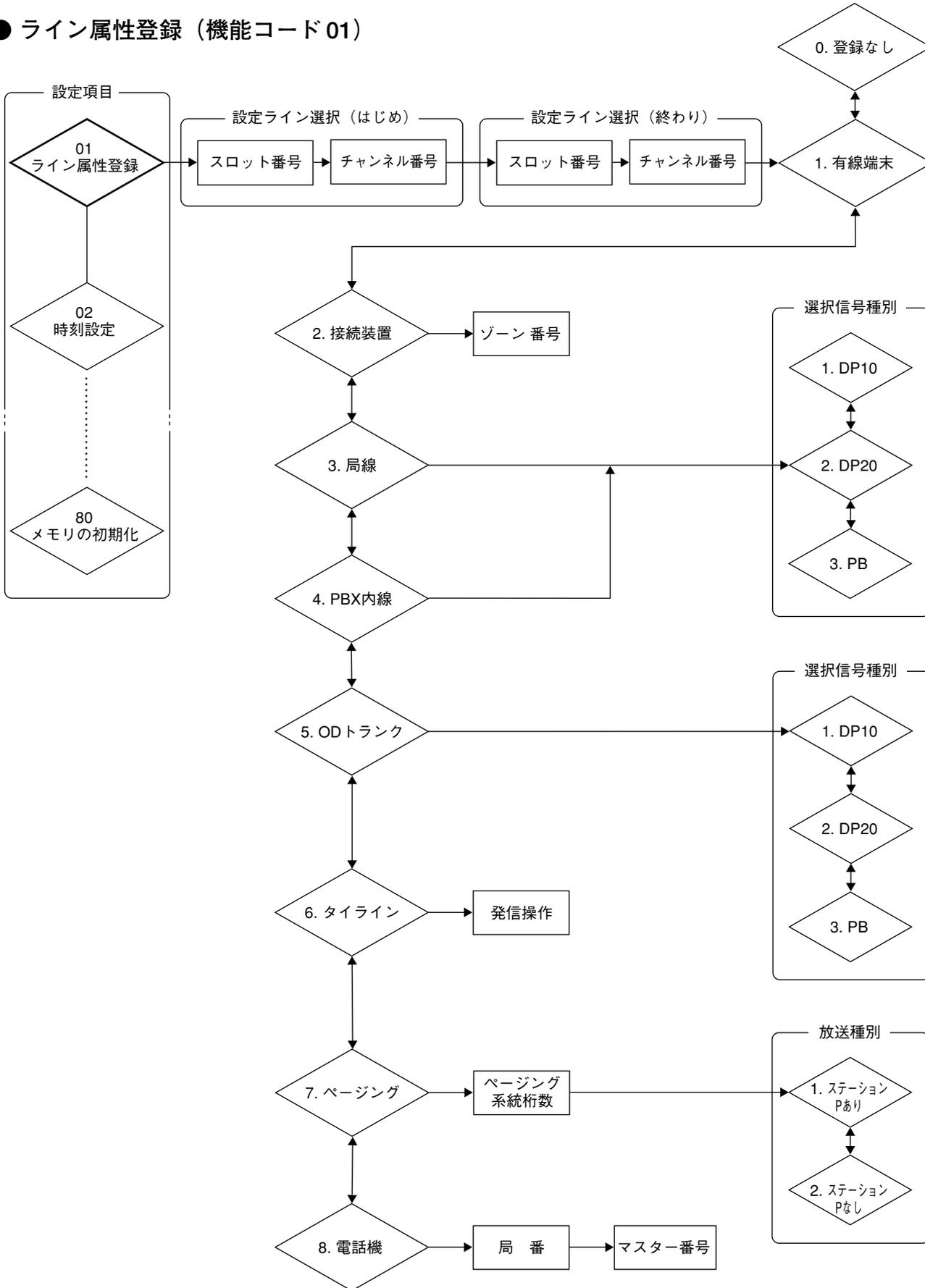
6. 「システムプログラミング設定項目」( P.4-6) に従って必要な登録をしてください。

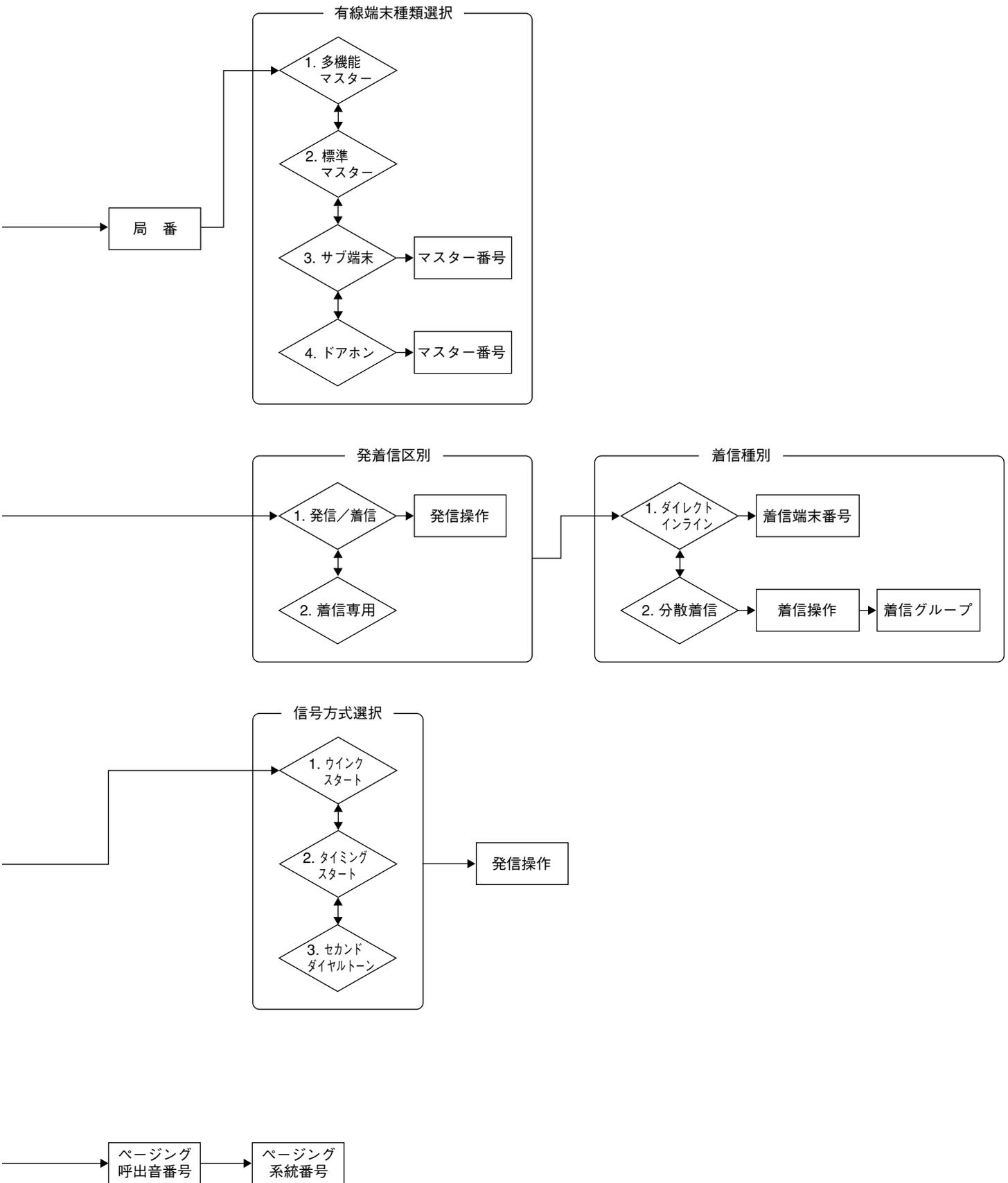
※ 各設定項目のページは、「目次」をご覧ください。

## ■ システムプログラミング設定項目

各設定項目の機能説明については、第1章の「機能仕様」( P.1-10) をお読みください。

### ● ライン属性登録 (機能コード 01)





## 第4章 初期設定とシステムプログラミング

ライン属性登録は、交換機フレームの各スロットに装着された基板ユニットのチャンネルごとの仕様を決定します（詳細は第2章をお読みください）。

チャンネル数（回線数、系統数）はユニットにより異なります。

- ・デジタルラインユニット E-7000DL、ページングユニット E-7000PI、およびアナログラインユニット E-7000AL は 8 チャンネル（No.1～8）です。
- ・局線ユニット E-7000CO とタイラインユニット E-7000TI は 4 チャンネル（No.1～4）です。

### 1. 登録する回線を範囲指定します。

登録指定する範囲の最初のスロット番号（SL）とチャンネル番号（CH）を入力します。

ライン（ハジメ）  
EX 01:SL→■■:CH ■

次に、終わりのスロット番号（SL）とチャンネル番号（CH）を入力します。

ライン（ -オワリ）  
-SL→■■:CH ■

### 2. 指定した回線の種類（0～8）を選択します。

E-7000DL の場合は、「1. ユウセンタンマツ」または「2. セツゾクソウチ」を選択します。

E-7000CO の場合は、「3. キョクセン」または「4. PBX ナイセン」を選択します。

E-7000TI の場合は、「5. OD トランク」または「6. タイライン」を選択します。

E-7000PI の場合は、「7. ページング」を選択します。

E-7000AL の場合は、「8. デンワキ」を選択します。

#### ① 「0. トウロクナシ」を選択する場合

ライン属性を登録しないときに選択します。  
一度登録したライン属性を消去するときに選択します。  
ユニットを実装しないスロットのときに選択します。

01:01:1  
→0. トウロクナシ

#### ② 「1. ユウセンタンマツ」を選択した場合

局番を登録します。

複数の回線を選択しているときは、最初の局番を入力すれば自動的に1番送りで登録されます。

局番は最大6桁で自由に設定できます。ただし、桁数の異なる局番を混在させることはできません。

S-7000M/-7010M を接続するときは、「1. タキノウ マスター」を選択します。

S-7030M/-7040M/-7050M/-7060M を接続するときは、「2. ヒョウジュン マスター」を選択します。

01:01:1  
→1. ユウセンタンマツ

01:01:1  
キョクハン→■■■■■■

01:01:1  
→1. タキノウ マスター

01:01:1  
→2. ヒョウジュン マスター

S-7000S を接続するときは、「3. サブタンマツ」を選択します。

01:01:1  
→3. サブタンマツ

S-7000D を接続するときは、「4. ドアホン」を選択します。

01:01:1  
→4. ドアホン

「3. サブタンマツ」、「4. ドアホン」を選択したときは、マスター番号（呼出先の局番）を登録します。マスター番号となる局番は、事前に登録しておく必要があります。

01:01:1  
マスターNo. → ■■■■■■

③ 「2. セツゾクソウチ」を選択した場合

01:01:1  
→2. セツゾクソウチ

選択した接続装置のゾーン番号（001～160）を登録します。

※ ゾーン番号の設定方法は、第2章の「システムコードレスの設計」（P.2-7）をお読みください。

01:01:1  
ゾーンNo. → ■■■

④ 「3. キョクセン」を選択した場合

接続する回線に従って選択信号種別を「1. DP10」、「2. DP20」、「3. PB」の中から選択します。

01:01:1  
→3. キョクセン

この回線の発着信区別を「1. ハッシン/チャクシン」、「2. チャクシンセンヨウ」の中から選択します。

ここで、「1. ハッシン/チャクシン」を選択したときは、発信操作特番（最大4桁）を登録します。

01:01:1  
→1. ハッシン/チャクシン

01:01:1  
ハッシンソウサ → ■■■■

この回線の着信種別を「1. ダイレクトインライン」、「2. ブンサンチャクシン」の中から選択します。

「1. ダイレクトインライン」を選択したときは、着信時に呼び出す端末の局番を登録します。

01:01:1  
→1. ダイレクトインライン

01:01:1  
チャクシンタンマツ → ■■■■■■

## 第4章 初期設定とシステムプログラミング

「2. ブンサンチャクシン」を選択したときは、着信操作特番（最大4桁）を登録します。

01:01:1  
→2.ブンサンチャクシン

次に、「チャクシングループ」で着信グループ番号（001～100）を登録します。

01:01:1  
チャクシンソウサ→■■■■

※ 着信グループの所属端末は、「CO着信グループ所属設定」（P.4-40）で設定します。

01:01:1  
チャクシングループ°→■■■

### ⑤ 「4. PBX内線」を選択した場合

接続する回線に従って選択信号種別を「1. DP10」、「2. DP20」、「3. PB」の中から選択します。

01:01:1  
→4.PBXナイセン

この回線の発着信区別を「1. ハッシン／チャクシン」、「2. チャクシンセンヨウ」の中から選択します。

ここで、「1. ハッシン／チャクシン」を選択したときは、発信操作特番（最大4桁）を登録します。

01:01:1  
→1.ハッシン/チャクシン

この回線の着信種別を「1. ダイレクトインライン」、「2. ブンサンチャクシン」の中から選択します。

01:01:1  
ハッシンソウサ→■■■■

「1. ダイレクトインライン」を選択したときは、着信時に呼び出す端末の局番を登録します。

01:01:1  
→1.ダイレクトインライン

01:01:1  
チャクシンタンマツ→■■■■■■

「2. ブンサンチャクシン」を選択したときは、着信操作特番（最大4桁）を登録します。

01:01:1  
→2.ブンサンチャクシン

01:01:1  
チャクシンソウサ→■■■■

次に、「チャクシングループ」で着信グループ番号（001～100）を登録します。

01:01:1  
チャクシングループ°→■■■

※ 着信グループの所属端末は、「CO着信グループ所属設定」（☞ P.4-40）で設定します。

⑥ 「5. ODトランク」を選択した場合

接続する回線に従って選択信号種別を「1. DP10」、「2. DP20」、「3. PB」の中から選択します。

01:01:1  
→5.ODトランク

接続する相手に合わせて選択信号送受信方式を「1. ウィンクスタート」、「2. タイミングスタート」、「3. 2ndダイヤルトーン」の中から選択します。

「ハッシンソウサ」で、この回線の発信操作特番（最大4桁）を登録します。

01:01:1  
ハッシンソウサ→■■■■

⑦ 「6. タイライン」を選択した場合

「ハッシンソウサ」で、この回線の発信操作特番（最大4桁）を登録します。

01:01:1  
→6.タイライン

01:01:1  
ハッシンソウサ→■■■■

⑧ 「7. ページング」を選択した場合

使用するページング系統数に従って系統番号の桁数（1～3）を登録します。

01:01:1  
→7.ページング

01:01:1  
Pケイトウケタスウ→■

10系統未満 : 1桁  
100系統未満 : 2桁  
100系統以上 : 3桁

## 第4章 初期設定とシステムプログラミング

ステーションページングの有無を選択します。

系統内にステーションページングが含まれているときは「1.ステーションP アリ」を選択します。

01:01:1  
→1.ステーションP アリ

拡声装置だけのときは「2.ステーションP ナシ」を選択します。

01:01:1  
→2.ステーションP ナシ

ページング呼出音を0～6の中から選択します。  
(0は呼出音なし)

01:01:1  
PヨビダシオンNo. →■

ページング呼出音の確認のしかた

「PヨビダシオンNo.」に番号を入れ、「PTT」キーを押している間は、その入力番号の呼出音が流れます。

この回線の系統番号を登録します。  
(系統を範囲指定しているときは、入力した番号から1番送りで自動的に割り振られます。)

01:01:1  
PケイトウNo. →■■■

### ⑨「8.デンワキ」を選択した場合

局番を登録します。  
複数の回線を選択しているときは、最初の局番を入力すれば自動的に1番送りで登録されます。  
局番は最大6桁で自由に設定できます。ただし、桁数の異なる局番を混在させることはできません。

01:01:1  
→8.デンワキ

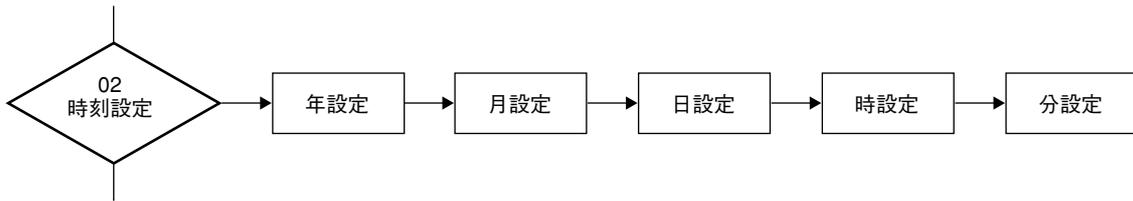
電話機の受話器を取り上げただけで相手呼び出したいときは、マスター番号（呼出先の局番）を登録します。  
マスター番号となる局番は、事前に登録しておく必要があります。

01:01:1  
キョクハバン →■■■■■

※ この呼び出しが必要ないときは、マスター番号の登録はしなくてもかまいません。

01:01:1  
マスターNo. →■■■■■

● 時刻設定 (機能コード 02)



時刻設定は、日付と時刻を設定します。

1. 日付の設定をします。

「年、月、日」の順に入力します。

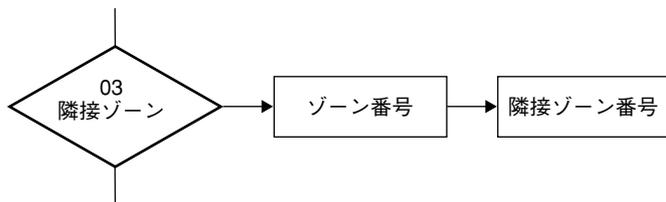
ヒツケセッテイ  
→ '■■■/■■■/■■■

2. 時刻の設定をします。

「時、分」の順に入力します。

'98/07/16(Thu)  
ジゴク →■■■:■■■:00

● 隣接ゾーン設定 (機能コード 03)



隣接ゾーン設定は、コードレスシステムに必要な隣接ゾーンを設定します。

1. ゾーン番号 (001～160) を入力します。

ゾーンNo. →■■■

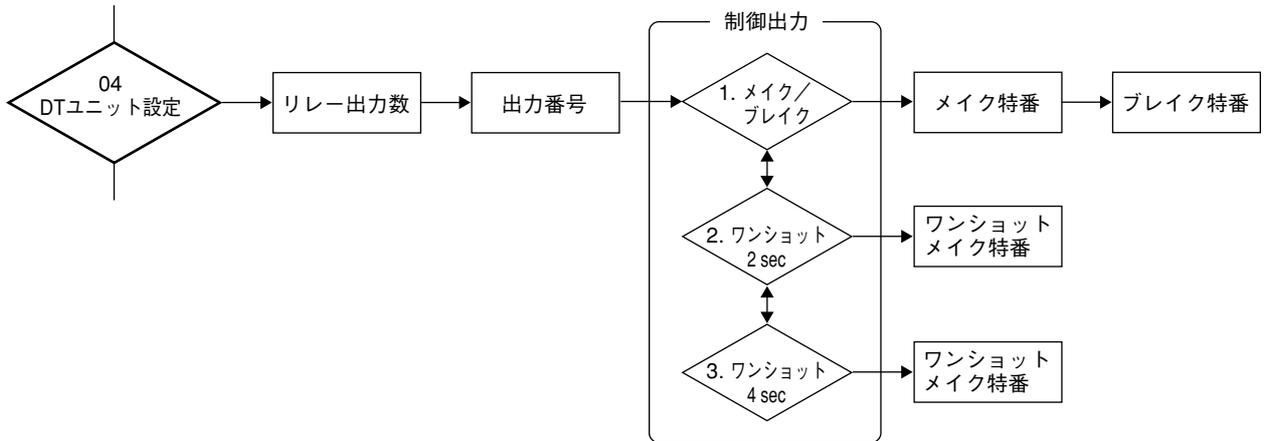
2. 1項で入力したゾーンに隣接するゾーン番号 (001～160) を入力します。(最大10ゾーン)

リンセツ ゾーン Z001  
→■■■

※ 複数の隣接するゾーン番号を入力するときは、最初のゾーン番号を入力したあとに右矢印キーを押し、次のゾーン番号を入力します。  
すべてのゾーン番号の入力が終わりましたら、選択キーを押してください。

リンセツ ゾーン Z001  
040→■■■

● DTユニット設定 (機能コード 04)



DTユニット設定は、DTユニットに接続されるデータ受信ユニット (DR-B61) の仕様に関する設定をします。

1. リレー出力数を設定します。

- 100接点まで：2桁
- 512接点まで：3桁

リレー シュツリヨクスウ  
→ ■ケタ

2. 2桁 (100接点) を選択したときは、出力番号を設定します。

- 出力1：DR-B61のワード0～6に対応
- 出力2：DR-B61のワード8～14に対応
- 出力3：DR-B61のワード16～22に対応
- 出力4：DR-B61のワード24～30に対応

シュツリヨク→■

3. リレー接点の動作モードを「1. メイク/ブレイク」、「2. ワンショット 2sec」、「3. ワンショット 4sec」の中から選択します。

4. 操作の特番を設定します。

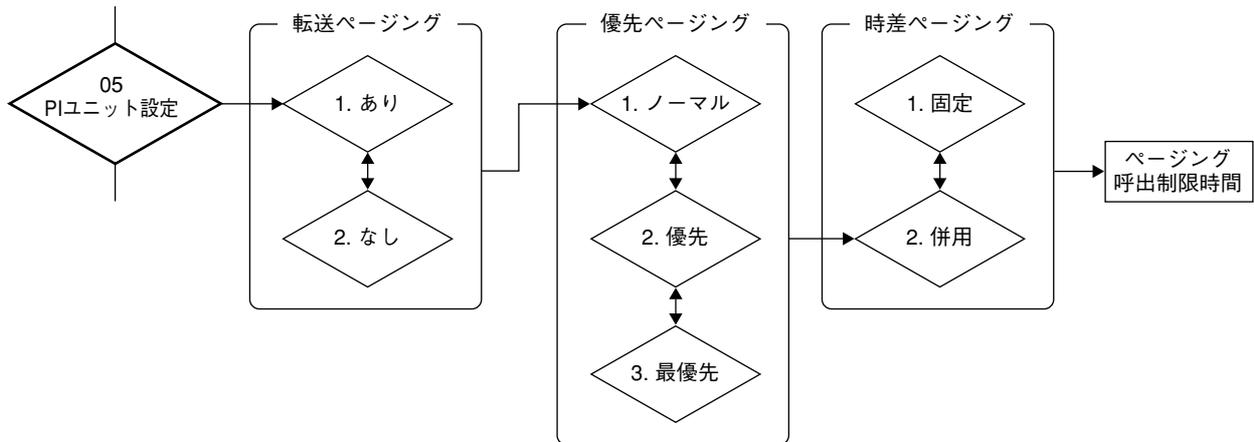
- メイク/ブレイク：2種類
- ワンショット：1種類

シュツリヨク1 メイク  
トクハバン→■■■■■■■

シュツリヨク1 ブレイク  
トクハバン→■■■■■■■

シュツリヨク1  
トクハバン→■■■■■■■

● PIユニット設定（機能コード05）



PIユニット設定は、ページング機能に関する設定をします。

1. 転送ページング機能の使用を「1. アリ」、「2. ナシ」から選択します。

テンソウ ハ°-ジ`ンク`  
→ 1. アリ 2. ナシ

2. ステーションページングの動作モードを「1. ノーマル」、「2. ユウセン」、「3. サイユウセン」の中から選択します。

3. 時差ページングの設定をします。

ページング放送が、時差ページングだけのときは、「1. コテイ」を選択します。

ジ`サ ハ°-ジ`ンク`  
1. コテイ → 2. ハイヨウ

時差ページングと通常ページングを併用するときは、「2. ハイヨウ」を選択します。

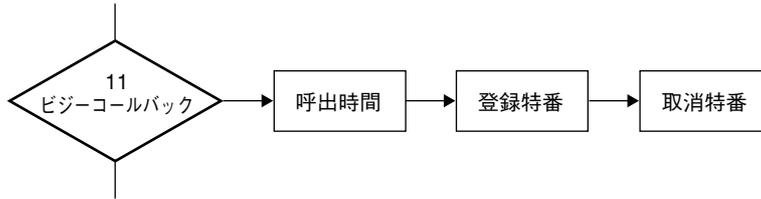
4. ページング放送の制限時間（0～255分）を設定します。

ここでの設定時間で、ページング放送が自動的に放送が終了します。

ハ°-ジ`ンク` ヨヒ`タ`シ  
セイケンジ`カン → ■■■ min

※ 制限時間を0に設定すると、無制限となります。

● ビジーコールバック（機能コード11）



ビジーコールバック機能に関する設定をします。

1. ビジーコールバックの呼出時間（1～180秒）を設定します。

ビジーコールバック ヨビタシ→■■■sec
--------------------------

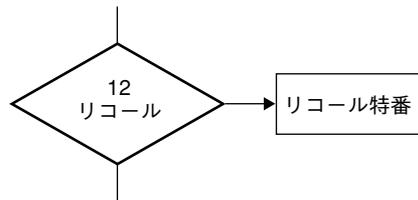
2. ビジーコールバック登録特番（1桁）を登録します。

ビジーコールバックトウロク トクハン→ ■
--------------------------

3. ビジーコールバック取消特番（最大6桁）を登録します。

ビジーコールバックトリケシ トクハン→■■■■■■
------------------------------

● リコール設定（機能コード12）

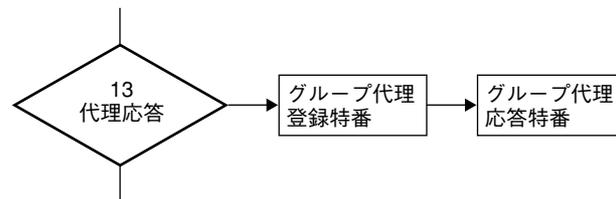


リコール機能に関する設定をします。

リコール特番（最大6桁）を登録します。

リコール トクハン→■■■■■■
---------------------

● 代理応答設定（機能コード13）



代理応答機能に関する設定をします。

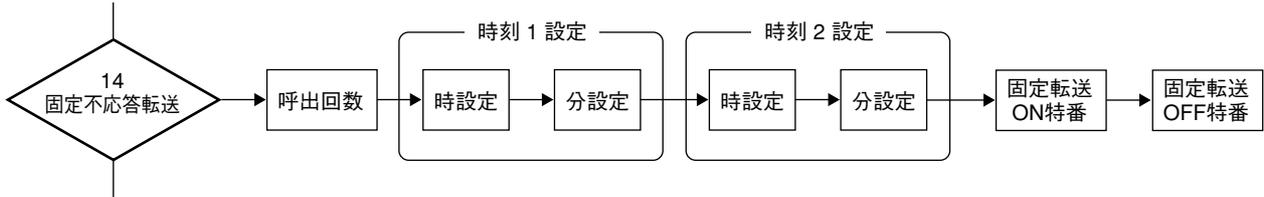
1. グループ代理登録特番（最大6桁）を登録します。

グループ代理登録特番 トクハン→■■■■■■
---------------------------

2. グループ代理応答特番（最大6桁）を登録します。

グループ代理応答特番 トクハン→■■■■■■
---------------------------

● 固定不応答転送設定（機能コード14）



固定不応答転送機能に関する設定をします。

1. 転送するまでの呼出回数を設定します。（1～255回）

コテイ フアウトウ テンソウ  
ヨヒ`タ`シカイスウ→■■■

2. 転送先を時刻によって切り換えるときの、切り換え時刻を登録します。

時刻1の「時」と「分」を入力し、次に時刻2の「時」と「分」を入力します。

※ 時刻による切り換えをしないときは、時刻1と時刻2を同じにします。

コテイ テンソウサキ キリカエ  
ジ`コク1 →■■: ■■-

コテイ テンソウサキ キリカエ  
ジ`コク2 →■■: ■■-

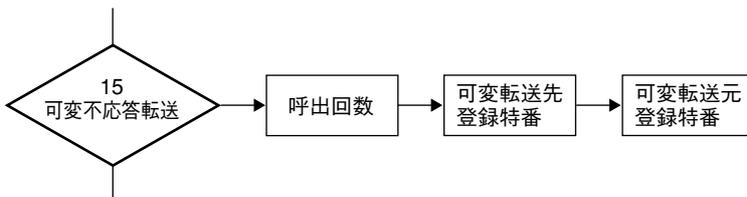
3. 固定不応答転送 ON 特番（最大6桁）を登録します。

コテイ テンソウ ON  
トクハン→■■■■■■

4. 固定不応答転送 OFF 特番（最大6桁）を登録します。

コテイ テンソウ OFF  
トクハン→■■■■■■

● 可変不応答転送設定（機能コード15）



可変不応答転送機能に関する設定をします。

1. 転送するまでの呼出回数（0～255回）を設定します。

カハン フアウトウ テンソウ  
ヨヒ`タ`シカイスウ→■■■

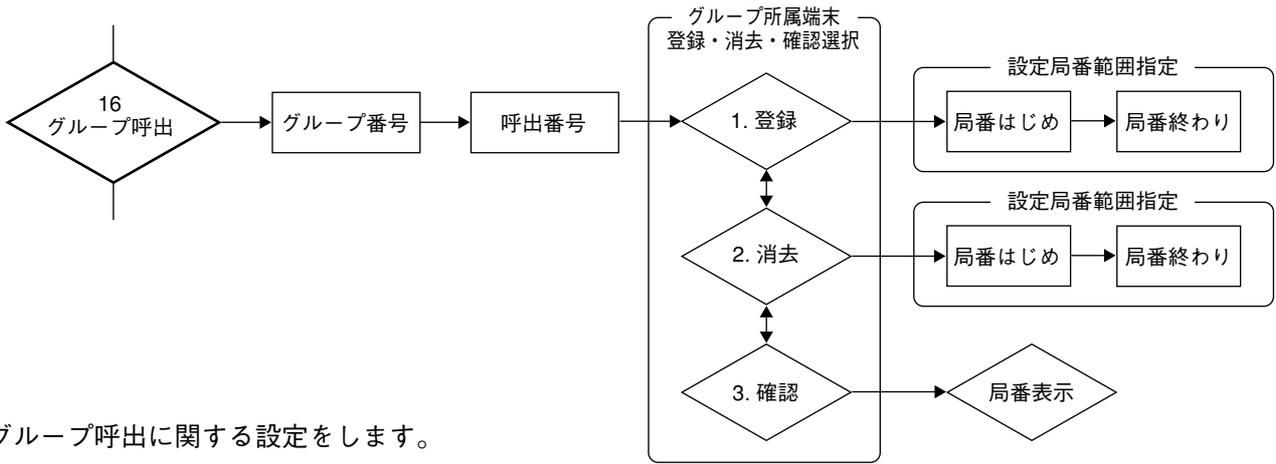
2. 転送先（移動先）から登録する為の可変転送先登録特番（最大6桁）を登録します。

カハン テンソウサキ トウロク  
トクハン→■■■■■■

3. 転送元（自席）から登録する為の可変転送元登録特番（最大6桁）を登録します。

カハン テンソウモト トウロク  
トクハン→■■■■■■

● グループ呼出設定 (機能コード 16)



グループ呼出に関する設定をします。

1. グループ番号 (001 ~ 100) を入力します。

グループ No. → ■■■■

2. 手順 1. で入力したグループを呼び出す番号 (最大 6 桁) を登録します。

グループヨビタシ G001  
ダイヤル → ■■■■■■

3. 手順 1. で入力したグループに対しての作業を「1. トウロク」、「2. ショウキョ」、「3. カクニン」の中から選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合

登録したい端末の局番を範囲で指定します。

※ 1つのグループに登録できる端末は最大 16 台です。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

グループヨビタシ G001  
→ 1. トウロク

タンマツトウロク G001  
キョクハバン → ■■■■■■-

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去したい端末の局番を範囲で指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

グループヨビタシ G001  
→ 2. ショウキョ

タンマツショウキョ G001  
キョクハバン → ■■■■■■-

③ 「3. カクニン」を選択した場合

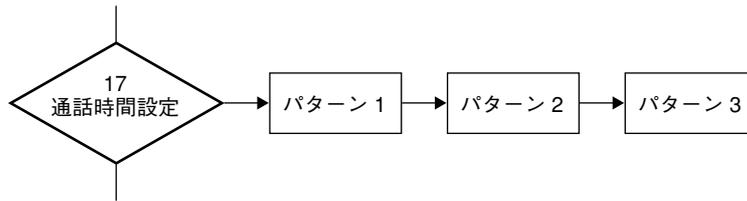
指定したグループの登録されている局番を表示します。

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

グループヨビタシ G001  
→ 3. カクニン

タンマツカクニン G001  
キョクハバン: 000000

● 通話時間設定（機能コード17）



通話時間設定は、通話時間制限機能の制限時間のパターンを設定します。

1. パターン1の制限時間（0～255分）を入力します。

ツウワシ`カン セッテイ  
ハ`ターン1→■■■min

2. パターン2の制限時間（0～255分）を入力します。

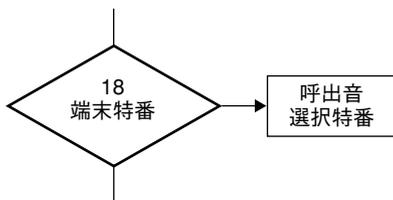
ツウワシ`カン セッテイ  
ハ`ターン2→■■■min

3. パターン3の制限時間（0～255分）を入力します。

※ 制限時間を0に設定すると、データなしになります。

ツウワシ`カン セッテイ  
ハ`ターン3→■■■min

● 端末特番（機能コード18）



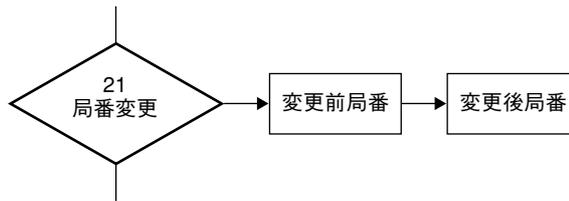
端末特番は、端末で着信音を変更するための設定をします。

端末から呼出音を変更するための操作特番（最大6桁）を登録します。

ヨヒ`タ`シオン センタク  
トクハ`ン→■■■■■■



● 局番変更（機能コード 21）



局番変更は、端末の局番を変更するときに設定します。

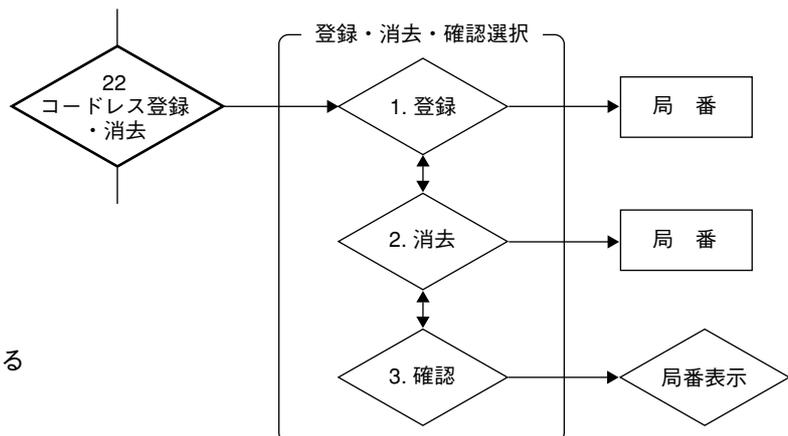
1. 変更前の局番を入力します。



2. 次に、新たに登録する局番を入力します。



● コードレス登録・消去（機能コード 22）



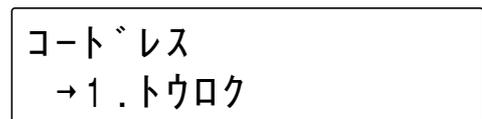
コードレス端末の局番を、登録・消去するときに設定します。

**ご注意**

- コードレス端末の局番は、ここでの登録だけでは設定完了とはなりません。
- 「コードレス端末の局番設定」（P.4-43）に従って、コードレス端末からも設定してください。

コードレス端末の局番を登録するときは「1. トウロク」を、消去するときは「2. ショウキョ」を選択します。また、登録した局番を確認するときは「3. カクニン」を選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合



登録する局番を入力します。



## 第4章 初期設定とシステムプログラミング

### ② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去する局番を入力します。

コートドレス  
→2. ショウキョ

コートドレス ショウキョ  
キョクハバン → ■■■■■■

### ③ 「3. カクニン」を選択した場合

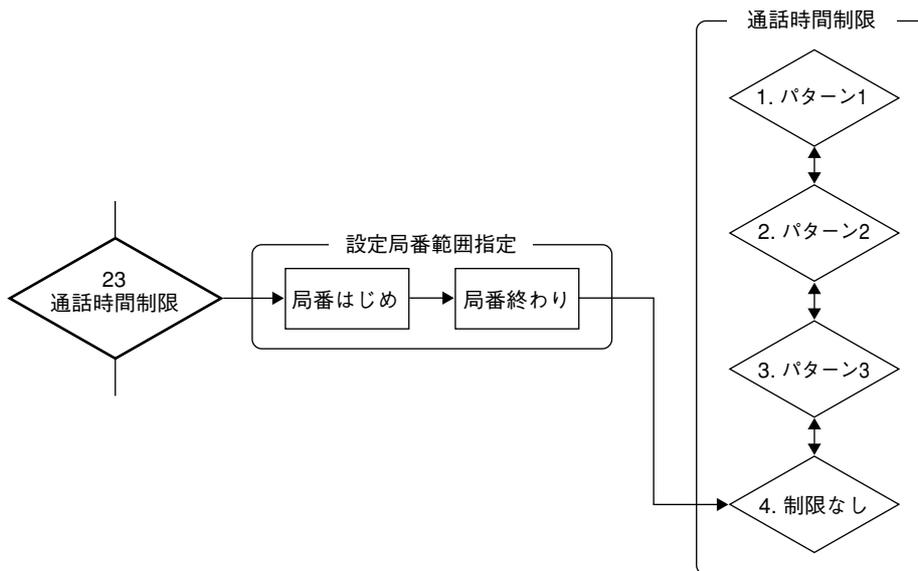
登録されている局番を表示します。

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

コートドレス  
→3. カクニン

コートドレス カクニン  
キョクハバン: 000000

## ● 通話時間制限 (機能コード 23)



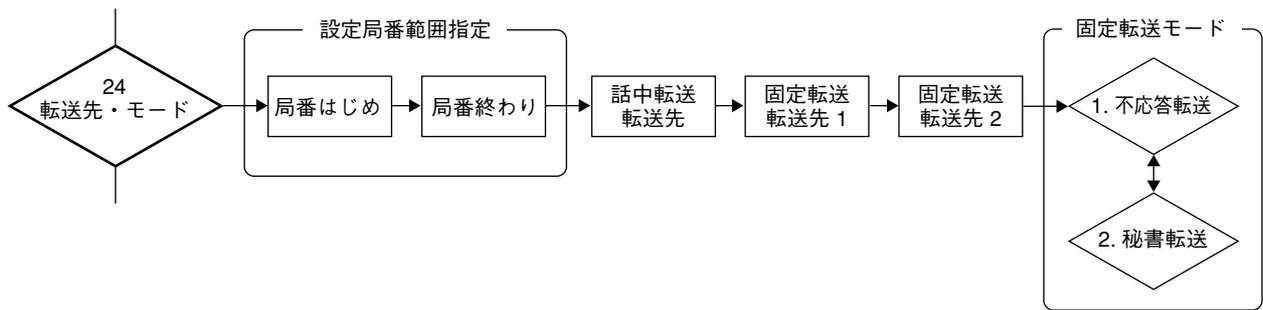
通話時間制限は、端末ごとの通話時間の選択をします。

1. 通話時間を設定する局番を範囲で指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。
2. 通話時間設定 ( P.4-19) で設定したパターン1、2、3の中から適用するパターンを選択します。
3. 制限なしのときは「4. ナシ」を選択します。

キョクハバン(ハジメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

ツウワジカン セイケン  
→4. ナシ

● 転送先・モード設定（機能コード24）



転送先・モード設定は、話中転送と固定不応答転送に関する設定をします。

1. 転送元の局番を範囲で指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

キョクハバン(ハジメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

2. 話中転送先の局番を登録します。

ワチュウテンソウ  
テンソウサキ→ ■■■■■■

3. 固定不応答転送先の局番を登録します。  
固定不応答転送設定（☎ P.4-17）で登録した、時刻1～2の間の転送先を登録します。

コテイテンソウ1 00:00-  
テンソウサキ→ ■■■■■■

続いて、時刻2～1の間の転送先を登録します。

※時刻1、2での切り換えを使用しないときは、固定転送1で設定してください。

コテイテンソウ2 00:00-  
テンソウサキ→ ■■■■■■

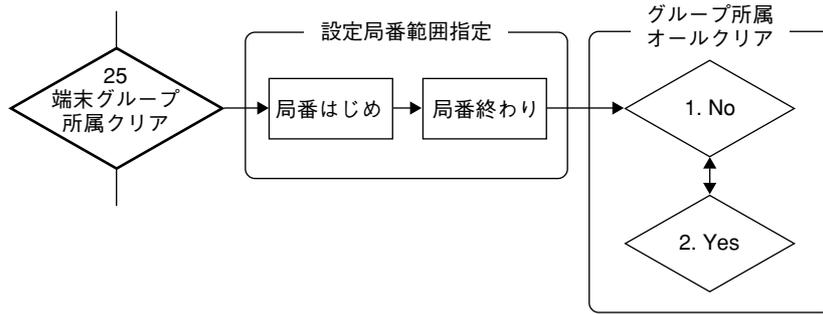
4. 固定不応答転送のモード選択をします。  
「1. フアウトウテンソウ」を選択すると、固定不応答転送設定で登録した呼出回数を呼び出した後に転送されます。

コテイテンソウモード  
→ 1. フアウトウテンソウ

「2. ヒショテンソウ」を選択すると、呼出音を一度も鳴らさずに転送します。

コテイテンソウモード  
→ 2. ヒショテンソウ

● 端末グループ所属クリア設定（機能コード 25）



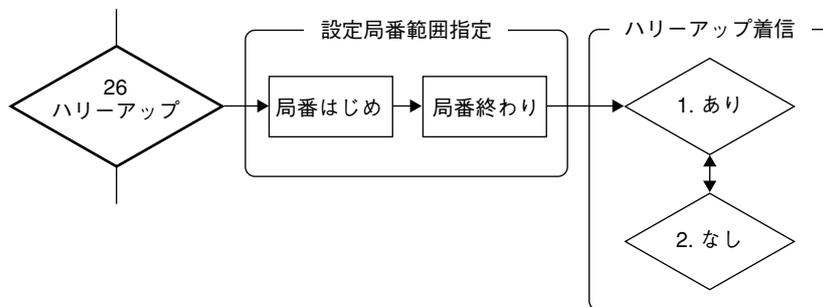
端末グループ所属クリア設定は、所属しているすべてのグループ呼出のグループから、指定した端末を削除するときに設定します。

1. グループ登録をクリアする端末の範囲を指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。
2. 実行するときは「2. Yes」を選択し、中止するときは「1. No」を選択します。

キョクハバン(ハシメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

Gシヨゾク オールクリア ?  
1.No → 2.Yes

● ハリーアップ設定（機能コード 26）



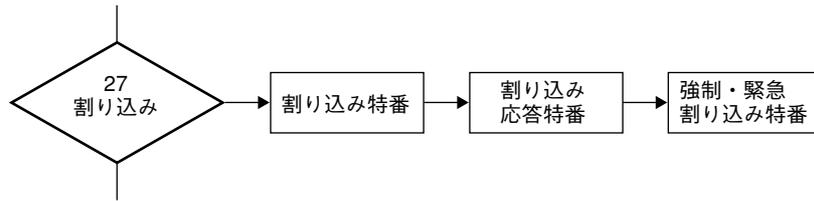
ハリーアップに関する設定をします。

1. ハリーアップを受ける端末の範囲を指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。
2. ハリーアップを受け付けるときは「1. アリ」を選択します。  
ハリーアップを受け付けないときは「2. ナシ」を選択します。

キョクハバン(ハシメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

ハリーアップ° チャクシン  
→ 1.アリ 2.ナシ

● 割込設定 (機能コード 27)



割り込み機能に関する設定をします。

1. 割り込み特番 (1桁) を登録します。

ワリコミ	
トクハバン→	■

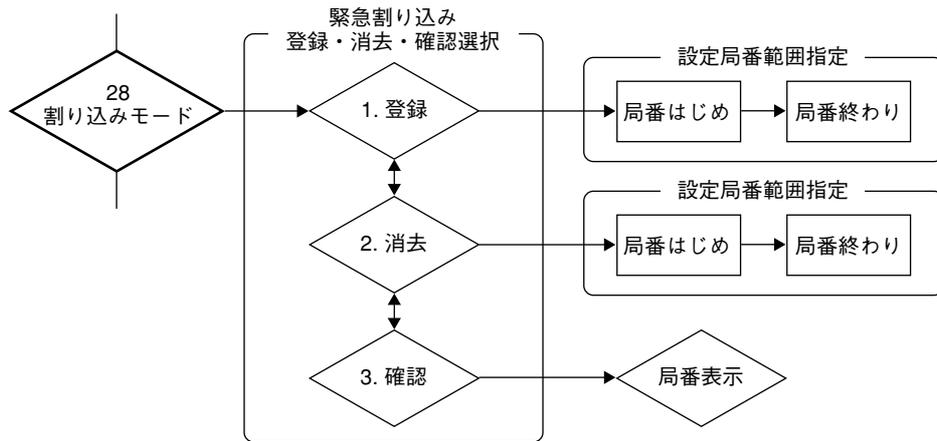
2. 割り込み応答特番 (1桁) を登録します。

ワリコミ	オウトウ
トクハバン→	■

3. 強制・緊急割り込み特番 (1桁) を登録します。

キョウセイ/キンキュウ	ワリコミ
トクハバン→	■

● 割込モード設定（機能コード 28）



割込モード設定は、強制割込（割り込んだ元の通話は保留）を緊急割込（割り込んだ元の通話は終話）に登録する設定をします。

優先割込を、緊急割込として登録するときは「1. トウロク」を、消去するときは「2. ショウキョ」を選択します。また、登録した局番を確認するときは「3. カクニン」を選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合

登録したい端末の局番を範囲で指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

キンキュウ ワリコミ  
→1. トウロク

トウロク  
キョクハバン→■■■■■■■-

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去したい端末の局番を範囲で指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

キンキュウ ワリコミ  
→2. ショウキョ

ショウキョ  
キョクハバン→■■■■■■■-

③ 「3. カクニン」を選択した場合

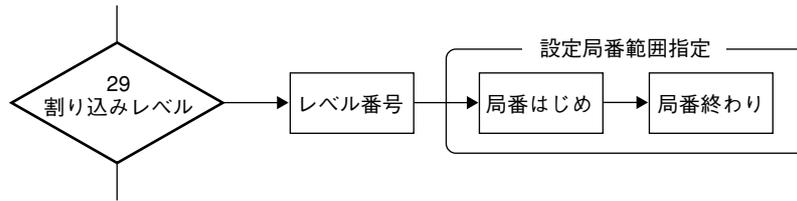
登録されている局番を表示します。

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

キンキュウ ワリコミ  
→3. カクニン

カクニン  
キョクハバン: 000000

● 割込レベル設定（機能コード 29）



割込レベル設定は、端末の割り込み機能の優先度合いを設定します。

1. 割り込みの優先レベルを4段階（1 低い → 4 高い）の中から選択します。

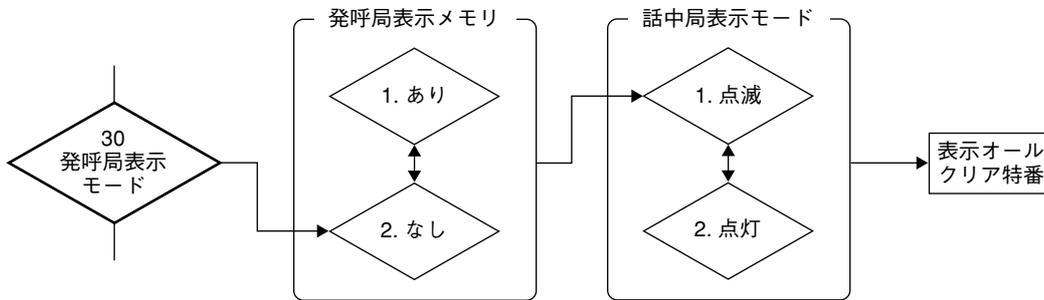
レベルNo. → ■

2. 選択した優先レベルに設定する端末の範囲を指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

レベルNo. 1  
キョクハシ → ■■■■■■-

● 発呼局表示モード設定（機能コード 30）



発呼局表示モード設定は、発呼局表示器を使用しているときに発呼局の表示メモリ（通話中にかかってきた表示を残しておく）を使用するかしないか、またその表示方法について設定します。

1. 表示メモリを使用するときは「1. アリ」を、表示メモリを使用しないときは「2. ナシ」を選択します。

ハッコキョクヒョウシ`メモリ  
1. アリ → 2. ナシ

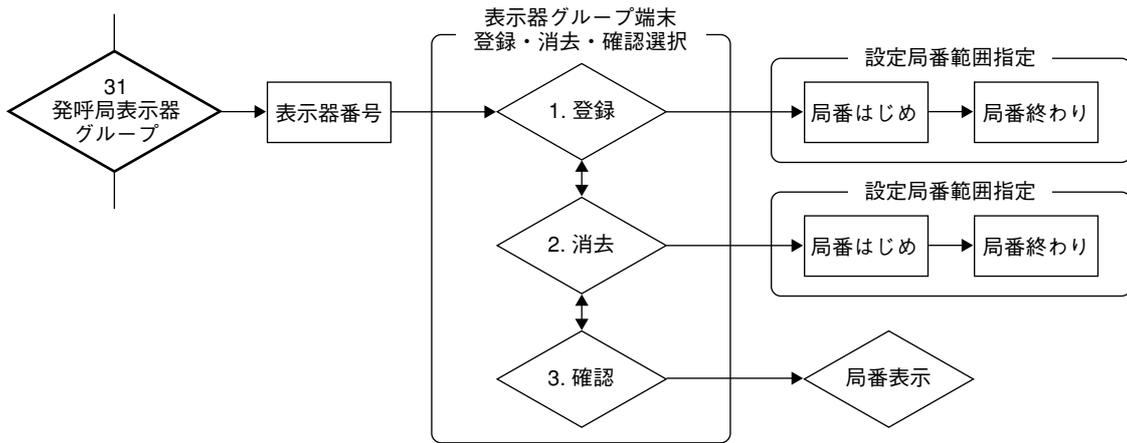
2. 話中待ち局の表示方法を、「1. テンメツ」または「2. テントウ」から選択します。

ワチュウキョクヒョウシ`モード`  
→ 1. テンメツ 2. テントウ

3. 表示メモリで「1. アリ」を選択したときに、端末に残った表示をすべて消去するための特番（最大6桁）を登録します。

ヒョウシ`オール クリア  
トクハシ` → ■■■■■■

● 発呼局表示器グループ設定（機能コード 31）



発呼局表示器（最大4）を使用する端末のグループを設定します。

1. 使用する表示器番号を選択します

ヒヨウシヅキNo. → ■

2. 選択した表示器に対して行う作業を「1. トウロク」、「2. ショウキョ」、「3. カクニン」の中から選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合

登録したい端末の局番を範囲で指定します。

ヒヨウシヅキNo. 1  
→ 1. トウロク

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

トウロク ヒヨウシヅキNo. 1  
キョクハバン → ■■■■■■-

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去したい端末の局番を範囲で指定します。

ヒヨウシヅキNo. 1  
→ 2. ショウキョ

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

ショウキョ ヒヨウシヅキNo. 1  
キョクハバン → ■■■■■■-

③ 「3. カクニン」を選択した場合

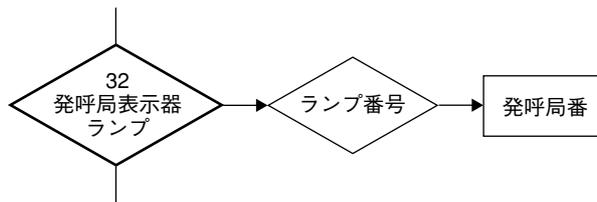
登録されている局番を表示します。

ヒヨウシヅキNo. 1  
→ 3. カクニン

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

カクニン ヒヨウシヅキNo. 1  
キョクハバン: 000000

● 発呼局表示器ランプ設定（機能コード32）



発呼局表示器ランプ設定は、発呼局表示器を使用しているときに、表示器のランプの番号と端末の局番との関係を設定します。

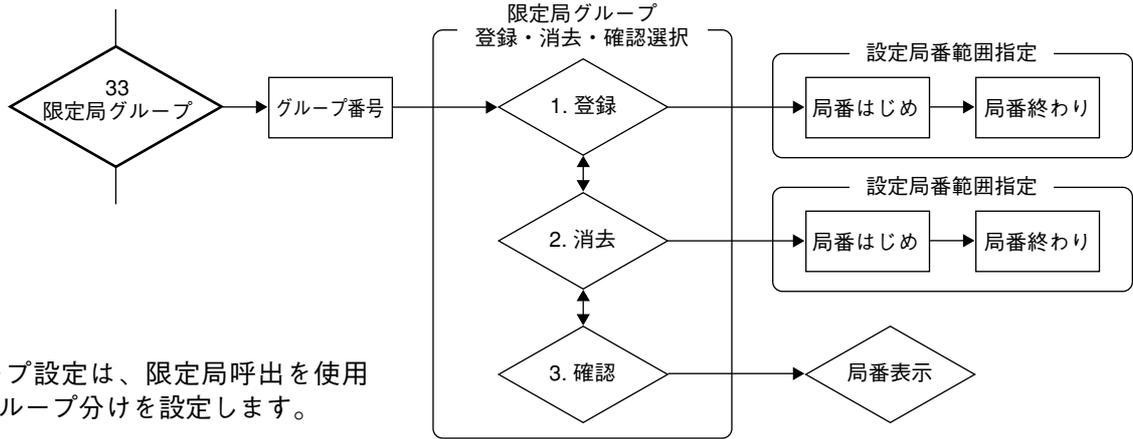
1. ランプの番号（1～256）を入力します。

ハッコキョク ランプ°No.  
→ ■■■ =>

2. 対応する端末の局番を入力します。

ハッコキョク キョクハヅン  
001 => → ■■■■■■

● 限定局グループ設定（機能コード 33）



限定局グループ設定は、限定局呼出を使用するときのグループ分けを設定します。

1. グループ番号（1～32）を入力します。

グループ°No. → ■■■

2. 選択した限定局グループに対して行う作業を「1. トウロク」、  
「2. ショウキョ」、  
「3. カクニン」の中から選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合

登録したい端末の局番を範囲で指定します。

グループ°No. 01  
→ 1. トウロク

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

トウロク G01  
キョクハバン → ■■■■■■-

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去したい端末の局番を範囲で指定します。

グループ°No. 01  
→ 2. ショウキョ

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

ショウキョ G01  
キョクハバン → ■■■■■■-

③ 「3. カクニン」を選択した場合

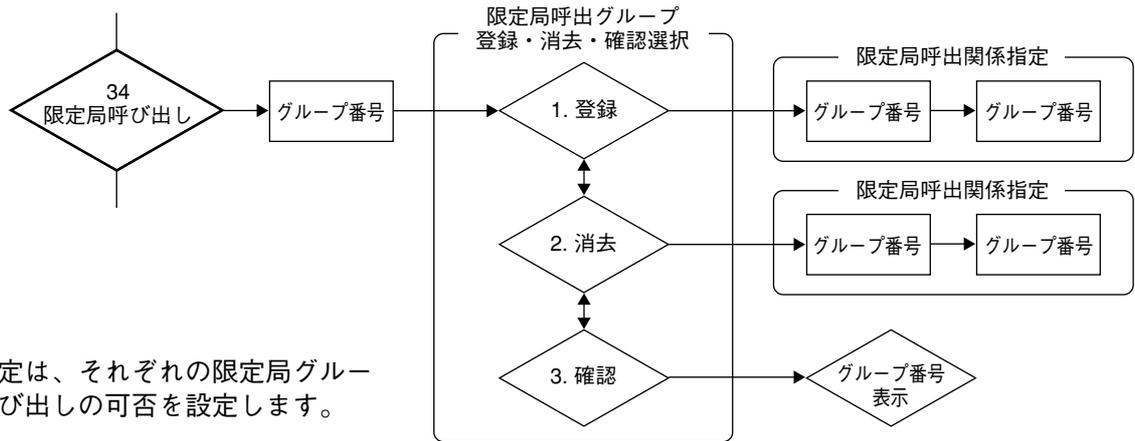
登録されている局番を表示します。

グループ°No. 01  
→ 3. カクニン

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

カクニン G01  
キョクハバン : 000000

● 限定局呼出設定（機能コード 34）



限定局呼出設定は、それぞれの限定局グループ相互間の呼び出しの可否を設定します。

1. 発呼側のグループ番号（1～32）を入力します。

グループ°No. → ■■

2. 入力した発呼側グループに対して行う作業を「1. トウロク」、  
「2. ショウキョ」、  
「3. カクニン」の中から選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合

被呼側に登録したいグループ番号（1～32）を範囲で指定します。

指定する範囲の最初のグループ番号を入力します。次に、終わりのグループ番号を入力します。

グループ°No. 01  
→ 1. トウロク

トウロク G01  
グループ°No. → ■■-

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

被呼側から消去したいグループ番号（1～32）を範囲で指定します。

指定する範囲の最初のグループ番号を入力します。次に、終わりのグループ番号を入力します。

グループ°No. 01  
→ 2. ショウキョ

ショウキョ G01  
グループ°No. → ■■-

③ 「3. カクニン」を選択した場合

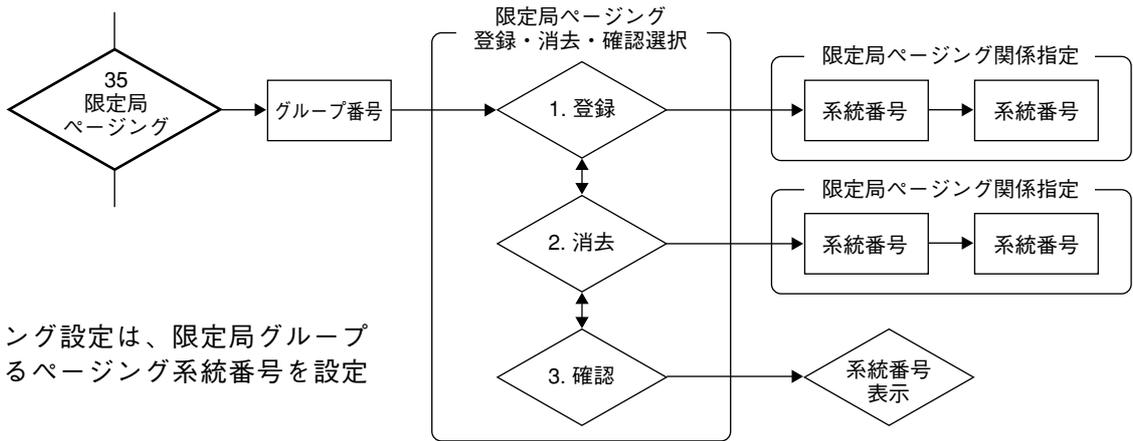
被呼側に登録されているグループ番号を表示します。

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されているグループ番号を表示します。

グループ°No. 01  
→ 3. カクニン

カクニン G01  
グループ°No. : 01

● 限定局ページング設定（機能コード 35）



限定局ページング設定は、限定局グループから発呼できるページング系統番号を設定します。

1. グループ番号（1～32）を入力します。

グループ°No. → ■■

2. 入力したグループに対して行う作業を「1. トウロク」、「2. ショウキョ」、「3. カクニン」の中から選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合

登録したいページング系統番号を範囲で指定します。

グループ°No. 01  
→ 1. トウロク

指定する範囲の最初の系統番号を入力します。次に、終わりの系統番号を入力します。

トウロク G01  
PケイトウNo. → ■■■-

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去したいページング系統番号を範囲で指定します。

グループ°No. 01  
→ 2. ショウキョ

指定する範囲の最初の系統番号を入力します。次に、終わりの系統番号を入力します。

ショウキョ G01  
PケイトウNo. → ■■■-

③ 「3. カクニン」を選択した場合

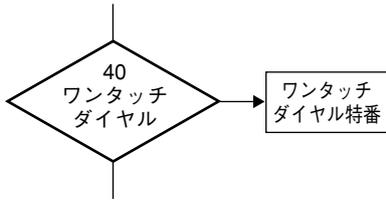
登録されている系統番号を表示します。

グループ°No. 01  
→ 3. カクニン

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている系統番号を表示します。

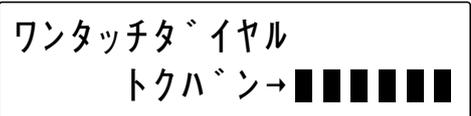
カクニン G01  
PケイトウNo. : 001

● ワンタッチダイヤル設定（機能コード40）

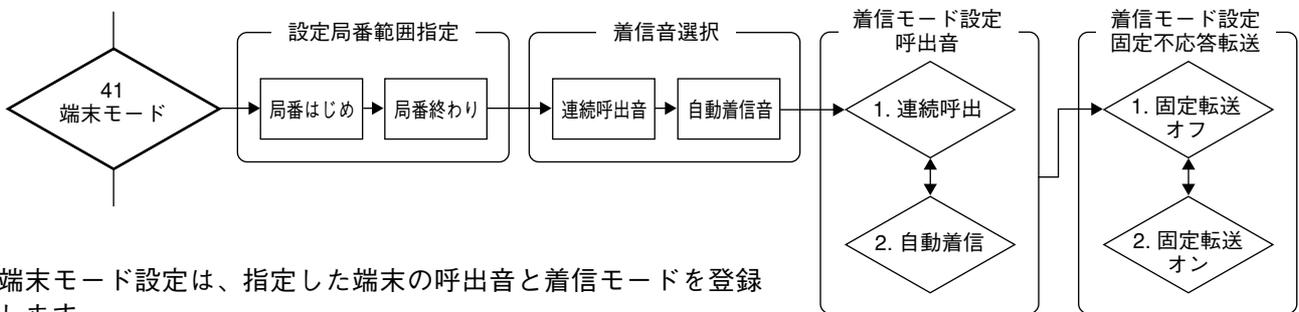


ワンタッチダイヤルを使用するときの登録特番を設定します。

ワンタッチダイヤル登録特番（最大6桁）を入力します。



● 端末モード設定（機能コード41）

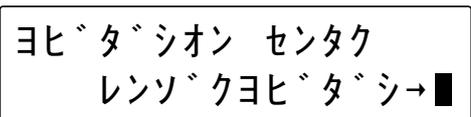
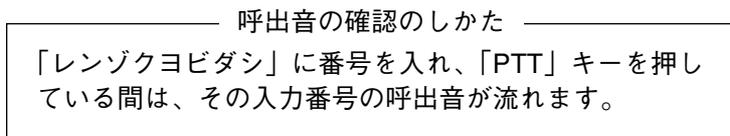


端末モード設定は、指定した端末の呼出音と着信モードを登録します。

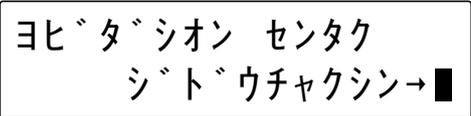
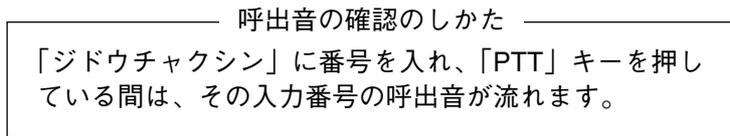
1. 設定する端末を範囲指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。



2. 連続呼び出しの呼出音を1～4の中から選択します。



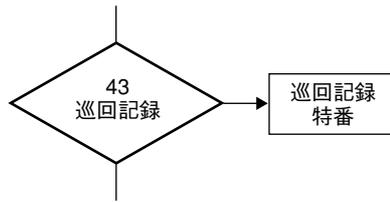
3. 自動応答時の呼出音を1～4の中から選択します。



4. 着信モードを「1. レンゾクヨビダシ」または「2. ジドウチャクシン」から選択します。

5. 固定不応答転送の初期状態を「1. コテイ テンソウ オフ」または「2. コテイ テンソウ オン」から選択します。

● 巡回記録設定（機能コード43）

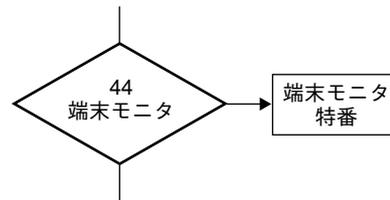


巡回記録出力機能に関する設定をします。

巡回記録特番（最大6桁）を登録します。

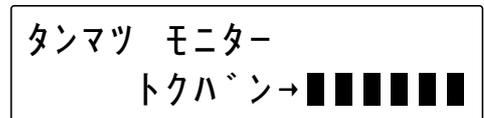


● 端末モニタ設定（機能コード44）

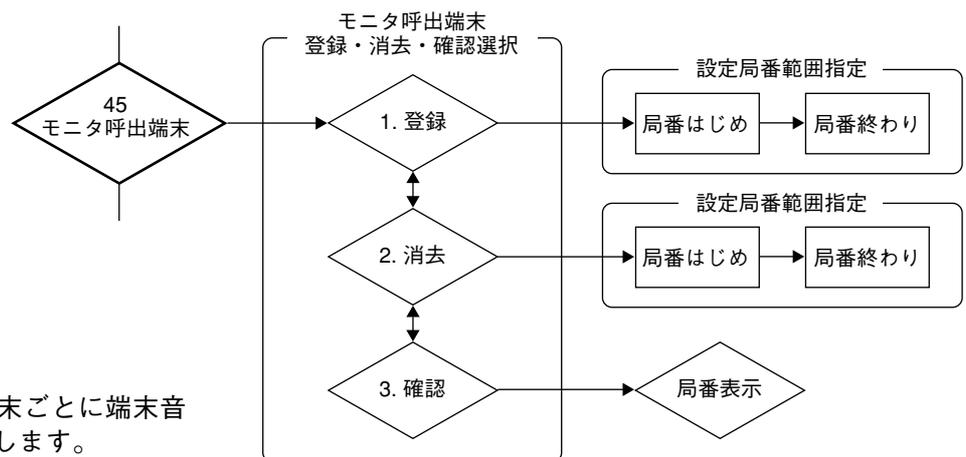


端末音声モニタ機能に関する設定をします。

端末モニタ特番（最大6桁）を登録します。



● モニタ呼出端末設定（機能コード45）



モニタ呼出端末設定は、端末ごとに端末音声モニタ機能の有無を設定します。

音声モニタの操作を行う端末として登録するときは「1. トウロク」を選択し、消去するときは「2. ショウキョ」を選択します。また、登録した局番を確認するときは「3. カクニン」を選択します。

① 「1. トウロク」 を選択した場合

登録したい端末の局番を範囲で指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

モニター ヨビ`タ`シ タンマツ  
→1. トウロク

トウロク  
キョクハ`ン→■■■■■■■-

② 「2. ショウキョ」 を選択した場合

消去したい端末の局番を範囲で指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

モニター ヨビ`タ`シ タンマツ  
→2. ショウキョ

ショウキョ  
キョクハ`ン→■■■■■■■-

③ 「3. カクニン」 を選択した場合

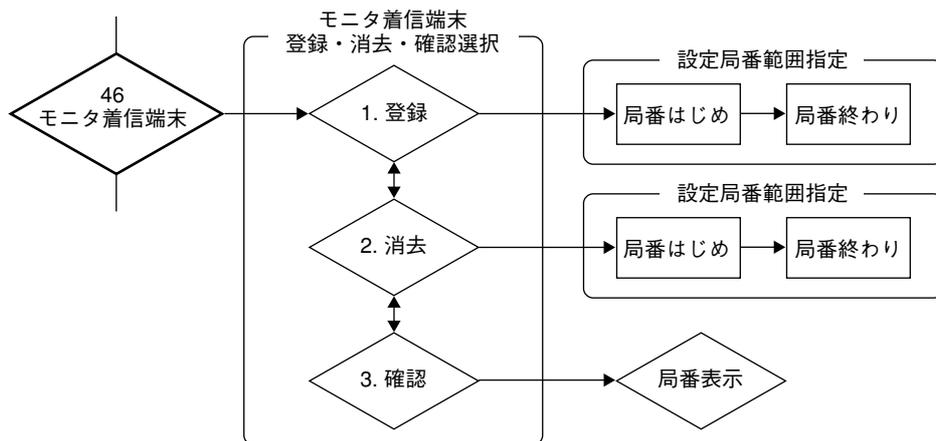
登録されている局番を表示します。

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

モニター ヨビ`タ`シ タンマツ  
→3. カクニン

カクニン  
キョクハ`ン:000000

● モニタ着信端末設定（機能コード46）



モニタ着信端末設定は、端末ごとに端末音声モニタ機能の有無を設定します。

音声モニタを受信する端末として登録するときは「1. トウロク」を選択し、消去するときは「2. ショウキョ」を選択します。また、登録した局番を確認するときは「3. カクニン」を選択します。

## 第4章 初期設定とシステムプログラミング

### ① 「1. トウロク」を選択した場合

登録したい端末の局番を範囲で指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

モニター チャクシン タンマツ  
→1. トウロク

トウロク  
キョクハバン → ■■■■■■-

### ② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去したい端末の局番を範囲で指定します。

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

モニター チャクシン タンマツ  
→2. ショウキョ

ショウキョ  
キョクハバン → ■■■■■■-

### ③ 「3. カクニン」を選択した場合

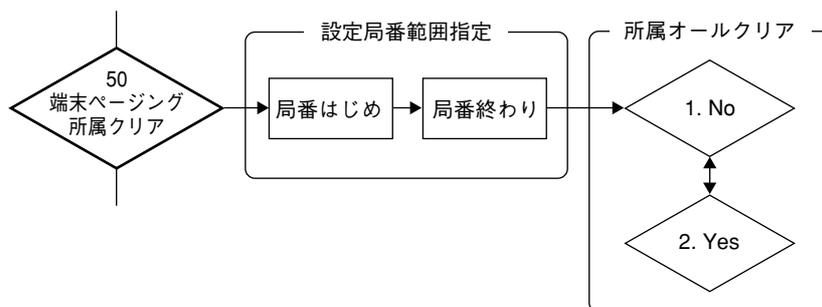
登録されている局番を表示します。

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

モニター チャクシン タンマツ  
→3. カクニン

カクニン  
キョクハバン: 000000

## ● 端末ページング所属クリア設定（機能コード 50）



端末ページング所属クリア設定は、所属しているすべてのステーションページングシステムから、指定した端末を削除するときに設定します。

#### 1. ページング登録を削除する端末の範囲を指定します。

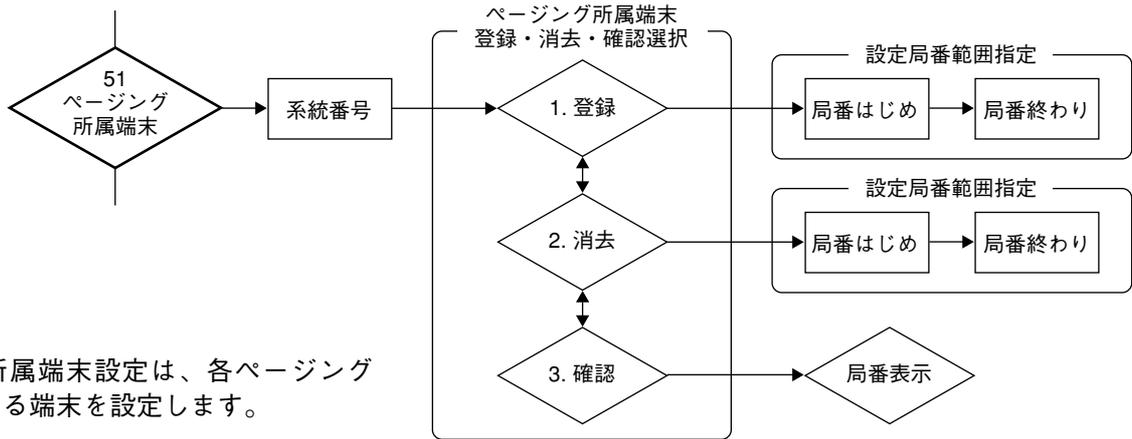
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

キョクハバン(ハジメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

#### 2. 実行するときは「2. Yes」を選択し、中止するときは「1. No」を選択します。

Pシヨソク オールクリア ?  
1. No → 2. Yes

● ページング所属端末設定（機能コード51）



ページング所属端末設定は、各ページングシステムに所属する端末を設定します。

1. 登録したいページングシステム番号を指定します。

PケイトウNo. → ■■■

2. 指定したページングシステムに対して行う作業を「1. トウロク」、  
「2. ショウキョ」、  
「3. カクニン」の中から選択します。

① 「1. トウロク」を選択した場合

登録したい局番を範囲で指定します。

PケイトウNo. 001  
→ 1. トウロク

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

トウロク P-No. 001  
キョクハバン → ■■■■■■-

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

消去したい局番を範囲で指定します。

PケイトウNo. 001  
→ 2. ショウキョ

指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。

ショウキョ P-No. 001  
キョクハバン → ■■■■■■-

③ 「3. カクニン」を選択した場合

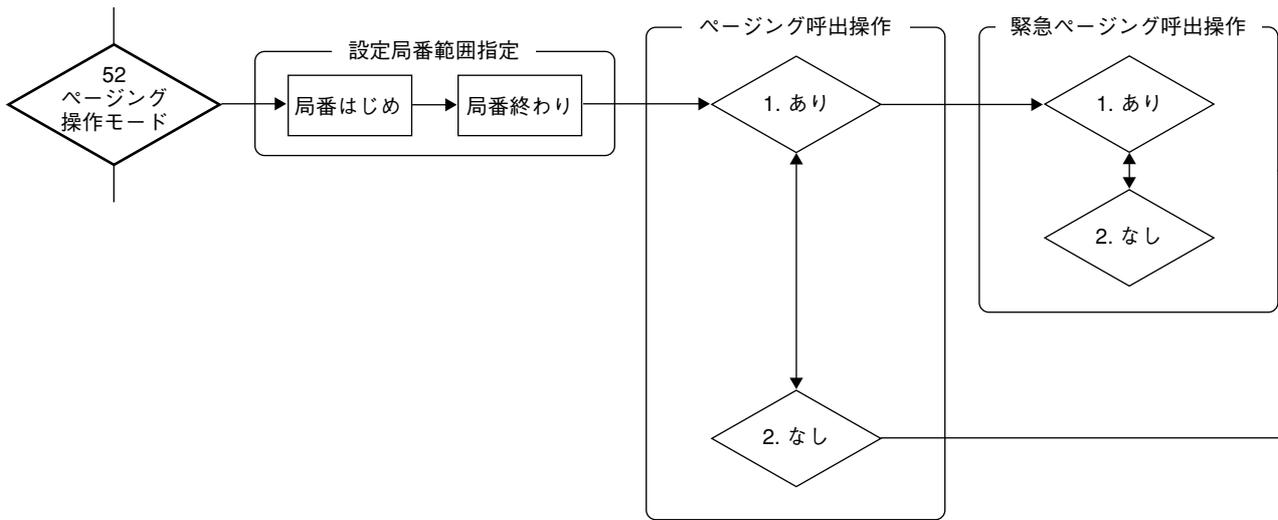
登録されている局番を表示します。

PケイトウNo. 001  
→ 3. カクニン

※ 上・下矢印キーを押すと、他の登録されている局番を表示します。

カクニン P-No. 001  
キョクハバン: 000000

● ページング操作モード設定（機能コード 52）



ページング操作モード設定は、各端末ごとのページング操作方法を設定します。

1. 操作方法を設定する端末の範囲を指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。
2. 指定した端末について、ページング呼び出しが「1. アリ」（ページング呼び出し可）または「2. ナシ」（ページング呼び出し禁止）かを選択します。
3. 手順2で「1. アリ」を選択したとき、緊急一斉ページングが「1. アリ」（ページング呼び出し可）または「2. ナシ」（ページング呼び出し禁止）かを選択します。
4. 手順2で「1. アリ」を選択したとき、一斉ページングが「1. アリ」（ページング呼び出し可）または「2. ナシ」（ページング呼び出し禁止）かを選択します。
5. 手順2で「1. アリ」を選択したとき、ページング呼び出し操作が「1. ノーマル」または「2. ワンタッチ」かを選択します。
  - ① 「1. ノーマル」を選択した場合  
システム番号を指定して、ページング呼び出しができます。

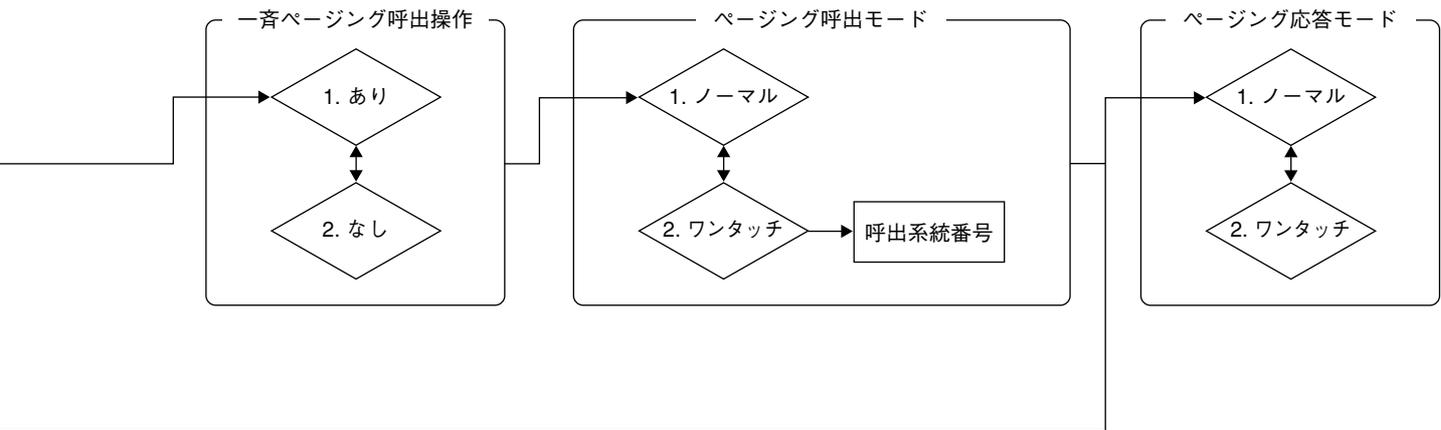
キョクハン(ハジメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

Pヨビ`タ`シ ソウサ  
→ 1. アリ 2. ナシ

キンキュウPヨビ`タ`シ ソウサ  
→ 1. アリ 2. ナシ

イッセイPヨビ`タ`シ ソウサ  
→ 1. アリ 2. ナシ

Pヨビ`タ`シ モート`  
→ 1. ノーマル



② 「2. ワンタッチ」を選択した場合

ページング呼出キーのワンタッチ操作でページング呼び出しができます。

呼び出しするページングシステムを入力します。

Pヨヒタシ  
→2.ワンタッチ

ワンタッチP モード  
PケイトウNo. →■■■■

6. ページング応答モードが「1. ノーマル」または「2. ワンタッチ」かを選択します。

① 「1. ノーマル」を選択した場合

システム番号を指定してページング応答ができます。

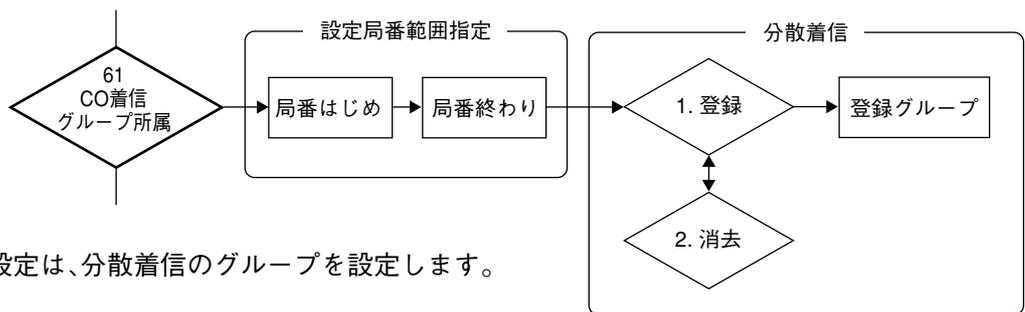
Pアウトウ モード  
→1.ノーマル

② 「2. ワンタッチ」を選択した場合

ワンタッチ操作でページング応答ができます。

Pアウトウ モード  
→2.ワンタッチ

● CO着信グループ所属設定（機能コード61）



CO着信グループ所属設定は、分散着信のグループを設定します。

1. 着信グループの設定をする端末の範囲を指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。
2. 指定した端末に対して行う作業を「1. トウロク」または「2. ショウキョ」から選択します。

キョクハバン(ハジメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

① 「1. トウロク」を選択した場合

フンサンチャクシン  
→ 1. トウロク

登録したい分散着信グループ番号を入力します。

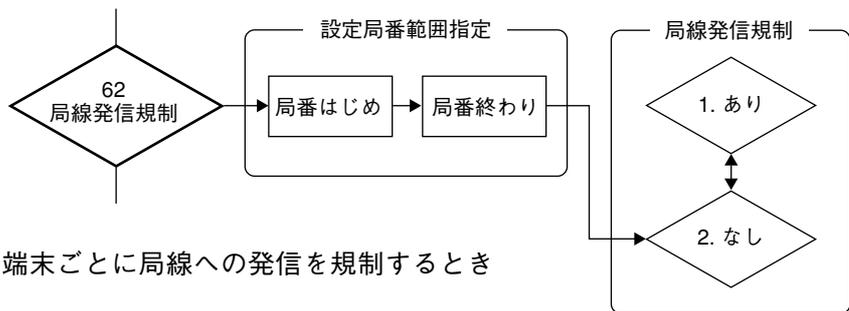
フンサンチャクシン  
トウロクグループ° → ■■■■

② 「2. ショウキョ」を選択した場合

分散着信グループから消去されます。

フンサンチャクシン  
→ 2. ショウキョ: 001

● 局線発信規制設定（機能コード62）



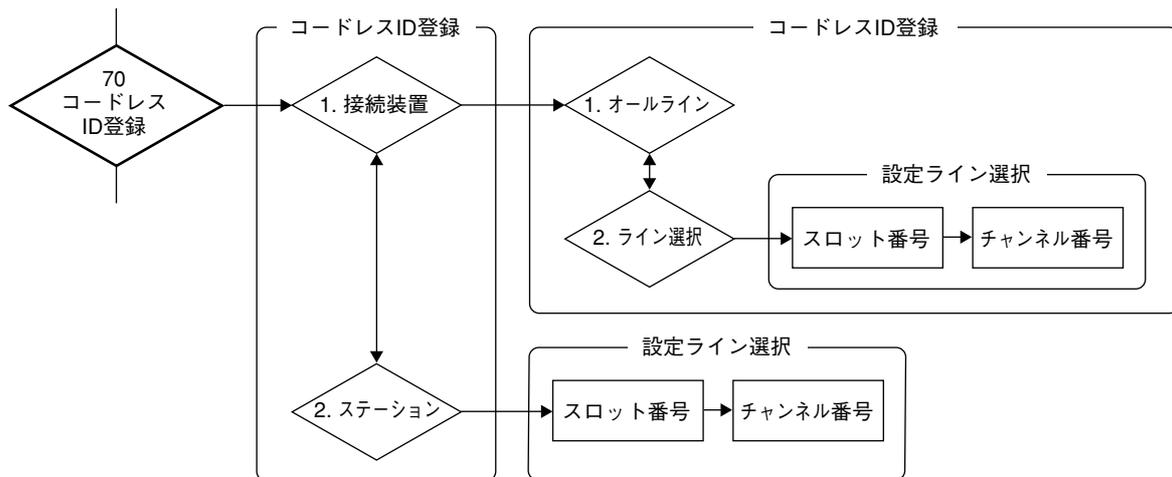
局線発信規制設定は、端末ごとに局線への発信を規制するときに設定します。

1. 局線への発信を規制する端末の範囲を指定します。  
指定する範囲の最初の局番を入力します。次に、終わりの局番を入力します。
2. 指定した端末について、発信規制するときは「1. アリ」を、規制しないときは「2. ナシ」を選択します。

キョクハバン(ハジメーオワリ)  
→ ■■■■■■ - ■■■■■■

キョクセン ハッシン キセイ  
→ 1. アリ 2. ナシ

● コードレスID登録設定（機能コード70）



コードレスID登録設定は、システムコードレスを使用するときの接続装置とコードレス端末のID登録をします。

ID登録を行う機種が「1. セツゾクソウチ」または「2. ステーション」かを選択します。

① 「1. セツゾクソウチ」を選択した場合

接続装置のID登録をするモードに入ります。

交換機に接続されているすべての接続装置にIDを登録するときは「1. オールライン」を、ID登録する接続装置を指定するときは「2. ラインセンタク」を選択します。

「2. ラインセンタク」を選択したときは、スロット番号（SL）とチャンネル番号（CH）を入力します。

接続装置側でID登録操作をします。

※「接続装置のID登録」（P.4-42）をお読みください。

ID登録が終了すれば「選択」キーを押します。

コードレス ID  
→1. セツゾクソウチ

セツゾクソウチ ID トウロク  
ラインNo. SL → ■ ■ CH ■

② 「2. ステーション」を選択した場合

コードレス端末のID登録をするモードに入ります。

ID登録に使用する接続装置のスロット番号（SL）とチャンネル番号（CH）を入力します。

ID登録に使用する接続装置側で「接続装置のID登録」（P.4-42）操作を再度行います。

コードレス端末側でID登録操作をします。

※「コードレス端末のID登録」（P.4-42）をお読みください。

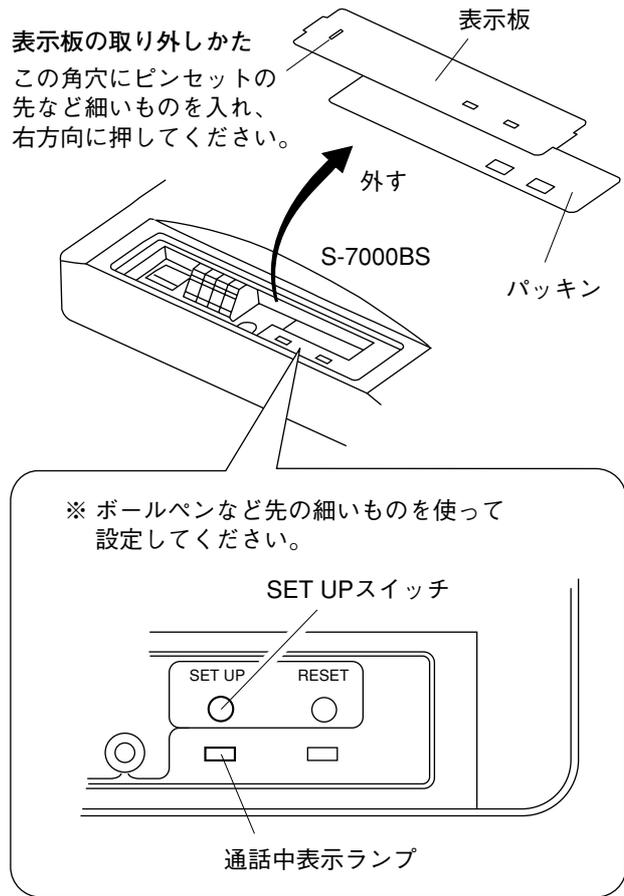
ID登録が終了すれば「選択」キーを押します。

コードレス ID  
→2. ステーション

ステーション ID トウロク  
ラインNo. SL → ■ ■ CH ■

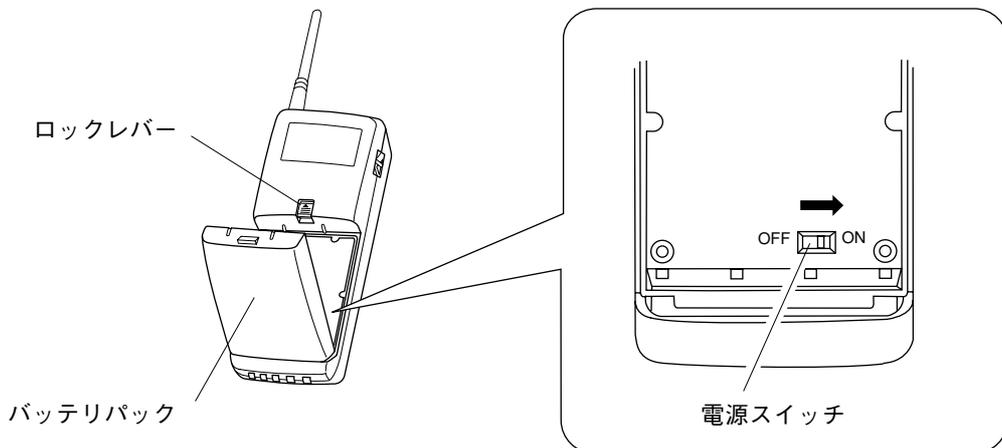
<接続装置のID登録>

1. 接続装置の表示板とパッキンを外します。
2. SET UP スイッチを約3秒間押し続け、通話中表示ランプ（赤色LED）を点灯させます。
3. もう一度、SET UP スイッチを約3秒間押し続け、通話中表示ランプ（赤色LED）を点滅させます。
4. 次に、通話中表示ランプ（赤色LED）が消灯するまで、もう一度、SET UP スイッチを押し続けてください。（登録完了）
5. 表示板とパッキンを元どおりに取り付けます。
6. 上記1～5の手順を、登録するすべての接続装置について行います。

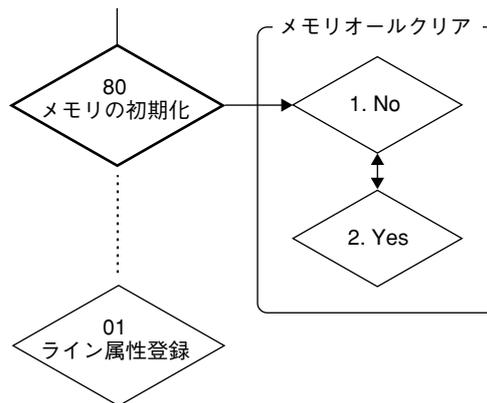


<コードレス端末のID登録>

1. コードレス端末のロックレバーを押し上げてバッテリーパックを外し、電源スイッチをONにします。
2. バッテリーパックを装着します。（ID登録モードとなります。）
3. 交換機前面に貼り付けているシステム銘板に表示の呼出名称（9桁）を入力します。
4. 「選択」キーを押すと、「トウロクチュウ」→「トウロクカンリョウ」と表示された後、待受状態へ戻ります。



## ● メモリの初期化（機能コード 80）



メモリの初期化は、システムプログラミングのデータをすべて消去するときに行います。

実行するときは「2. Yes」を選択し、中止するときは「1. No」を選択します。

メモリ オールクリア ?
1. No → 2. Yes

## コードレス端末の局番設定

コードレス端末の局番は、システムプログラミングで設定しただけでは使用できません。コードレス端末からも、以下の手順に従って設定してください。

### ご注意

- 局番が設定されていないコードレス端末のバッテリーパックは、すべて取り外しておいてください。
- コードレス端末のバッテリーパックは、局番の新規設定をするときに1台ずつ装着してください。

## 局番の新規設定

1. システムプログラミングの「コードレス登録・消去」（☞ P.4-21）の「1.登録」で局番を設定します。
2. 登録するコードレス端末のバッテリーパックを装着します。
3. 手順1.で入力した局番に、設定したいコードレス端末から局番新規登録をします（☞ P.4-44）。

## 局番の変更

1. システムプログラミングの「局番変更」（☞ P.4-21）で局番を変更します。
2. 手順1.で変更した局番に、設定したいコードレス端末から局番新規登録をします（☞ P.4-44）。

## 局番の消去

システムプログラミングの「コードレス登録・消去」（☞ P.4-21）の「2.消去」で局番を消去します。

※ この場合、コードレス端末からの設定は不要です。

## 第4章 初期設定とシステムプログラミング

### <コードレス端末からの局番新規登録のしかた>

1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。

☰) ▾) ▼  
ヨヒ`タ`シ オンリヨウ

2. 下矢印キーを押して、「ホシュ」を表示させます。

▾) ▲  
ホシュ

3. 選択キーを押すと、「パスワード：」が表示されますので ①  
⑥ を入力します。

▾)  
ハ°スワート`：

4. 下矢印キーを押して、「キョクバンシンキ」を表示させます。

▾) ▲  
キョクハ`ン シンキ

5. 選択キーを押すと、局番入力モードになりますので登録する  
局番を入力します。

▾)  
No. : ■■■■■■

6. 選択キーを押すと、「ツウシンチュウ」が表示されます。

▾)  
ツウシンチュウ

「トウロク カンリヨウ」が表示されるまでお待ちください。

#### ご注意

- 「キョクバンエラー」が表示されたときは、入力ミスです。  
もう一度やり直してください。
- 「ツウシンエラー」が表示されたときは、接続装置 S-700BS  
に近づいてから、もう一度やり直してください。

▾)  
トウロク カンリヨウ

7. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。

▾)  
12:34AM 300

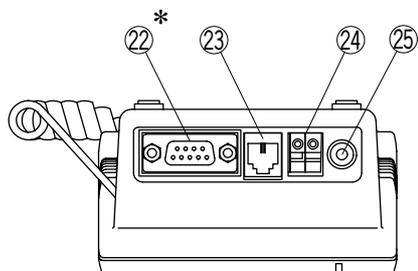
# 第5章

---

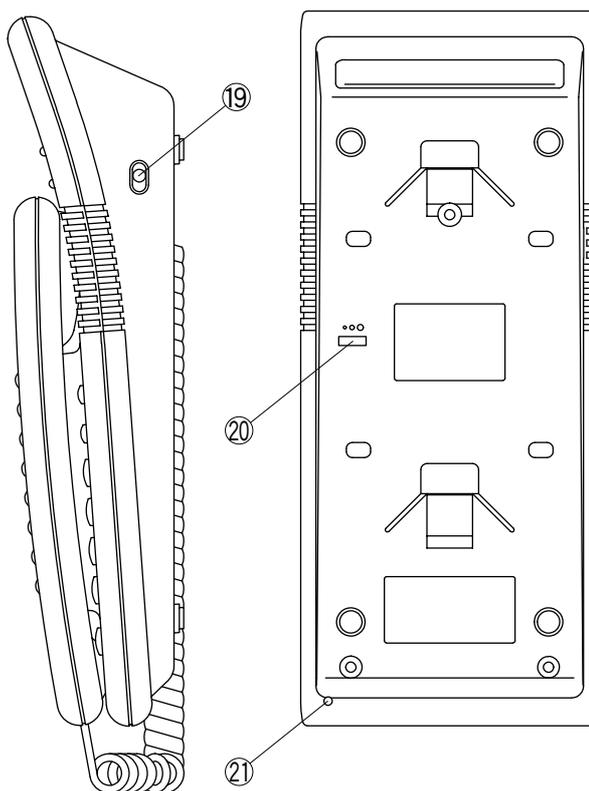
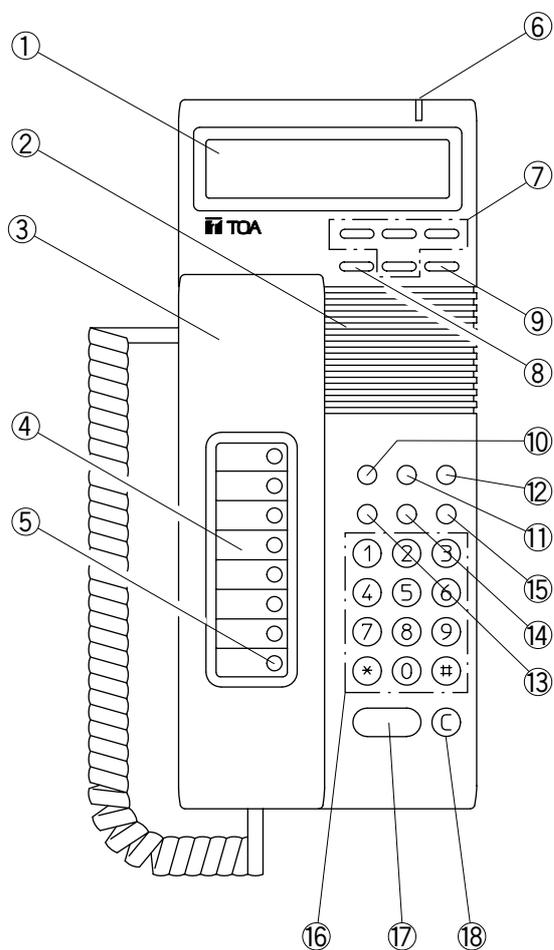
## 各部の名称とはたらき

この章では、端末の操作に関わる各部の名称とはたらきについて説明します。

## ■ 多機能マスター端末 S-7000M (RS-232C・表示付き) /-7010M (表示付き)



\* : S-7000Mだけに装備しています。



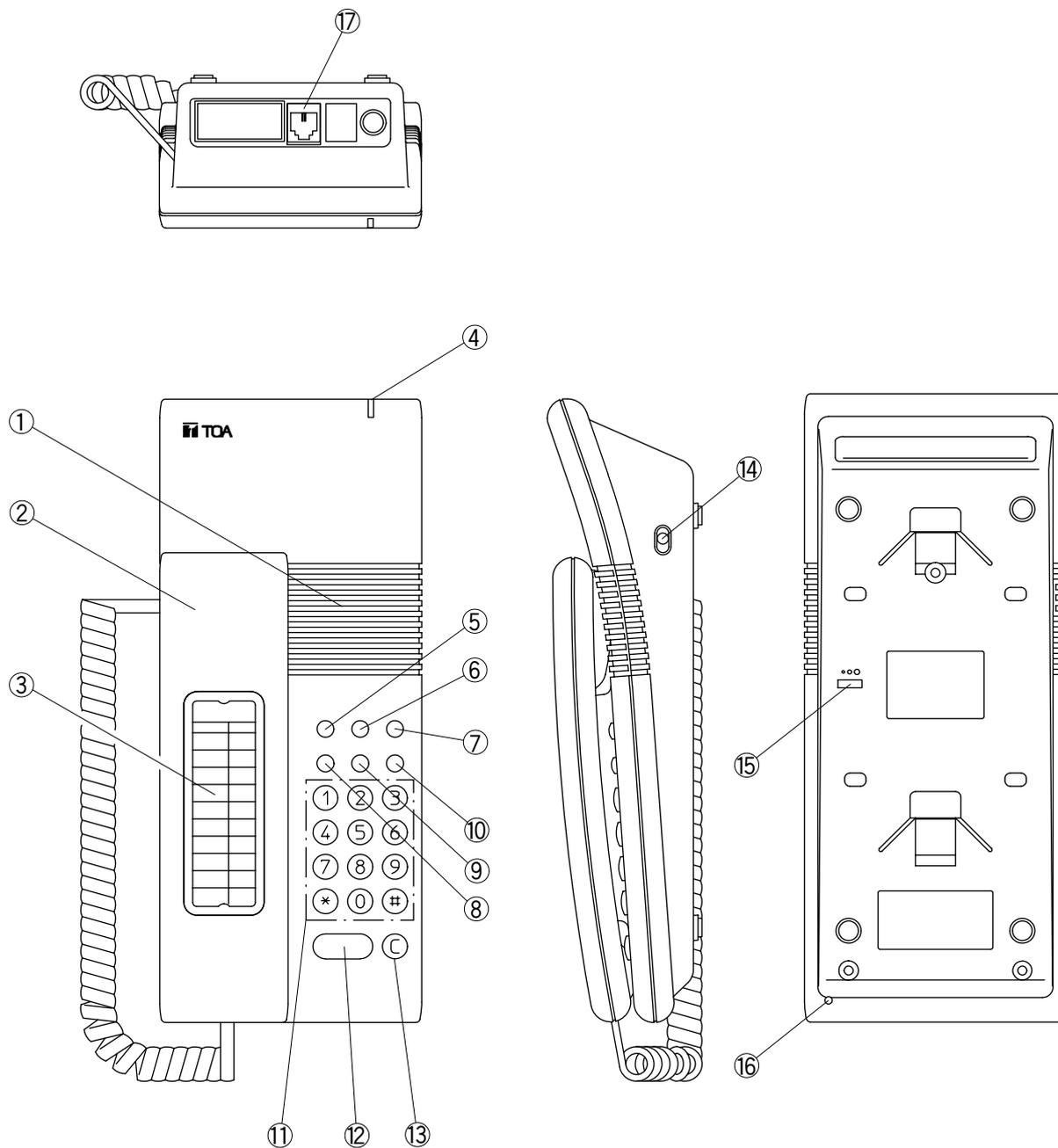
- ① 表示画面 (LCD 表示)  
16 桁×2 行の表示で、操作ダイヤルやかかってきた相手を表示します。  
待ち受け状態では、自局番や時刻を表示します。
- ② スピーカ  
拡声用のスピーカで着信音を流したり、ハンズフリー通話に使用したりします。
- ③ ハンドセット  
ハンドセット通話をするときに使用します。  
このとき、ハンズフリー通話用のマイクとスピーカは、切断されます。
- ④ 番号簿  
オートダイヤルの呼び出し先などを記入します。
- ⑤ オートダイヤルキー  
オートダイヤル呼び出し先を登録するときや呼び出すときに使用します。( P.6-6)
- ⑥ 通話中表示ランプ  
着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消灯します。
- ⑦ 矢印キー [▲][▼][◀][▶]  
メニュー操作やシステムプログラム操作をするときに使用します。
- ⑧ メニューキー  
メニュー操作やシステムプログラム操作をするときに使用します。
- ⑨ 選択キー  
メニュー操作やシステムプログラム操作をするときに使用します。
- ⑩ ページング呼出キー  
ページング呼び出し操作をするときなどに使用します。( P.6-24)
- ⑪ ページング応答キー  
ページング応答操作をするときなどに使用します。( P.6-28)
- ⑫ 機能キー  
各種機能操作をするときなどに使用します。
- ⑬ 保留キー  
通話を一時保留するときなどに使用します。( P.6-9)
- ⑭ 転送キー  
通話を他の端末に転送するときなどに使用します。( P.6-10)
- ⑮ リダイヤルキー  
直前にした操作を繰り返すときなどに使用します。( P.6-3)
- ⑯ ダイヤルキー  
相手を呼び出したりするときなどに使用します。
- ⑰ PTT キー  
PTT 通話をするときなどに使用します。( P.6-2)
- ⑱ クリアキー [C]  
通話を終了するときなどに使用します。
- ⑲ 音量切換スイッチ [Q]]  
スピーカの音量を調節するスイッチで、大・中・小の3段階に設定できます。
- ⑳ マイク感度切換スイッチ [MIC]  
マイク感度を調節するスイッチで、大・中・小の3段階に設定できます。
- ㉑ マイク  
拡声通話用のマイクで、ハンズフリー通話に使用します。
- ㉒ RS-232C 接続端子 (S-7000M に装備) [DTE]  
外部に RS-232C 通信のできる増設機器 (特注対応) を接続できます。
- ㉓ 回線接続端子 [LINE]  
交換機と接続します。
- ㉔ 外部スピーカ端子 [EXT. SP.]  
外部に増設スピーカを接続できます。(32 Ω)
- ㉕ ヘッドセット端子 [HEAD SET]  
外部にヘッドセットを接続できます。

<メニュー操作について>

多機能マスター端末では、メニューキーの操作で以下の機能が設定できます。

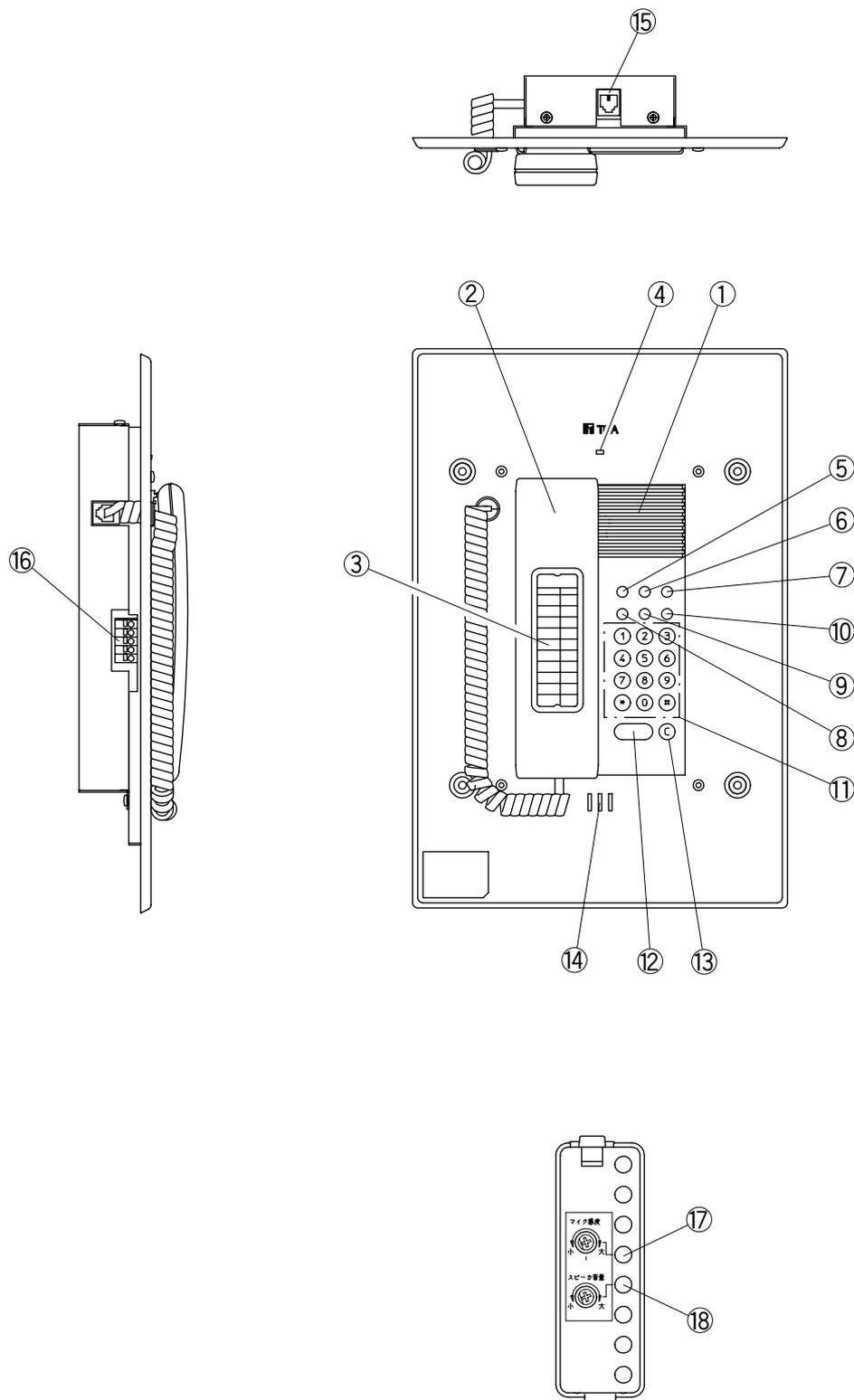
1. 着信モードの設定 ( P.6-5)
2. ハンドセットの受話音量設定 ( P.6-11)
3. オートダイヤルの設定 ( P.6-6)
4. システムプログラミング (交換機の設定に使用)

# ■ 標準型マスター端末 S-7030M



- ① スピーカ  
拡声用のスピーカで着信音を流したり、ハンズフリー通話に使用したりします。
- ② ハンドセット  
ハンドセット通話をするときに使用します。  
このとき、ハンズフリー通話用のマイクとスピーカは、切断されます。
- ③ 番号簿  
呼び出し先などの番号を書いております。
- ④ 通話中表示ランプ  
着信時は点滅（赤）、通話中は点灯（赤）します。  
待ち受け時は自動応答モードで消灯、連続呼出モードで点灯（緑）します。
- ⑤ ページング呼出キー  
ページング呼び出し操作をするときなどに使用します。（ P.6-24）
- ⑥ ページング応答キー  
ページング応答操作をするときなどに使用します。（ P.6-28）
- ⑦ 自動応答キー  
着信モードを切り換えるときに使用します。（ P.6-5）
- ⑧ 保留キー  
通話を一時保留するときなどに使用します。（ P.6-9）
- ⑨ 転送キー  
通話を他の端末に転送するときなどに使用します。（ P.6-10）
- ⑩ リダイヤルキー  
直前にした操作を繰り返すときなどに使用します。（ P.6-3）
- ⑪ ダイヤルキー  
相手を呼び出したりするときなどに使用します。
- ⑫ PTT キー  
PTT通話をするときなどに使用します。（ P.6-2）
- ⑬ クリアキー [C]  
通話を終了するときなどに使用します。
- ⑭ 音量切換スイッチ [  ]  
スピーカの音量を調節するスイッチで、大・中・小の3段階に設定できます。
- ⑮ マイク感度切換スイッチ [MIC]  
マイク感度を調節するスイッチで、大・中・小の3段階に設定できます。
- ⑯ マイク  
拡声通話用のマイクで、ハンズフリー通話に使用します。
- ⑰ 回線接続端子  
交換機と接続します。

# ■ 埋込型マスター端末 S-7040M

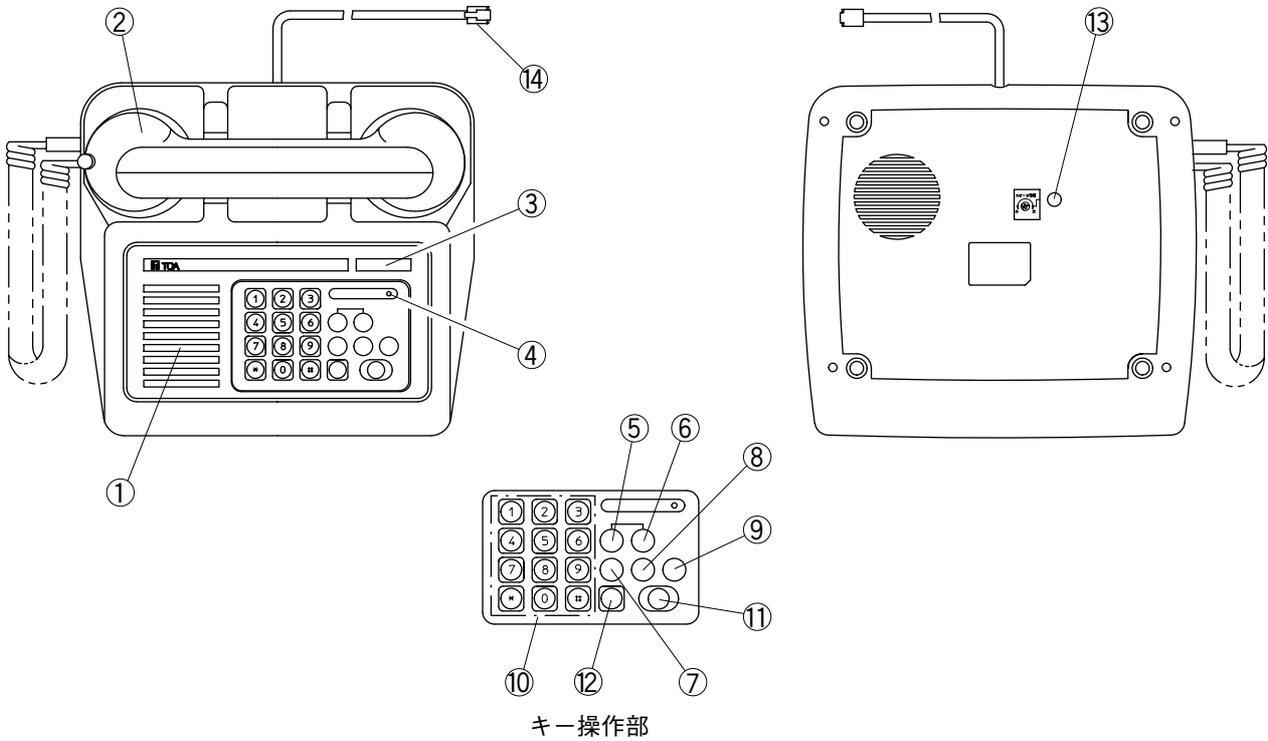


番号簿③を外した状態

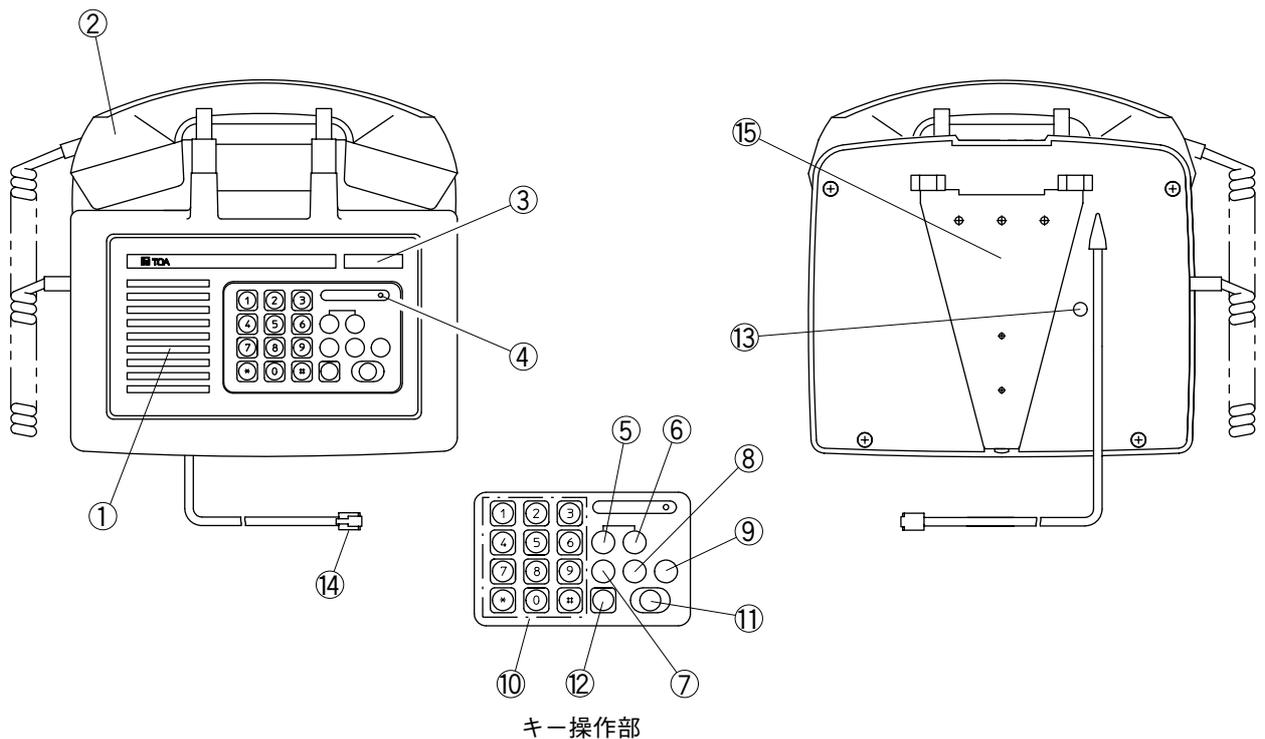
- ① スピーカ  
拡声用のスピーカで着信音を流したり、ハンズフリー通話に使用したりします。
- ② ハンドセット  
ハンドセット通話をするときに使用します。  
このとき、ハンズフリー通話用のマイクとスピーカは、切断されます。
- ③ 番号簿  
呼び出し先などの番号を書いております。
- ④ 通話中表示ランプ  
着信時は点滅（赤）、通話中は点灯（赤）します。  
待ち受け時は自動応答モードで消灯、連続呼出モードで点灯（緑）します。
- ⑤ ページング呼出キー  
ページング呼び出し操作をするときなどに使用します。（ P.6-24）
- ⑥ ページング応答キー  
ページング応答操作をするときなどに使用します。（ P.6-28）
- ⑦ 自動応答キー  
着信モードを切り換えるときに使用します。（ P.6-5）
- ⑧ 保留キー  
通話を一時保留するときなどに使用します。（ P.6-9）
- ⑨ 転送キー  
通話を他の端末に転送するときなどに使用します。（ P.6-10）
- ⑩ リダイヤルキー  
直前にした操作を繰り返すときなどに使用します。（ P.6-3）
- ⑪ ダイヤルキー  
相手を呼び出したりするときなどに使用します。
- ⑫ PTT キー  
PTT通話をするときなどに使用します。（ P.6-2）
- ⑬ クリアキー [C]  
通話を終了するときなどに使用します。
- ⑭ マイク  
拡声通話用のマイクで、ハンズフリー通話に使用します。
- ⑮ 回線接続端子  
交換機と接続します。
- ⑯ 接点入力端子  
足踏みスイッチなどが接続できます。
- ⑰ マイク感度調節ボリューム  
マイク感度を調節するボリュームです。
- ⑱ 音量調節ボリューム  
スピーカの音量を調節するボリュームです。

# ■ 工場用マスター端末 S-7050M (卓上型) /-7060M (壁掛型)

## ● S-7050M

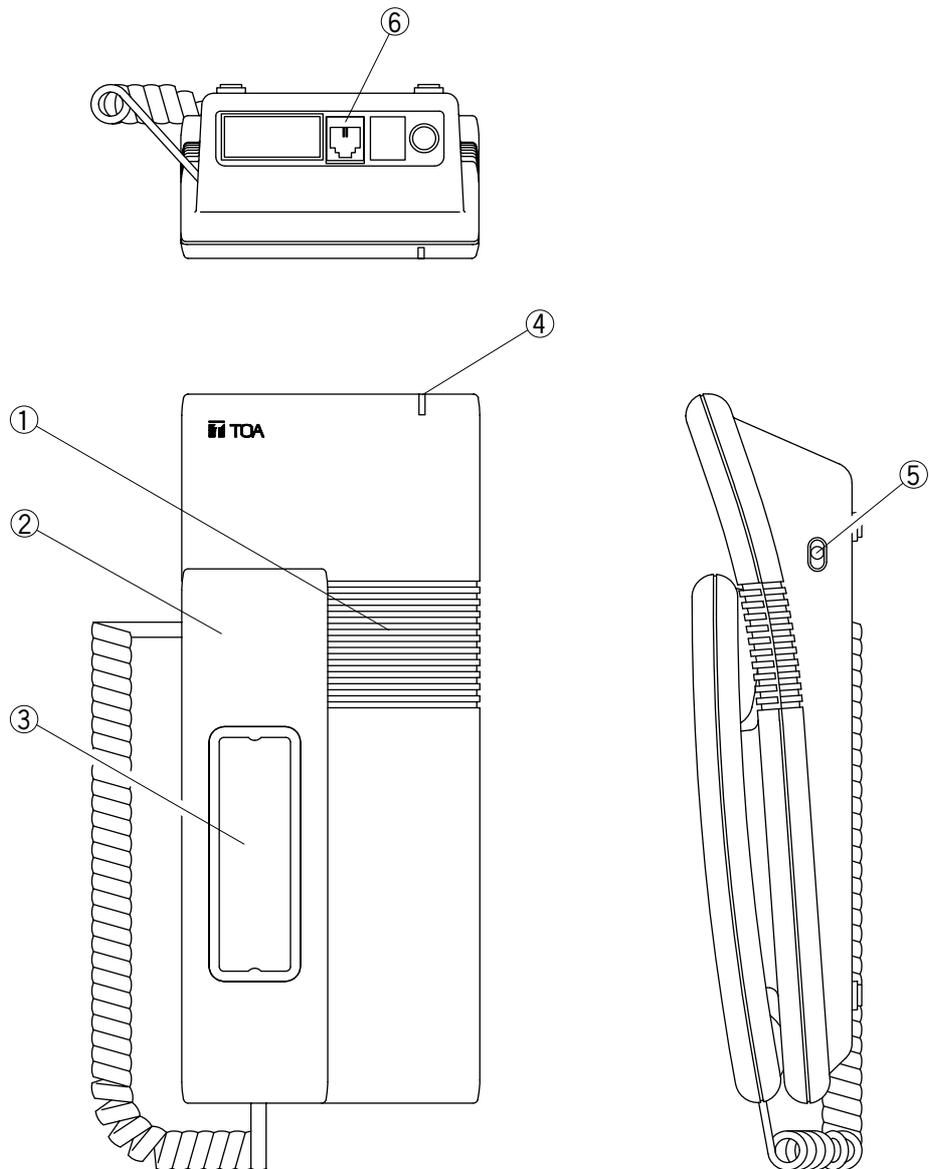


## ● S-7060M



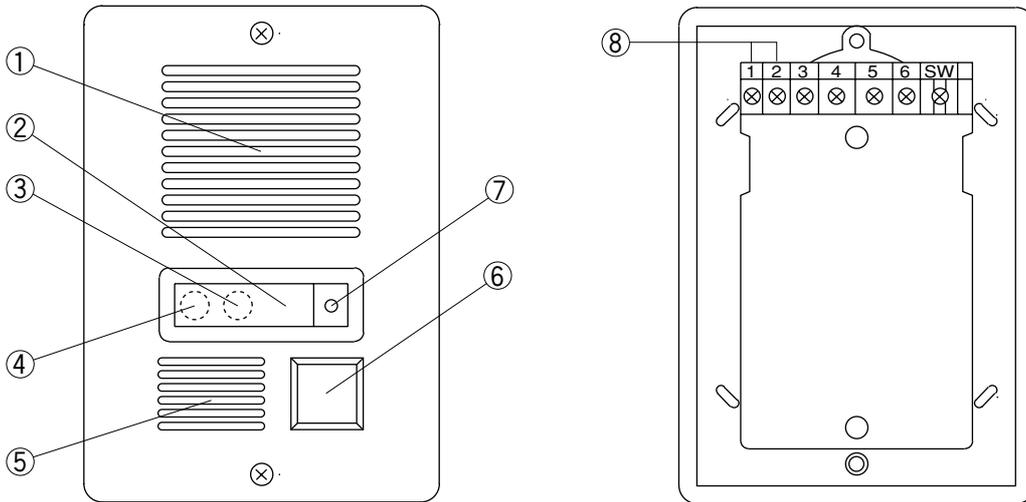
- ① スピーカ  
拡声用のスピーカで着信音を流すときに使用します。
- ② ハンドセット  
ハンドセット通話をするときに使用します。
- ③ 自番号書き込みシート  
自局番を書いております。
- ④ 通話中表示ランプ  
着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消灯します。
- ⑤ ページング呼出キー  
ページング呼び出し操作をするときなどに使用します。( P.6-24)
- ⑥ ページング応答キー  
ページング応答操作をするときなどに使用します。( P.6-28)
- ⑦ 保留キー  
通話を一時保留するときなどに使用します。( P.6-9)
- ⑧ 転送キー  
通話を他の端末に転送するときなどに使用します。( P.6-10)
- ⑨ リダイヤルキー  
直前にした操作を繰り返すときなどに使用します。( P.6-3)
- ⑩ ダイヤルキー  
相手を呼び出したりするときなどに使用します。
- ⑪ PTT キー  
音声呼び出しをするときなどに使用します。( P.6-3)
- ⑫ クリアキー [C]  
通話を終了するときなどに使用します。
- ⑬ 音量調節ボリューム  
スピーカ音量を調節するボリュームです。
- ⑭ 回線接続端子  
交換機と接続します。
- ⑮ 壁掛け金具  
S-7060M用の金具です。

## ■ サブ端末 S-7000S



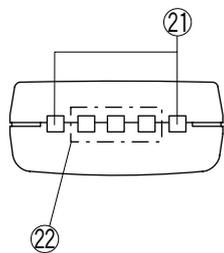
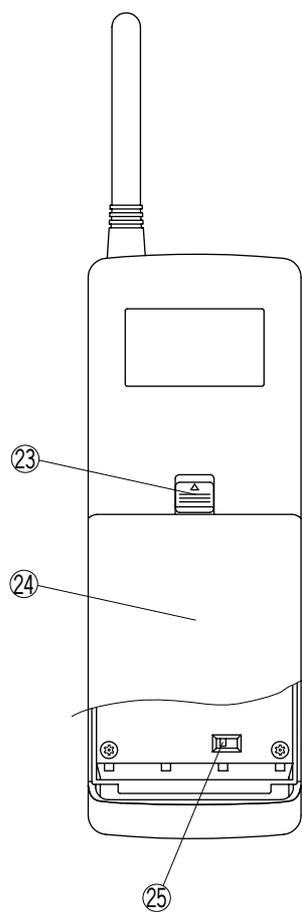
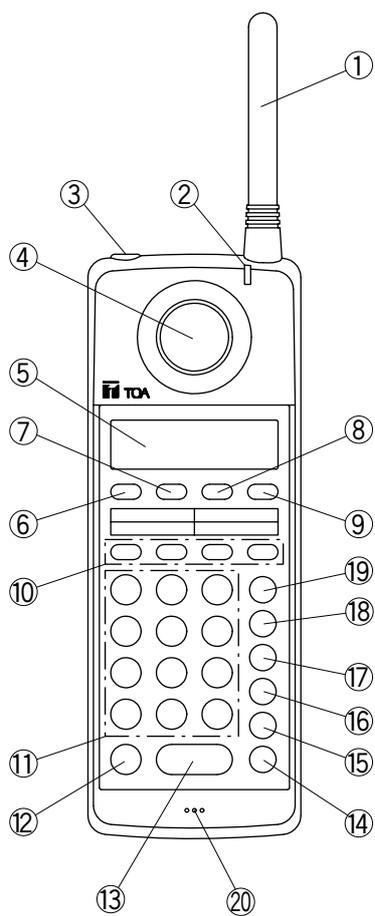
- ① スピーカ  
拡声用のスピーカで着信音を流すときに使用します。
- ② ハンドセット  
ハンドセット通話をするときに使用します。
- ③ 番号簿  
呼び出し先などの番号を書いております。
- ④ 通話中表示ランプ  
着信時は点滅（赤）、通話中は点灯（赤）、待ち受け時は点灯（緑）します。
- ⑤ 音量切換スイッチ [ ㊦ ]  
スピーカの音量を調節するスイッチで、大・中・小の3段階に設定できます。
- ⑥ 回線接続端子  
交換機と接続します。

## ■ ドアホン S-7000D



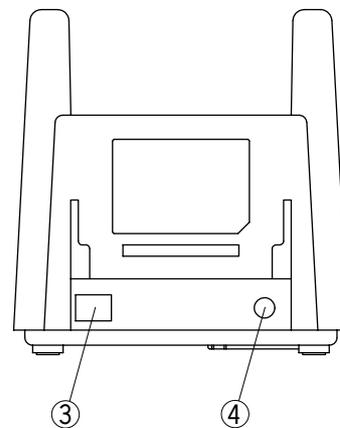
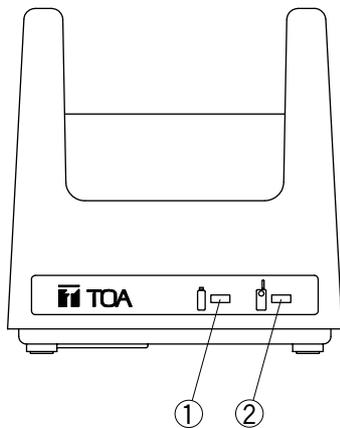
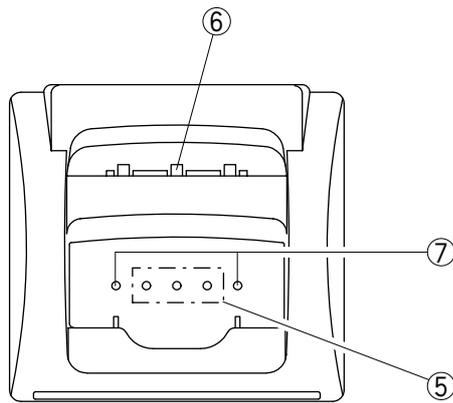
- |  |  |
|--|--|
| <p>① スピーカ<br/>拡声用のスピーカで着信音を流したり、ハンズフリー通話に使用したりします。</p> <p>② 名札<br/>自局番を書いておきます。</p> <p>③ マイク感度調節ボリューム<br/>マイク感度を調節するボリュームです。</p> <p>④ 音量調節ボリューム<br/>スピーカの音量を調節するボリュームです。</p> | <p>⑤ マイク<br/>拡声通話用のマイクで、ハンズフリー通話に使用します。</p> <p>⑥ 呼出キー<br/>相手を呼び出すときに使用します。</p> <p>⑦ 使用中表示ランプ<br/>通話中は点灯します。</p> <p>⑧ ステーション端子<br/>交換機と接続します。</p> |
|--|--|

# ■ コードレス端末 S-7000W



- ① アンテナ
  - ② 通話中表示ランプ  
着信時は点滅、通話中は点灯、待ち受け時は消灯します。
  - ③ ヘッドセット端子  
外部にヘッドセットを接続できます。
  - ④ スピーカ
  - ⑤ 表示画面（LCD表示）  
12桁の表示で、操作ダイヤルやかかってきた相手を表示します。  
待ち受け状態では、自局番や時刻を表示します。
  - ⑥ メニューキー  
メニュー操作をするときに使用します。
  - ⑦ 下矢印キー [▼]  
メニュー操作をするときに使用します。
  - ⑧ 上矢印キー [▲]  
メニュー操作をするときに使用します。
  - ⑨ 選択キー  
メニュー操作をするときに使用します。
  - ⑩ オートダイヤルキー  
オートダイヤル呼び出し先を登録するときや呼び出すときに使用します。（☞ P.6-6）
  - ⑪ ダイヤルキー  
相手を呼び出したりするときなどに使用します。
  - ⑫ クリアキー [C]  
通話を終了するときなどに使用します。
  - ⑬ 通話キー  
通話を開始するときなどに使用します。
  - ⑭ 機能／ロックキー  
各種機能操作やキーロックなどをするときを使用します。（☞ P.6-13）
  - ⑮ リダイヤルキー  
直前にした操作を繰り返すときなどに使用します。（☞ P.6-3）
  - ⑯ 転送キー  
通話を他の端末に転送するときなどに使用します。（☞ P.6-10）
  - ⑰ 保留キー  
通話を一時保留するときなどに使用します。（☞ P.6-9）
  - ⑱ ページング応答キー  
ページング応答操作をするときなどに使用します。（☞ P.6-28）
  - ⑲ ページング呼出キー  
ページング呼び出し操作をするときなどに使用します。（☞ P.6-24）
  - ⑳ マイク
  - ㉑ 外部スピーカ端子  
ハンズフリー通話をするとき、専用の充電器を使用し、外部スピーカと接続します。
  - ㉒ 充電端子  
充電するとき、専用の充電器と接続します。
  - ㉓ ロックレバー  
バッテリーパックを本体から取り外すときに使用します。
  - ㉔ バッテリーパック  
ニカド電池が内蔵されています。
- お願い**
- ニカド電池のリサイクルにご協力ください。
  - 「ニカド電池のリサイクルについて」と「ニカド電池の交換について」をお読みください。（☞ P.13）
- ㉕ 電源スイッチ  
「ON」にすると電源が入り、「OFF」すると電源が切れます。  
スイッチの操作は、バッテリーパックを取り外して行います。
- <メニュー操作について>
- コードレス端末では、メニューキーの操作で以下の機能が設定できます。
1. 呼出音量の設定（☞ P.6-12）
  2. 受話音量の設定（☞ P.6-12）
  3. 着信モードの設定（☞ P.6-5）
  4. オートダイヤルの設定（☞ P.6-7）
  5. 可変短縮ダイヤルの設定（☞ P.6-8）
  6. 保守用の設定（交換機の設定に使用）

## ■ 充電器 S-7000BC



- ① 充電中表示ランプ [  ]  
バッテリーパック用の充電表示ランプです。  
充電中は点灯（赤）、充電完了は点灯（緑）、充電していないときは消灯します。
- ② 充電中表示ランプ [  ]  
端末用の充電表示ランプです。  
充電中は点灯（赤）、充電完了は点灯（緑）、充電していないときは消灯します。
- ③ ACアダプタ用ジャック  
専用のACアダプターと接続します。
- ④ 外部スピーカ用ジャック  
専用の外部スピーカと接続します。
- ⑤ 充電端子（端末用）  
携帯端末の充電端子と接触し、バッテリーパックを充電します。

- ⑥ 充電端子（バッテリーパック用）  
バッテリーパックの充電端子と接触し、バッテリーパックを充電します。

携帯端末とバッテリーパックの両方を入れると

- ・携帯端末の充電が優先します。
- ・バッテリーパックの充電は、携帯端末の充電完了後に開始します。

- ⑦ 外部スピーカ端子  
携帯端末の外部スピーカ端子と接触することにより、外部スピーカ用ジャックに接続された専用スピーカを使用して、ハンズフリー通話ができます。

### ■ ご注意

- 充電には方向性があります。
- S-7000BCの充電中表示ランプとS-7000Wの操作面が同じ方向になるように入れてください。

# 第6章

---

## 機能と操作法

この章では、システムの機能と操作方法について説明します。

## 基本機能

通常、よく使うと思われる標準的な機能です。

### ■ 2者通話

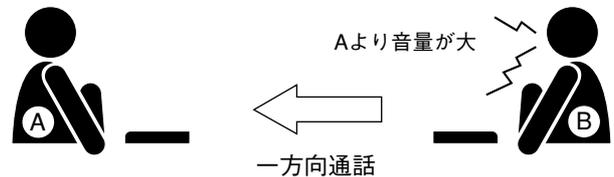
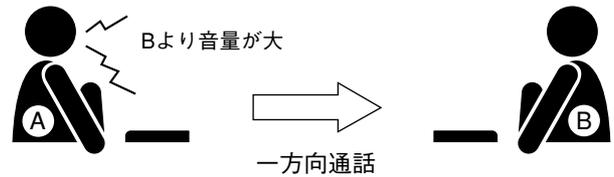
#### ● ハンズフリー通話

ハンドセットを取り上げずに相手呼び出したときや、自動応答モードで着信したときなどは、手を使わずに通話ができます。

- ・通話中の端末の両方がハンズフリー状態のときは、音量の大きい方の声が相手に届く交互通話となります。
- ・どちらか一方が、ハンドセットを上げれば同時通話となります。

※ S-7050M/-7060M/-7000S は除きます。

※ S-7000W は、ヘッドセットを使用したり S-7000SP を接続した S-7000BC にセットしたりすれば、ハンズフリー通話ができます。



#### ● PTT 通話

双方がハンズフリー通話を行っている場合、相手側の騒音が大きいときは、相手からの通話ばかりになり、こちらからの音声は相手に繋がらない（交互通話が切り換わらない）ことがあります。

- ・このようなとき、PTT キーを押すと押している間はこちらから相手へ音声がつながり、PTT キーを離すと相手からこちらへ音声がつながるようになります。
- ・どちらか一方が、ハンドセットを上げれば同時通話となります。

※ S-7050M/-7060M/-7000S/-7000W は除きます。



## ■ 呼 出

### ● 個別呼出

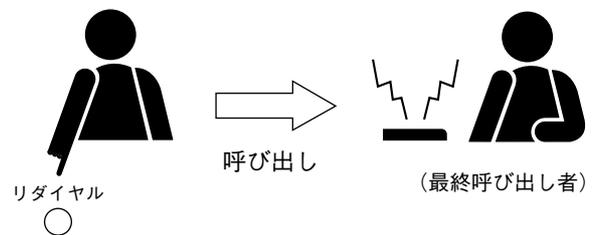
- ・通話したい相手の番号を押すと、相手呼び出せます。  
(S-7000M/-7010M/-7030M/-7040M は、ハンドセットを取り上げずにダイヤルしても相手呼び出せます。)
- ・相手が応答して、呼び出し音が止まったら通話できます。
- ・相手が通話中などで呼び出せないときは、話中音と表示 (S-7000M/-7010M/-7000W) が出ます。  
そのままの状態で見ていると、相手の通話が終わりしだい呼び出します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

### ● リダイヤル

端末のリダイヤルキーを押すと、直前のダイヤル操作を、もう一度行うことができます。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

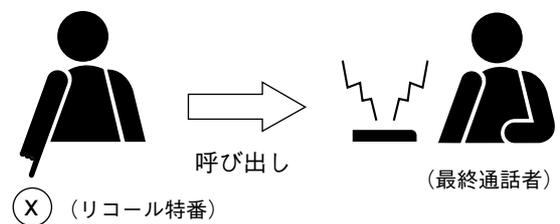


### ● リコール

リコール特番を押すと、最後に通話した相手を、もう一度呼び出すことができます。

※ リコール特番は、第4章の「リコール設定」(P. 4-16) で登録します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

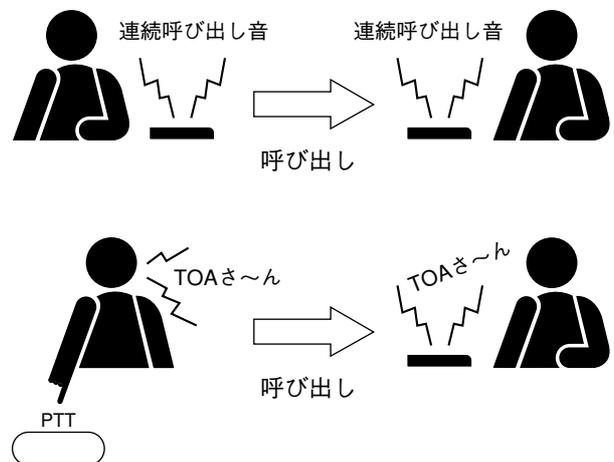


### ● 音声呼出

連続呼出音で呼び出している相手に、音声で呼びかけることができます。

- ・PTT キーを押して呼びかけると、押している間は呼び出し音が止まり、相手にこちらの音声が届きます。
- ・PTT キーを離すと、呼び出し音に戻ります。

※ S-7000W/-7000S/-7000D は除きます。



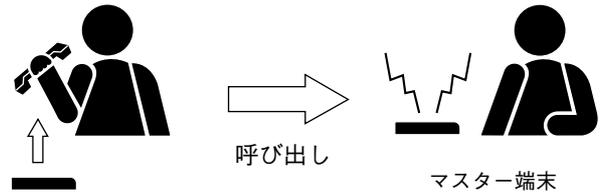
## 第6章 機能と操作法

### ● マスターサブ呼出

サブ端末のハンドセットを取り上げるだけで、あらかじめ設定した端末を呼び出すことができます。

※ 呼び出す端末は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。

※ S-7000D への呼び出しはできません。



### ● ドアホン呼出

ドアホンの呼出キーを押すだけで、あらかじめ設定した端末を呼び出すことができます。

※ 呼び出す端末は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。

※ S-7000D への呼び出しはできません。

### ● グループ呼出

・ グループの呼び出し番号をダイヤルすると、そのグループすべての端末を呼び出すことができます。

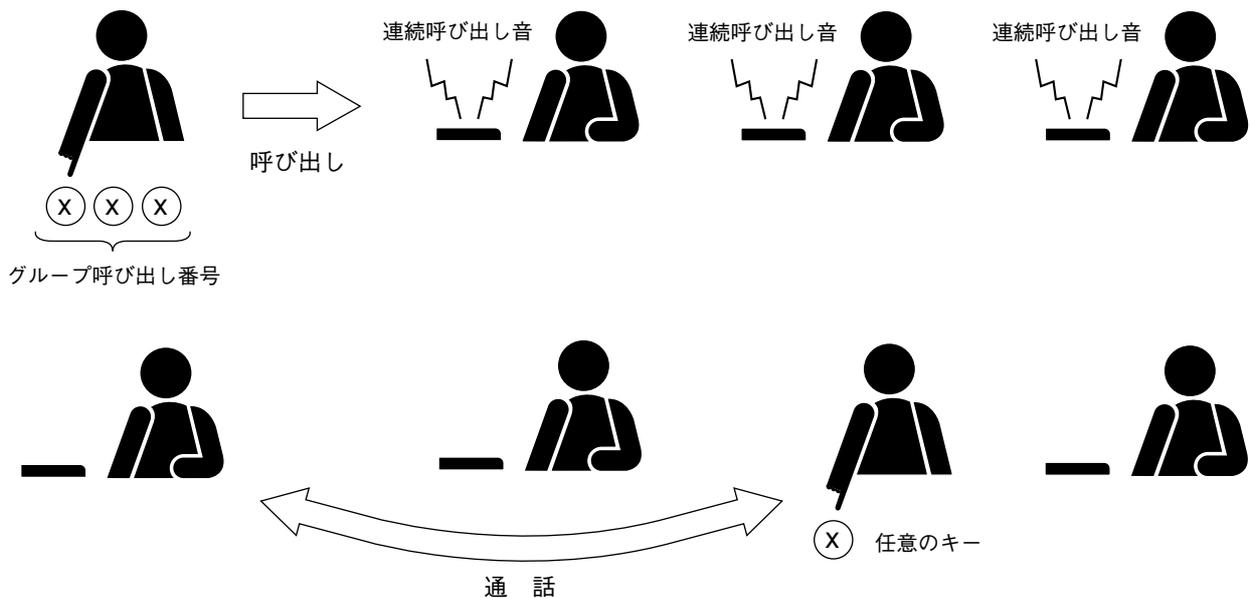
・ 呼び出しを受ける端末は、着信モードに関係なく連続呼出音で呼ばれます。

・ いずれかの端末が応答すれば、他の端末への呼び出しは終了します。

※ グループと呼出番号は、第4章の「グループ呼出設定」( P. 4-18) で登録します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

※ S-7000W/-7000D への呼び出しはできません。



## ■ 着信選択

連続呼出と自動応答の切り換えは、あらかじめ端末ごとに以下の着信モード設定が必要です。

※ S-7050M/-7060M/-7000S/-7000Dの端末では、着信モードの設定はできません。

### <着信モード設定のしかた>

#### ● 多機能マスター端末 S-7000M/-7010M の場合

1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。

→ 1:シフトウ オウトウ  
2:シユワ オンリヨウ

2. 「ジドウ オウトウ」を選択します。

3. 自動応答に設定するときは「2. ON」、連続呼出に設定するときは「1. OFF」を選択します。

1:シフトウ オウトウ  
→1.OFF 2.ON

4. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。  
自動応答に設定されているときは、画面の右上に「オート」と表示されます。  
連続呼出に設定されているときは、何も表示されません。

12:34 AM オート  
200

#### ● 標準型マスター端末 S-7030M、埋込型マスター端末 S-7040M の場合

- ・自動応答キーを2秒以上押すと、自動応答と連続呼出が切り換わります。
- ・自動応答に設定されているときは、通話中表示ランプは消灯しています。
- ・連続呼出に設定されているときは、通話中表示ランプは緑色に点灯しています。

#### ● コードレス端末 S-7000W の場合

1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。

☎) 冫) ▼  
ヨヒタシ オンリヨウ

2. 下矢印キーを押して、「ジドウ オウトウ」を選択します。

冫) ▲▼  
シフトウ オウトウ

3. 自動応答に設定するときは「1. ON」、連続呼出に設定するときは「2. OFF」を選択します。

冫)  
1:ON 2:OFF

4. 設定された着信モードが表示されます。  
(右は、自動応答に設定したときの表示例です。)

冫)  
シフトウオウトウON

5. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。

冫)  
12:34AM 300

## ● 連続呼出

- ・ハンドセットを取り上げて応答すると、秘話通話となります。
- ・任意のキーを押して応答すると、ハンズフリー通話となります。(ワンタッチ応答)
- ・コードレス端末は任意のキーを押す、あるいは充電器から取り上げて応答すると、秘話通話となります。

※ S-7000D は除きます。

※ S-7050M/-7060M/-7000S はワンタッチ応答ができません。

## ● 自動応答

- ・着信音が1回鳴って自動的に応答し、ハンズフリー通話となります。
- ・ハンドセットを取り上げれば、秘話通話となります。

※ S-7050M/-7060M/-7000S は除きます。

# ■ 短縮ダイヤル

## ● オートダイヤル

オートダイヤルキー1つに、各種ダイヤル操作（最大50桁）を登録することができます。

※ S-7000M/-7010M/-7000W だけができます。

<オートダイヤル登録のしかた>

### ● 多機能マスター端末 S-7000M/-7010M の場合

1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。

→ 1: シフトウ オウトウ  
2: シュワ オンリョウ

2. 下矢印キーを押して、「オート ダイヤル」を表示させます。

2: シュワ オンリョウ  
→ 3: オート タイヤル

3. 選択すると、オートダイヤル登録モードになります。

3: オート タイヤル  
オート1 - オート8

4. オートダイヤルキーを押すと、登録内容が表示されます。

3: オート タイヤル  
1:

5. 選択キーを押して、登録内容を入力します。  
入力が完了すれば、選択キーを押します。

3: オート タイヤル  
1: → ■■■■■■■■■■■■

6. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。

12:34 AM  
200

● コードレス端末 S-7000W の場合

1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。



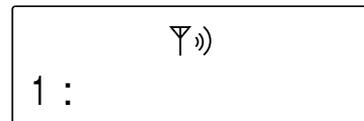
2. 下矢印キーを押して、「オートダイヤル」を表示させます。



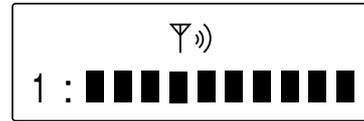
3. 選択すると、オートダイヤル登録モードになります。



4. オートダイヤルキーを押すと、登録内容が表示されます。



5. 選択キーを押して、登録内容を入力します。  
入力が完了すれば、選択キーを押します。



6. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。



● ワンタッチダイヤル

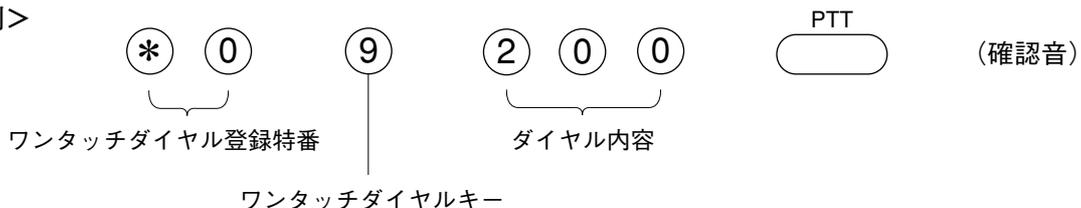
- 任意のテンキー（0～9）をワンタッチダイヤルに設定することで、各種操作（ダイヤル内容）をテンキー1つで行うことができます。
- ワンタッチダイヤルの登録は、

ワンタッチダイヤル登録特番 + 「0～9」キー + ダイヤル内容 + PTTキー と操作します。

- ワンタッチダイヤルには、最大10桁のダイヤル内容を登録できます。

※ワンタッチダイヤル登録特番は、第4章の「ワンタッチダイヤル設定」（P. 4-33）で登録します。  
※S-7000S/-7000D/-7000W は除きます。

<登録例>



<消去例>



## 第6章 機能と操作法

### ● 可変短縮ダイヤル

- ・コードレス端末は端末ごとに、各種ダイヤル操作を2桁の短縮ダイヤルに登録することができます。
- ・可変短縮ダイヤルには、最大10桁のダイヤル内容を登録できます。

※ 可変短縮ダイヤルの1桁目は、第4章の「短縮ダイヤル設定」( P. 4-20) で登録します。

※ S-7000W だけができます。

#### <可変短縮ダイヤル登録のしかた>

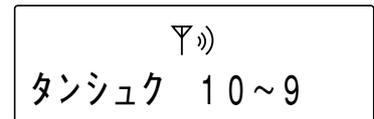
1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。



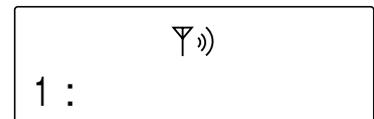
2. 下矢印キーを押して、「カヘン タンシュク」を表示させます。



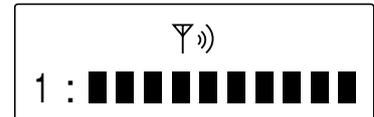
3. 選択すると、可変短縮ダイヤル登録モードになります。



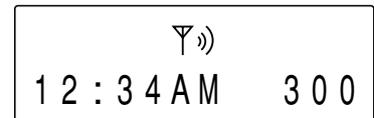
4. テンキー (0~9) を押すと、登録内容が表示されます。



5. 選択キーを押して、登録内容を入力します。  
入力が完了すれば、選択キーを押します。



6. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。



### ● 固定短縮ダイヤル

- ・システムで共通に使用するダイヤル操作を、3桁の短縮ダイヤルに登録することができます。
- ・固定短縮ダイヤルには、最大50桁のダイヤル内容を登録できます。

※ 固定短縮ダイヤルは、第4章の「短縮ダイヤル設定」( P. 4-20) で登録します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

## ■ 保 留

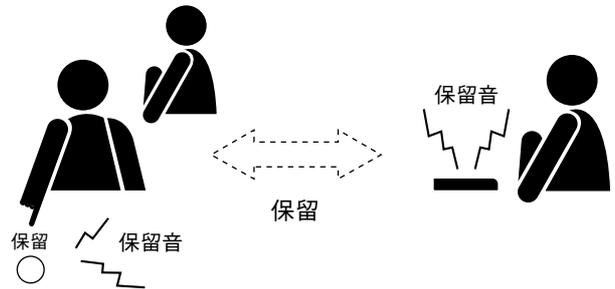
### ● 一時保留

通話中に打ち合わせなどをしたときに、通話を保留することができます。

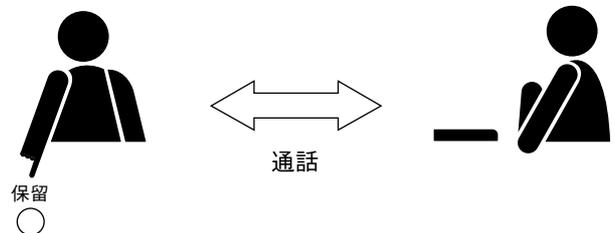
- ・通話中に保留キーを押せば通話が保留され、保留音が流れます。  
保留を解除したいときは、もう一度、保留キーを押します。
- ・保留中の端末は、保留キー以外のキーは使えません。  
また、保留中にハンドセットを置いたり、クリアキー（C）を押したりしても通話は切れず、保留状態のままです。
- ・ハンドセットを置いた保留状態のときは、この端末のハンドセットを取り上げると、保留が解除されます。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

<保留>



<保留解除>



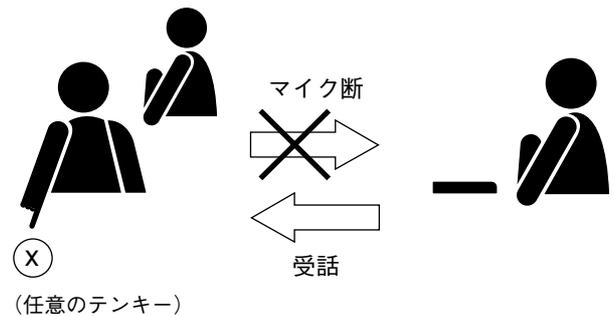
### ● マイクオフ

通話中に打ち合わせなどをしたときに、マイクを切って、相手にこちらの会話を聞かれないようにすることができます。

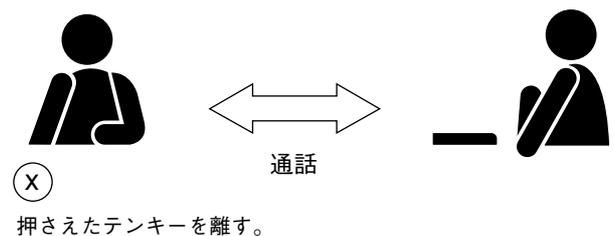
- ・通話中に任意のテンキーを押せば、押している間だけマイクが切れます。
- ・離せば、マイクオフが解除になり両者の通話ができます。

※ S-7000M/-7010M だけができます。

<マイクオフ>

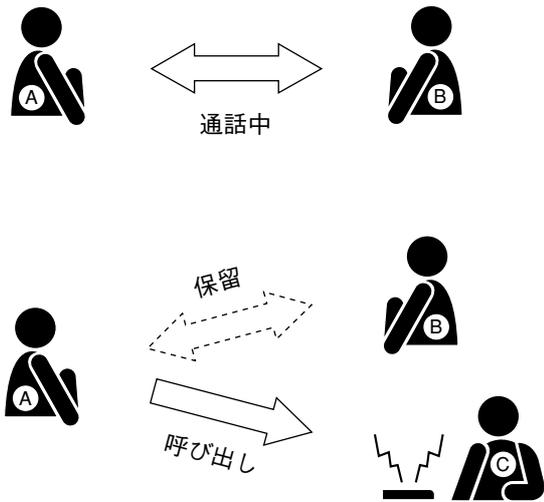
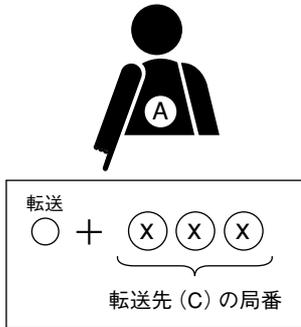


<マイクオフ解除>

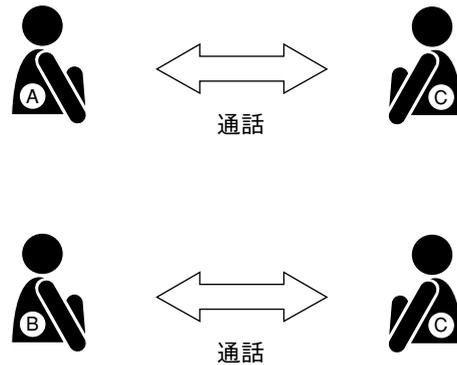


## ■ 転送

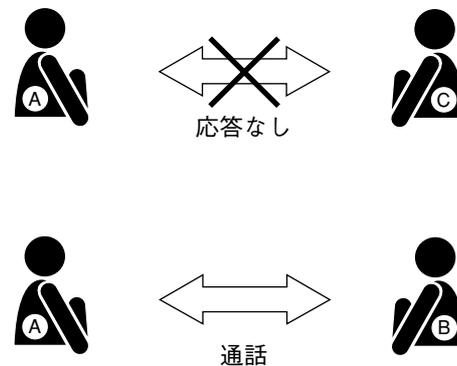
- 転送先の呼び出しは、通話中に転送キーを押します（通話は保留状態となります）。次に、転送先の局番を押します。



- 転送を完了するには、転送先の応答後にクリアキー（C）を押します。または、ハンドセットを置きます。



- 転送先が応答しないときや転送先との通話を切って元の通話に戻りたいときは、もう一度、転送キーを押します。



※ S-7000S/-7000D は除きます。

## ■ 通話相手表示

呼び出し相手や通話相手の局番を、端末の表示画面（LCD表示）により確認することができます。

※ S-7000M/-7010M/-7000W だけができます。

## ■ 受話音量設定

秘話通話用のスピーカ（ハンドセットのスピーカやコードレス端末のスピーカ）の音量を調節するときは、以下の手順で行います。

※ S-7000M/-7010M/-7000W だけができます。

### ● 多機能マスター端末 S-7000M/-7010M の場合

1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。

```
→ 1:ジ`ト`ウ オウトウ
   2:ジ`ユ`ワ オンリョウ
```

2. 下矢印キーを押して、「ジユワ オンリョウ」を表示させます。

```
1:ジ`ト`ウ オウトウ
→ 2:ジ`ユ`ワ オンリョウ
```

3. 選択すると受話音量登録モードになり、設定状態が表示されます。

```
2:ジ`ユ`ワ オンリョウ
1.<→2.<< 3.<<<
```

4. 左右矢印キーで変更して選択します。  
音量を大・中・小の3段階に調節できます。

```
2:ジ`ユ`ワ オンリョウ
1.< 2.<<→3.<<<
```

5. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。

```
12:34 AM
                                200
```

## 第6章 機能と操作法

### ● コードレス端末 S-7000W の場合

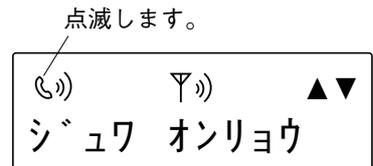
1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。



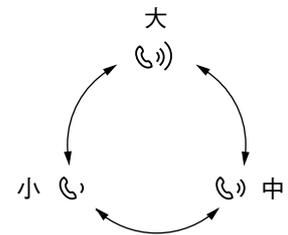
2. 下矢印キーを押して、「ジユワ オンリヨウ」を表示させます。



3. 選択すると、受話音量設定モードになります。



4. 上下矢印キーで変更して選択します。  
音量を大・中・小の3段階に調節できます。



5. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。



## ■ 呼出音量設定

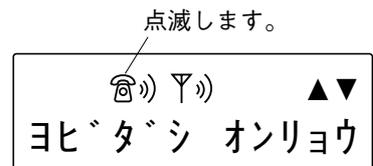
コードレス端末の呼び出し音の音量を調節するときは、以下の手順で行います。

※ S-7000W だけができます。

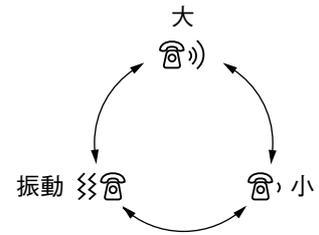
1. メニューキーを押して、メニューモードに移ります。



2. 選択すると、呼出音量設定モードになります。



3. 上下矢印キーで変更して選択します。  
音量大・音量小・振動のいずれかに設定できます。



4. メニューキーを押すと、通常モードに戻ります。

※ 振動呼び出しに設定されているときは、画面の左上に「」が表示されます。



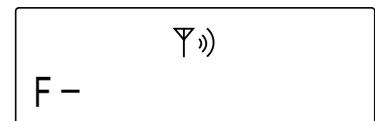
## ■ キーロック

コードレス端末を持ち歩くときなどに、誤操作防止のためのキーロックを設定することができます。  
キーロックを設定していても着信を受けることができます。

※ S-7000W だけができます。

### <キーロック設定のしかた>

1. 機能/ロックキーを2秒以上押し続けます。



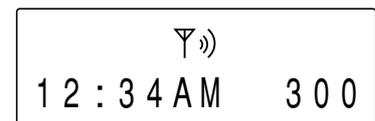
2. キーロックが設定されると、「キーロック」表示になります。



※ キーロック中は、「キーロック」表示のままです。

### <キーロック解除のしかた>

機能/ロックキーを2秒以上押し続けると、「キーロック カイシヅヨ」表示となり、続いて通常モードになります。



# サービス機能

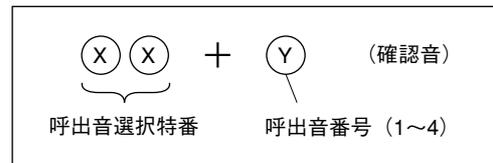
基本機能の他に、実現できる便利な機能です。

## ■ 呼出音選択

- ・ 端末ごとに、呼び出し音（連続呼出音、自動着信音）を選択することができます。
- ・ 呼び出し音は、連続呼出音と自動着信音の各4種類の中から選べます。

<呼び出し音の選択のしかた>

- ・ 端末で右の操作をします。
- ・ 着信モードが、連続呼出に設定されている端末で右の操作をすると連続呼出音が選択され、自動応答に設定されている端末で操作すると自動着信音が選択されます。



※ 呼出音選択特番は、第4章の「端末特番」( P. 4-19) で登録します。

※ S-7000S/-7000Dの呼び出し音を選択するときは、第4章の「端末モード設定」( P. 4-33) で登録します。

※ S-7000Wは除きます。

## ■ 通話時間制限

端末ごとに、あらかじめ設定した3パターンの制限時間（1～255分）または制限無しの中から、通話時間を選択することができます。

※ 制限時間のパターンは、第4章の「通話時間設定」( P. 4-19) で登録します。

※ 端末ごとのパターンは、第4章の「通話時間制限」( P. 4-22) で登録します。

## ■ 限定局呼出

あらかじめ、グループ（最大32グループ）を設定して、グループ相互間の呼び出しの可否を任意に設定することができます。

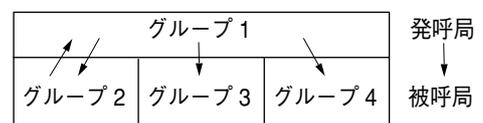
※ グループ設定は、第4章の「限定局グループ設定」( P. 4-30) で登録します。

<例1>

グループ1 No.201～209		
グループ2 No.210～219	グループ3 No.220～249	グループ4 No.250～279

※ グループ相互間の呼び出しの可否は、第4章の「限定局呼出設定」( P. 4-31) で登録します。

<例2>

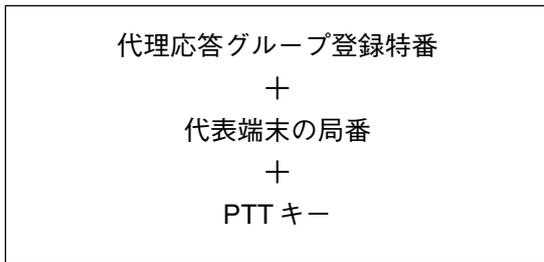


## ■ 代理応答

代理応答グループ登録をすると、離れたところにある任意の端末が呼び出されているときに、同じグループ内のどの端末からでも応答することができます。

### <代理応答グループ登録のしかた>

グループの中で代表の端末（任意）を決めて、



と操作します。

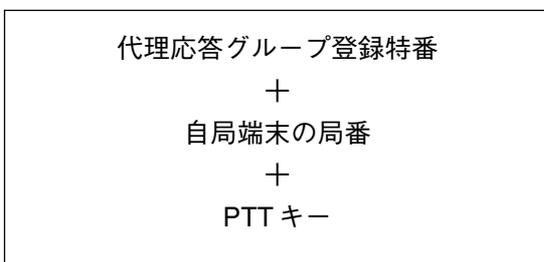
※ この操作は、グループ内のすべての端末で行います。

### <代理応答のしかた>

代理応答するには、呼び出し音が鳴っているときに代理応答特番を押します。

### <代理応答グループ登録解除のしかた>

登録を解除したい端末で、

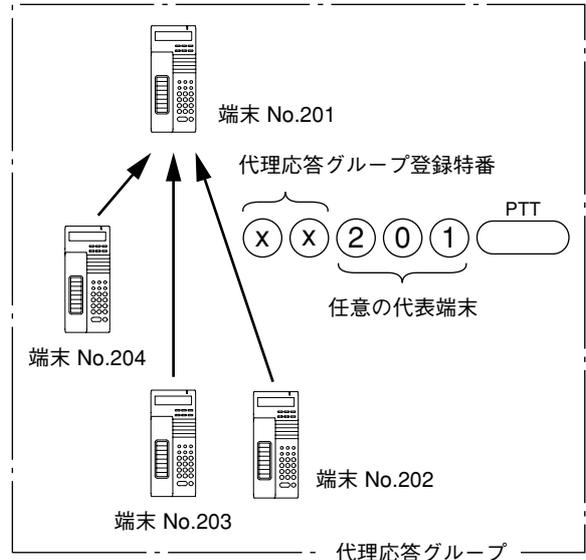


と操作します。

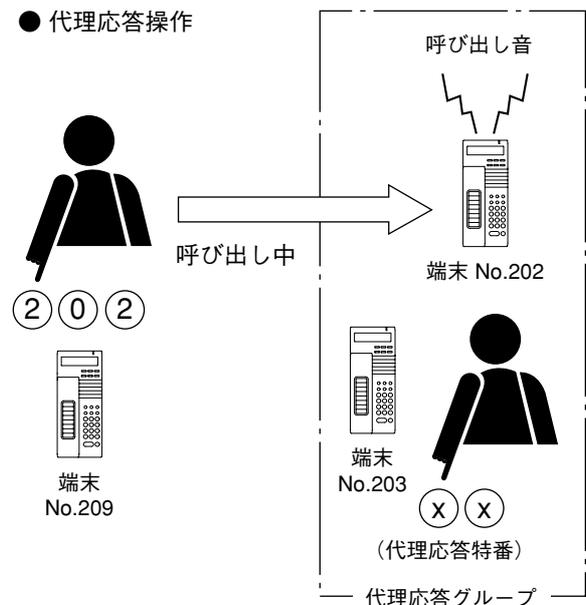
※ 代理応答グループ登録特番と代理応答特番は、第4章の「代理応答設定」( P. 4-16) で登録します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

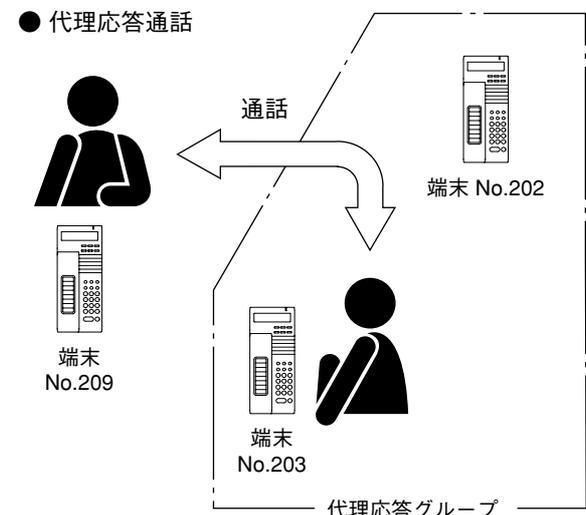
### ● 代理応答グループの登録例



### ● 代理応答操作



### ● 代理応答通話

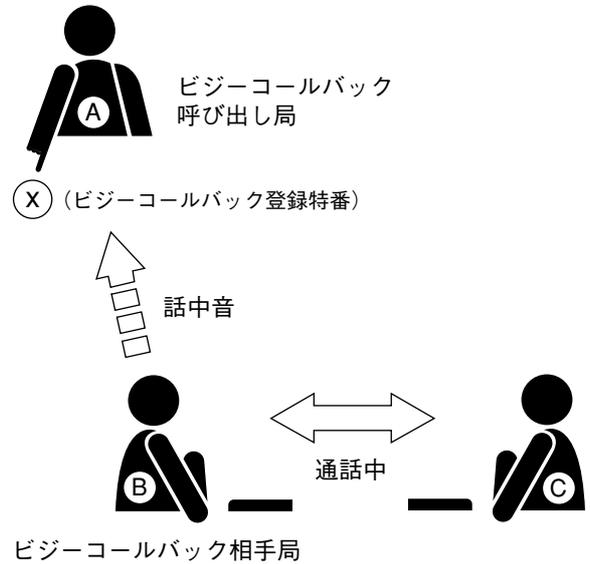


## ■ ビジーコールバック

呼び出した相手が通話中の場合、ビジーコールバック登録特番を押すと、相手の通話終了を音で確認することができます。

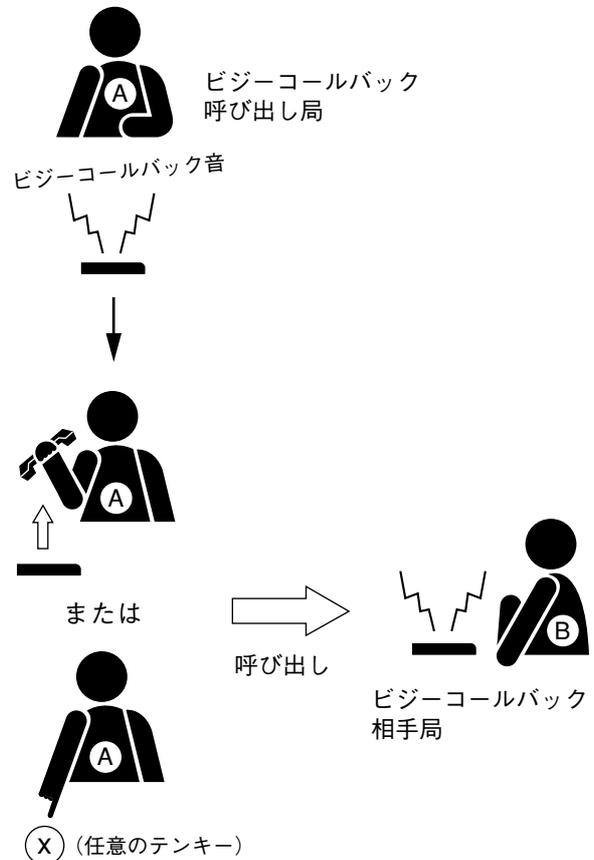
### <ビジーコールバック登録特番操作>

呼び出した相手が通話中のときに、ビジーコールバック登録特番を押します。



### <ビジーコールバック音と呼び出し操作>

相手の通話終了を音で確認することができます。



ビジーコールバック音が鳴っている間に、ハンドセットを取り上げるか、任意のテンキーを押すことで相手呼び出し、通話することができます。

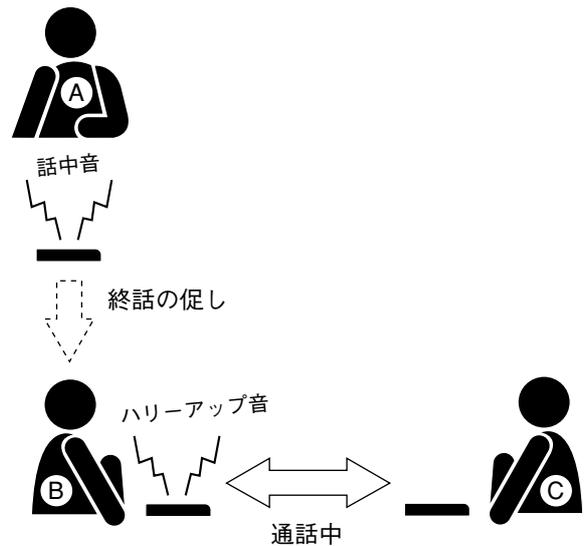
※ ビジーコールバック登録特番は、第4章の「ビジーコールバック」( P. 4-16) で登録します。

※ S-7000W/-7000S/-7000D は除きます。

## ■ ハリーアップ

呼び出した相手が通話中の場合、自動的に相手へ呼び出し中であることを音や表示（表示付き端末のみ）で知らせ、終話を促すことができます。

※ ハリーアップを受けるかどうかは、第4章の「ハリーアップ設定」（ P. 4-24）で端末ごとに登録します。



## ■ 割込

### ● 割込

・ 呼び出した相手が通話中の場合、割込操作特番を押すと、相手の端末に呼び出しがあることを音と表示（表示付き端末のみ）で知らせることができます。

・ 割り込みを受けた端末は、割込応答特番を押すと、元の通話を保留して、割り込みの相手と通話することができます。

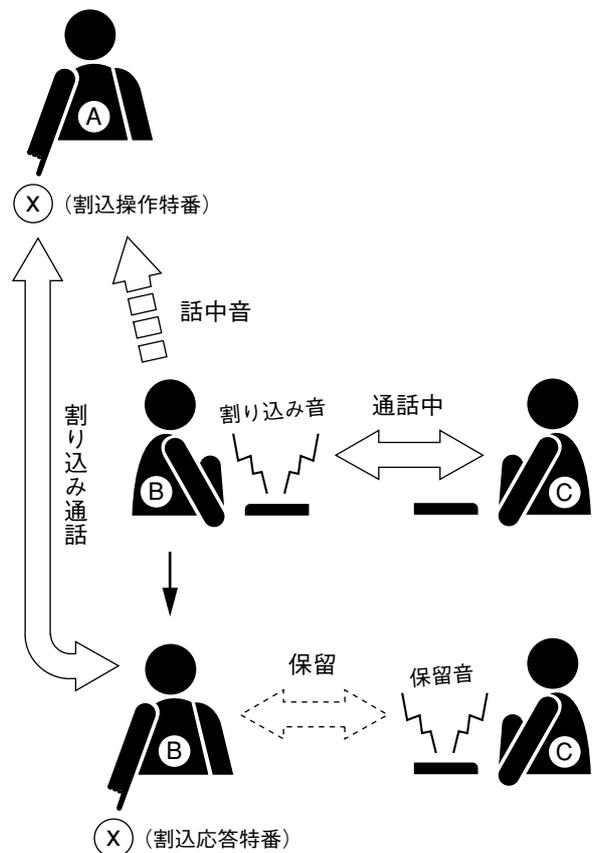
・ 割り込み通話が終わると、元の通話に戻ります。

※ ページング中など相手先の状態によっては、割り込めないことがあります。

※ 割込操作特番と割込応答特番は、第4章の「割込設定」（ P. 4-25）で登録します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

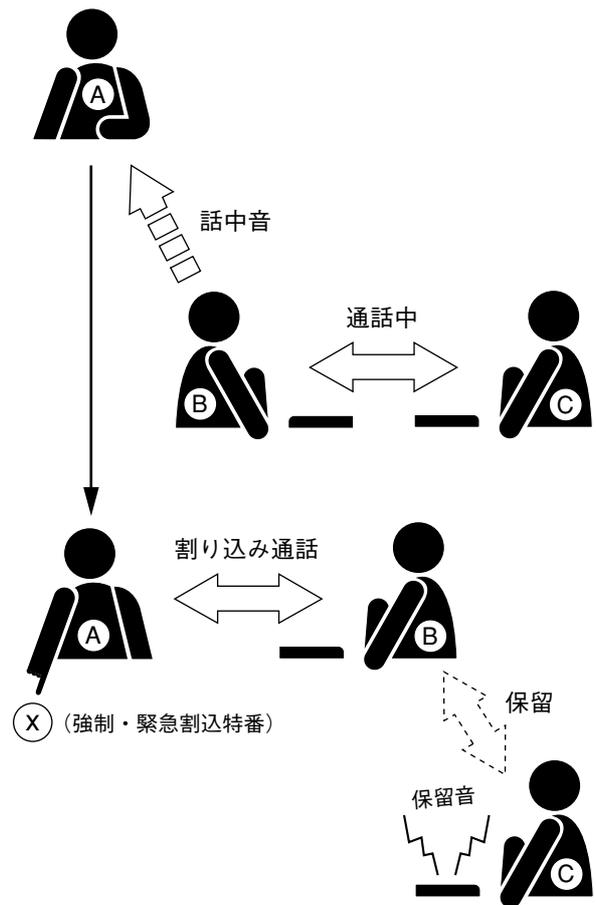
※ S-7000S/-7000D への割り込みはできません。



### ● 強制割込

- ・呼び出した相手が通話中の場合、強制・緊急割込特番を押すと、相手に約2秒間、音と表示（表示付き端末のみ）で知らせた後、自動的に割り込み通話へ移行します。
- ・元の通話は割り込み通話中は保留され、割り込み通話が終わると戻ります。

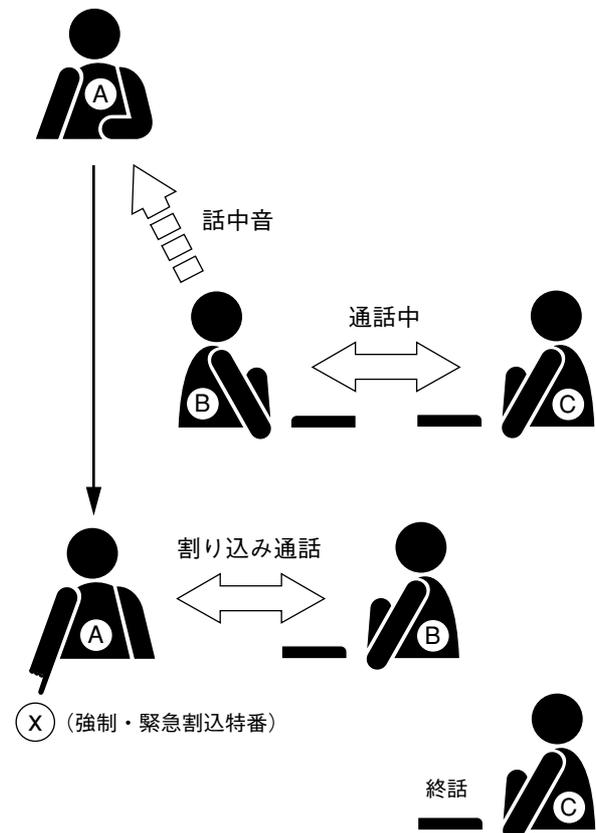
- ※ ページング中など相手先の状態によっては、割り込めないことがあります。
- ※ 強制・緊急割込特番は、第4章の「割込設定」（P. 4-25）で登録します。
- ※ 強制・緊急割込特番を強制割込と緊急割込のどちらにするかは、第4章の「割込モード設定」（P. 4-26）で端末ごとに登録します。
- ※ S-7000S/-7000D は除きます。
- ※ S-7000S/-7000D への強制割り込みはできません。



### ● 緊急割込

- ・呼び出した相手が通話中の場合、強制・緊急割込特番を押すと、相手に約2秒間、音と表示（表示付き端末のみ）で知らせた後、自動的に割り込み通話へ移行します。
- ・元の通話は切断されます。

- ※ 強制・緊急割込特番は、第4章の「割込設定」（P. 4-25）で登録します。
- ※ 強制・緊急割込特番を強制割込と緊急割込のどちらにするかは、第4章の「割込モード設定」（P. 4-26）で端末ごとに登録します。
- ※ S-7000S/-7000D は除きます。



## ● 割込レベル設定

あらかじめ端末ごとに割込レベルを設定しておくことで、レベルの低い端末からレベルの高い端末への割り込みを禁止することができます。

※ 割込レベルは、第4章の「割込レベル設定」( P. 4-27) で、端末ごとに登録します。

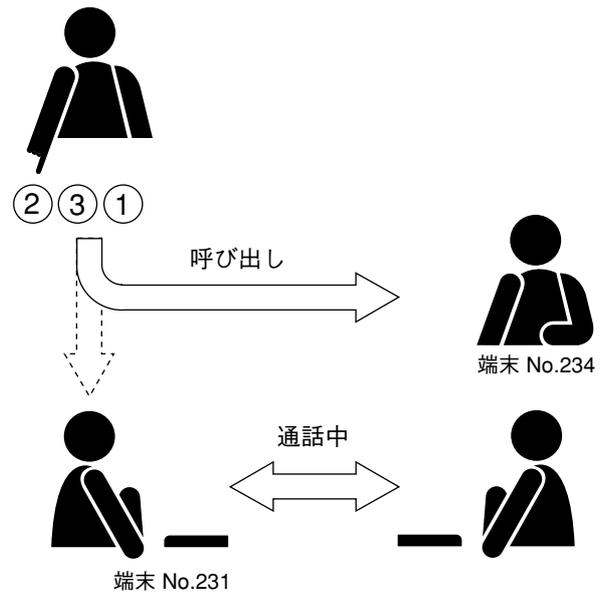
## ■ 自動転送

### ● 話中転送

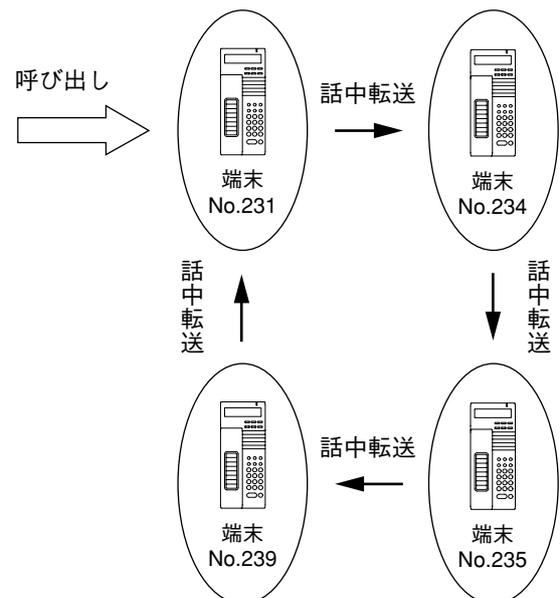
・ 通話中などに呼び出しがあった場合、あらかじめ登録した別の端末に転送させることができます。

・ 転送先も通話中の場合は、更に別の端末へ転送させることができるため、空き回線へスライド式に転送させることもできます。

※ 話中転送先は、第4章の「転送先・モード設定」( P. 4-23) で登録します。



<設定例> 端末を一巡するように転送できます。



● 可変不応答転送

- ・ 会議などで席を離れる場合、自席の端末を設定した回数だけ呼び出した後、移動先の端末へ自動的に転送できます。また、転送先から更に別の端末へ転送できます（呼出回数が「0」のときは除きます）。
- ・ 転送先の登録は、転送先（移動先）または転送元（自席）の端末で操作できます。

< 転送先での登録操作 >

可変転送先登録特番  
+  
転送元の局番  
+  
PTT キー

と操作します。

< 転送元での登録操作 >

可変転送元登録特番  
+  
転送先の局番  
+  
PTT キー

と操作します。

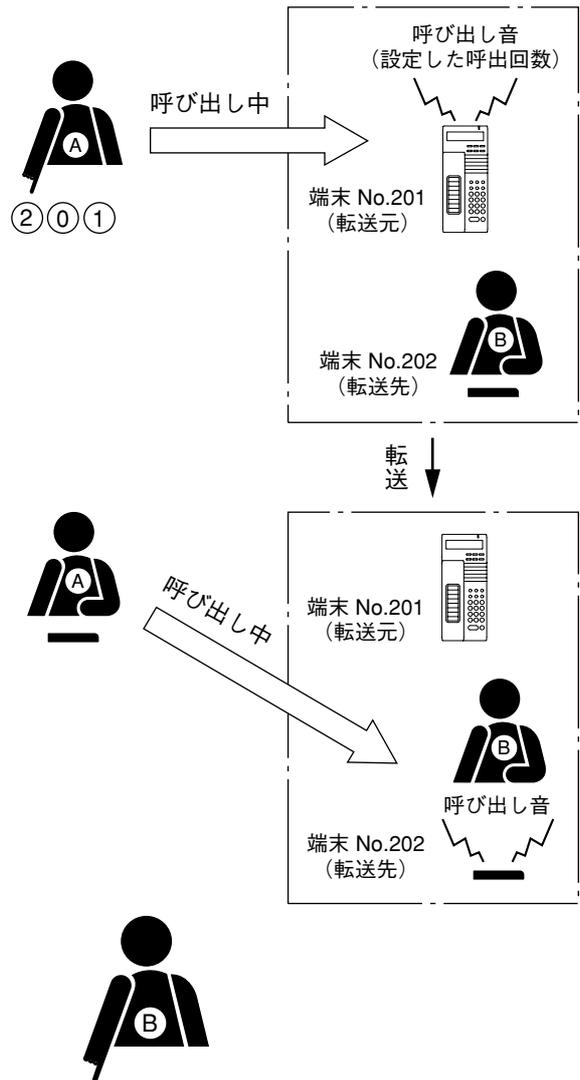
< 登録解除の操作 >

転送元の端末で、

可変転送先登録特番または可変転送元登録特番  
+  
転送元の局番  
+  
PTT キー

と操作します。

※ 呼出回数、可変転送先登録特番、および可変転送元登録特番は、第4章の「可変不応答転送設定」（P. 4-17）で登録します。



● 転送先（端末No.202）で登録

可変転送先登録特番 + 転送元の局番 + PTT (確認音)

(X)(X) + (2)(0)(1) + PTT (確認音)

● 転送元（端末No.201）で登録

可変転送元登録特番 + 転送先の局番 + PTT (確認音)

(Y)(Y) + (2)(0)(2) + PTT (確認音)

● 登録解除は転送元（端末No.201）で行う

可変転送先登録特番 + 転送元の局番 + PTT (確認音)

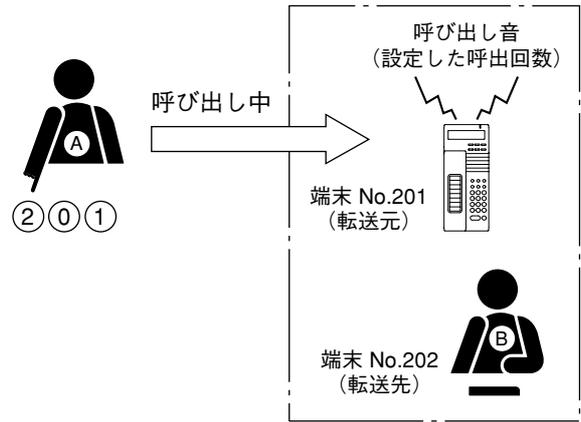
または (X)(X) + (2)(0)(1) + PTT (確認音)

可変転送元登録特番 + 転送先の局番 + PTT (確認音)

(Y)(Y) + (2)(0)(2) + PTT (確認音)

● 固定不応答転送

- ・作業中などで手が離せない場合、特番操作をしておく  
と自席の端末を設定した回数だけ呼び出した後、あ  
らかじめ設定した別の端末へ自動的に転送できます。
- ・転送先から更に別の端末へ転送させたり、時刻で転  
送先を切り換えたりできます。

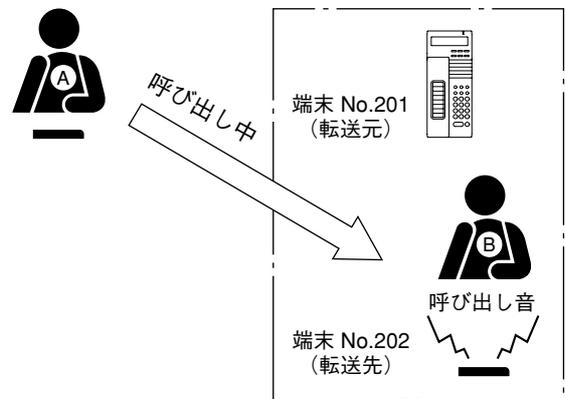


<固定不応答転送状態にする操作>

転送元の端末で、固定不応答転送 ON 特番を押します。

<固定不応答転送状態を解除する操作>

転送元の端末で、固定不応答転送 OFF 特番を押します。



※ 転送先の切り換え時刻、固定不応答転送 ON 特番、  
および固定不応答転送 OFF 特番は、第4章の「固定  
不応答転送設定」( P. 4-17) で登録します。

※ 転送先は、第4章の「転送先・モード設定」( P. 4-23) で登録します。



● 転送元 (端末No.201) で転送状態にするとき

(X) (X) (確認音)

固定不応答転送ON特番

● 転送元 (端末No.201) で転送状態を解除するとき

(Y) (Y) (確認音)

固定不応答転送OFF特番

● 秘書転送

- ・ 役員への呼び出しを秘書が代わりに応答したい場合などに、役員の端末を呼び出さずに、あらかじめ設定した秘書の端末へ自動的に転送できます。

<秘書転送状態にする操作>

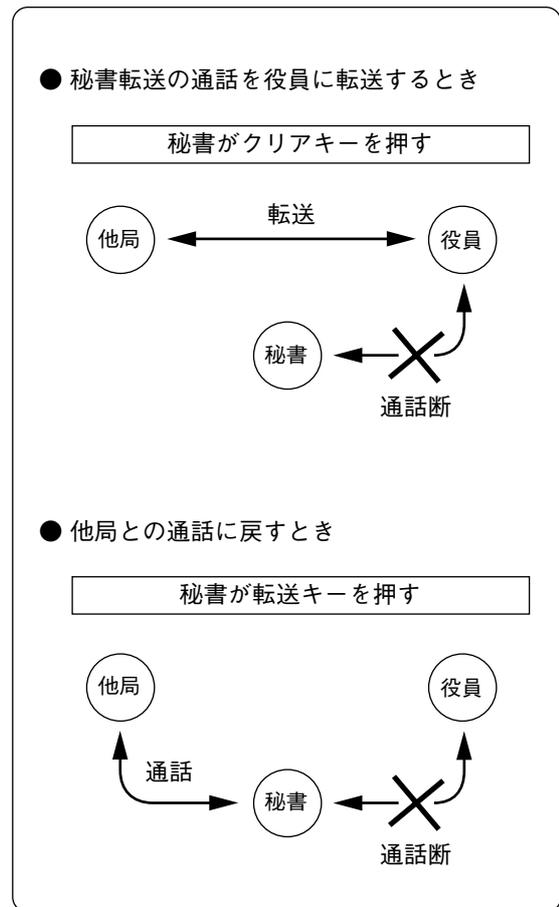
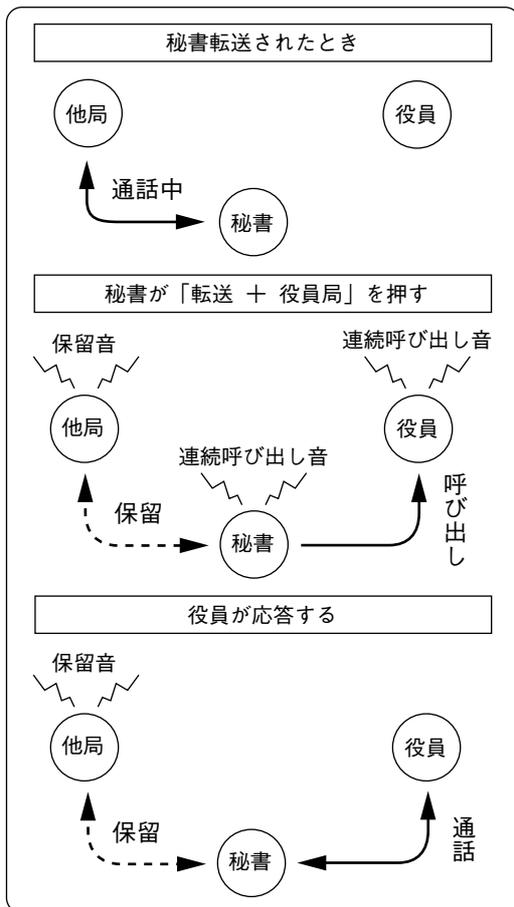
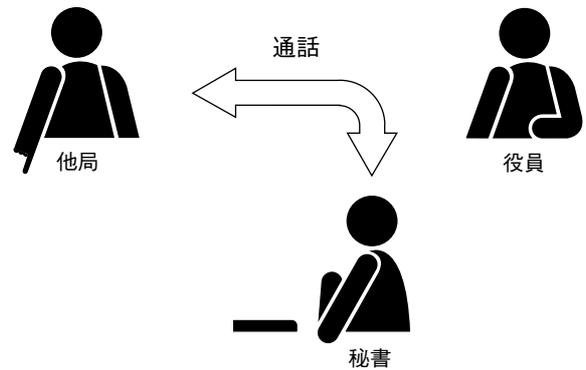
役員端末で、固定不応答転送 ON 特番を押します。

<秘書転送状態を解除する操作>

役員端末で、固定不応答転送 OFF 特番を押します。

- ・ 秘書転送された通話を役員の端末に転送すれば、役員と直接に通話できます。
- ・ 秘書から更に別の秘書へ転送させたり、時刻で転送先を切り換えたりできます。

<役員への転送例>



※ 転送先の切り換え時刻、固定不応答転送 ON 特番、および固定不応答転送 OFF 特番は、第4章の「固定不応答転送設定」( P. 4-17) で登録します。

※ 転送先は、第4章の「転送先・モード設定」( P. 4-23) で登録します。

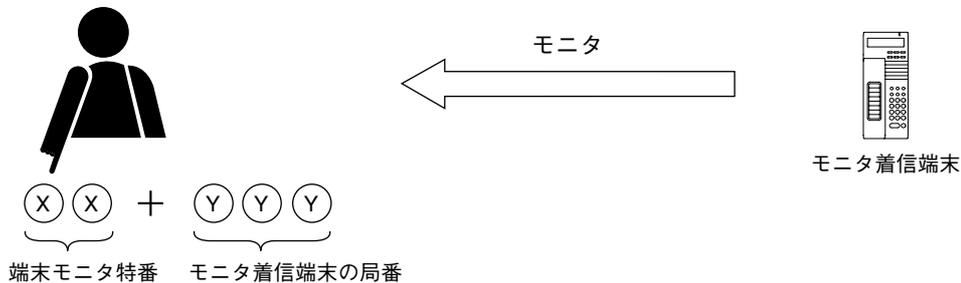
## ■ 端末モニタ

- ・ 端末から他の端末周囲の音声をモニタできます。
- ・ 着信時のモニタ着信端末には、呼び出し音や音声は出ません。
- ・ 夜間の巡回の代わりに使用でき、不審な物音などが聞こえたら PTT キーを押して、音声で警告を与えることができます。

### < 端末モニタの操作 >

端末モニタ特番 + モニタ着信端末の局番

を押します。



### < モニタ中に音声で警告を与える操作 >

端末モニタ中に、PTT キーを押したまま音声で呼び出します。



- ※ 端末モニタ特番は、第4章の「端末モニタ設定」(P. 4-34)で登録します。
- ※ モニタをする端末は、第4章の「モニタ呼出端末設定」(P. 4-34)で登録します。
- ※ モニタをされる端末は、第4章の「モニタ着信端末設定」(P. 4-35)で登録します。
- ※ S-7000W/-7000S/-7000D は除きます。
- ※ S-7000W/-7000S/-7000D へのモニタはできません。

# ページング機能

ページングユニットE-7000PIを使用すると、以下の機能を実現することができます。

## ■ 系統ページング

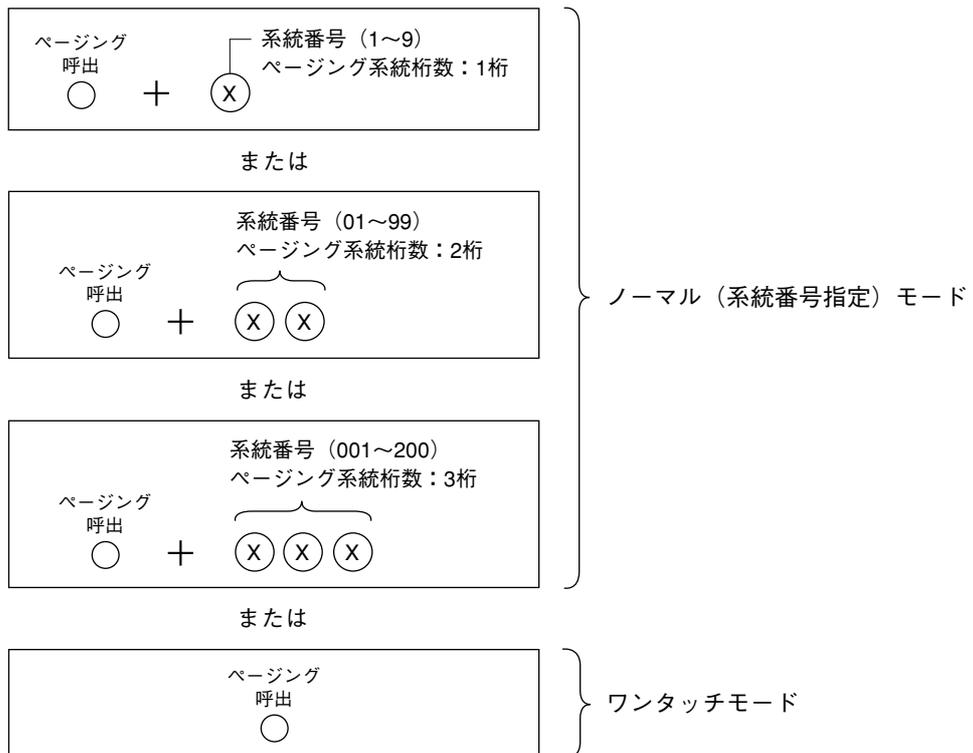
あらかじめ端末や拡声装置を組み合わせた系統を設定しておくこと、以下の操作で端末のスピーカや拡声装置を通して、系統ごとに呼び出し放送ができます。

呼び出し操作は、

ページング呼出キー + 系統番号 を押します。

- ※ ページングの系統番号桁数は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。
- ※ ページング系統は、第4章の「ページング所属端末設定」( P. 4-37) で登録します。
- ※ ページングの操作モードは、第4章の「ページング操作モード設定」( P. 4-38) で登録します。
- ※ S-7000S/-7000D は除きます。
- ※ S-7000W/-7000D へのページングはできません。

● 呼び出し操作



## ■ 一斉ページング

あらかじめ設定したすべての系統に対して、以下の操作で一斉に呼び出し放送ができます。

呼び出し操作は、

ページング呼出キー + 「0」キー\* を押します。

\* ページング系統桁数の設定が1桁のときは「0」、2桁のときは「00」、3桁のときは「000」を押します。

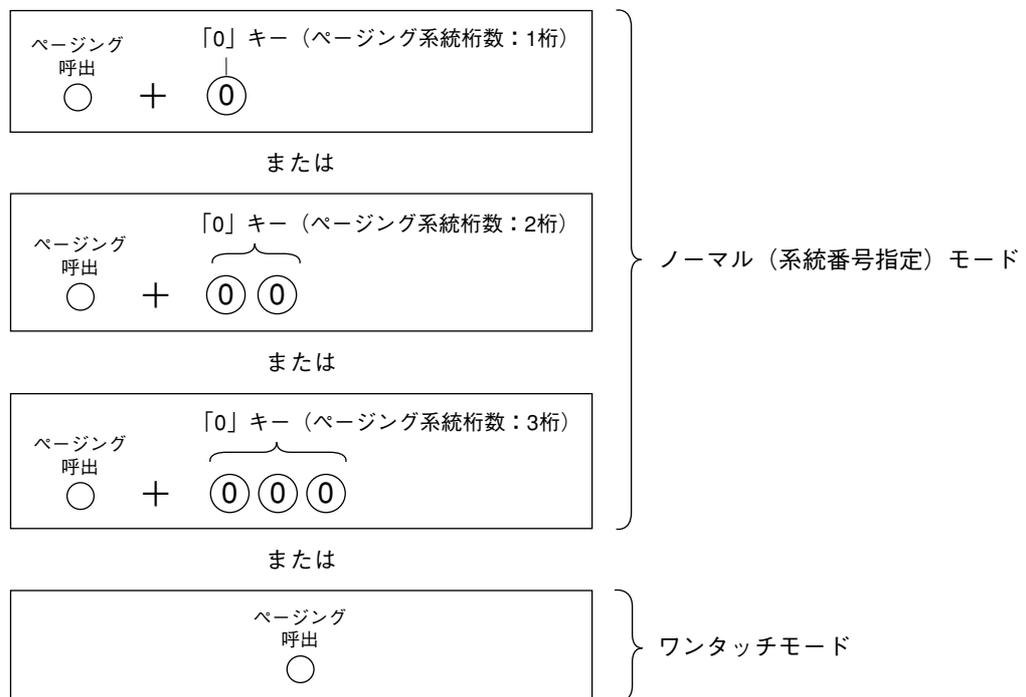
※ ページングの系統番号桁数は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。

※ ページングの操作モードは、第4章の「ページング操作モード設定」( P. 4-38) で登録します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

※ S-7000W/-7000D へのページングはできません。

### ● 呼び出し操作



## ■ 優先ステーションページング

- ・ 設定により、ページング先の端末が通話中の場合でも、通話に優先してページング放送ができます。
- ・ ページング放送中は元の通話は保留され、ページングが終了次第、元の通話に戻ります。
- ・ ページングされている端末が、放送を聞くのを止めて、他の端末を呼び出しできないように設定することもできます。(最優先ステーションページング)
- ・ 呼び出し操作は、系統ページングや一斉ページングと同じです。

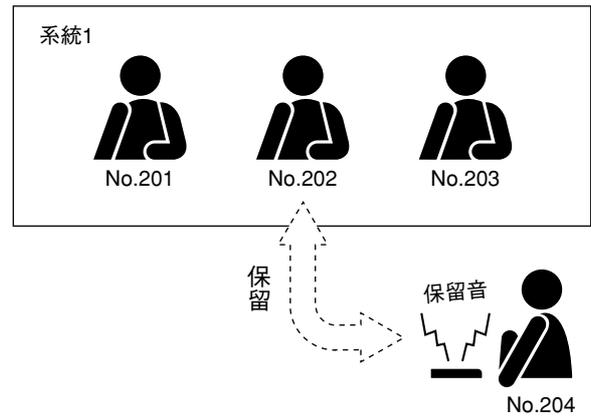
- ※ 設定は、第4章の「PIユニット設定」( P. 4-15) で登録します。
- ※ S-7000S/-7000D は除きます。
- ※ S-7000W/-7000D へのページングはできません。



ページング  
呼出  
○ + ①



系統1にページング放送

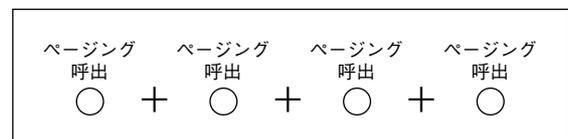


## ■ 緊急一斉ページング

- ・ 最も優先度の高いページングで、あらかじめ設定した端末からの操作により、他のページングや通話などのすべての機能を強制終了させ、一斉に放送できます。
- ・ 呼び出し操作は、ページング呼出キーを4回押します。

- ※ 操作できる端末は、第4章の「ページング操作モード設定」( P. 4-38) で登録します。
- ※ S-7000S/-7000D は除きます。
- ※ S-7000W/-7000D へのページングはできません。

- 呼び出し操作



## ■ 時差ページング

端末やスピーカの近くでページングする場合、ハウリングを防止するために放送内容をいったんメモリに録音して、各種ページング放送ができます。

時差ページングの操作は、以下の手順で行います。

1. 放送内容を録音します。

「\*」キー + ページング呼出キー + 系統番号

を押すと、録音が始まります（録音時間は最大16秒）。

2. 録音内容を放送します。

手順1.に続けて、PTTキーを押します。

● 繰り返して放送するとき

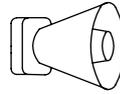
手順2.に続けて、PTTキーを押します。

● 放送を終了するとき（録音内容は消去されます。）

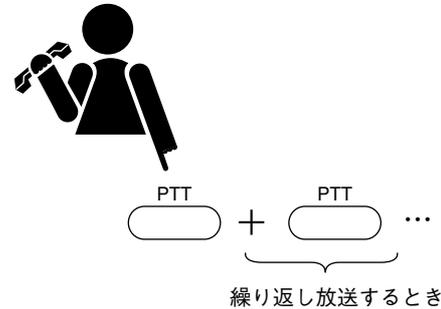
クリアキー（C）を押します。  
または、ハンドセットを置きます。

※ 緊急一斉ページングでは、この時差ページングができません。

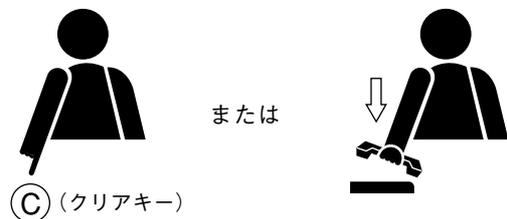
● 録音



● 放送



● 終了



## ■ ページング応答

ページング放送に対し、最寄りの端末で応答操作をすると、呼び出した相手と自動的に接続され通話できます。

### <系統ページングへの応答操作>

ページング応答キー + 系統番号 を押します。

### <一斉ページングへの応答操作>

ページング応答キー + 「0」キー\* を押します。

\* ページング系統桁数の設定が1桁のときは「0」、2桁のときは「00」、3桁のときは「000」を押します。

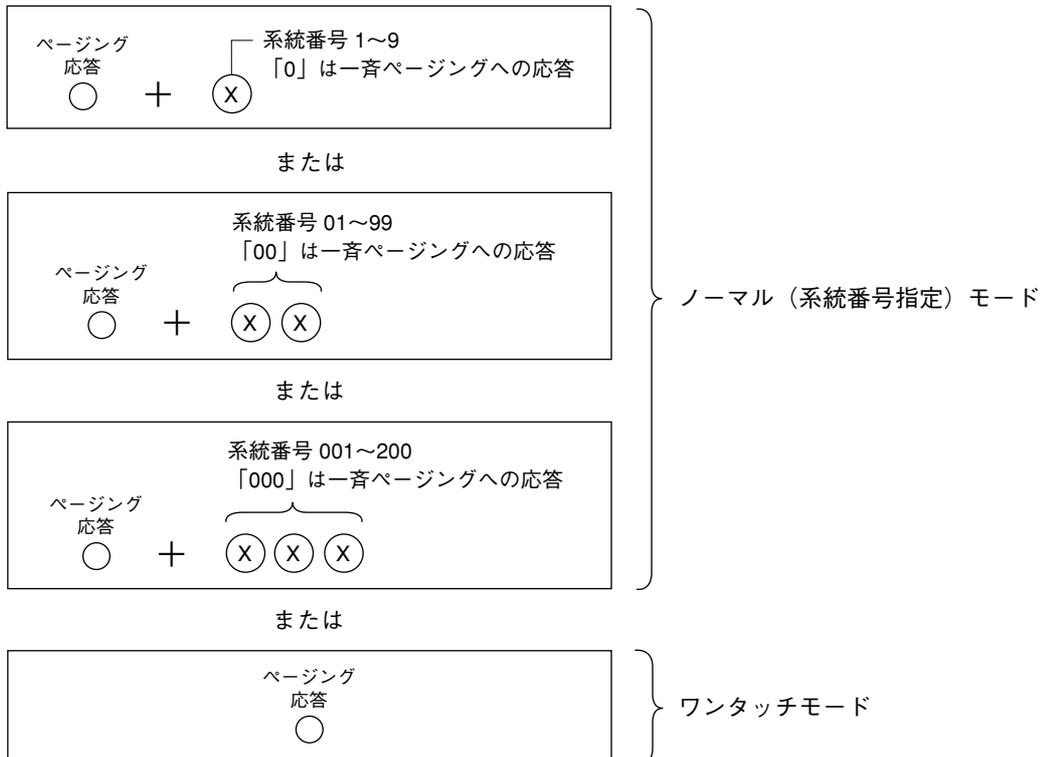
※ 緊急一斉ページングに応答することはできません。

※ ページングの系統番号桁数は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。

※ ページングへの応答操作モードは、第4章の「ページング操作モード設定」( P. 4-38) で登録します。

※ S-7000S/-7000D は除きます。

#### ● 応答操作



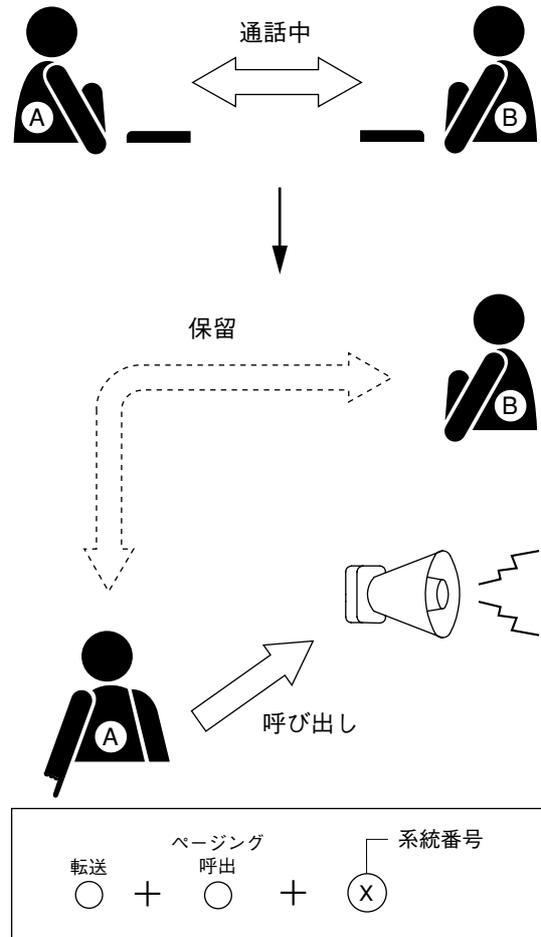
## ■ 転送ページング

通話中に転送したい相手をページングで呼び出し、応答を待ってその相手に転送したり、応答相手と打ち合わせ後、元の通話に戻ったりすることができます。

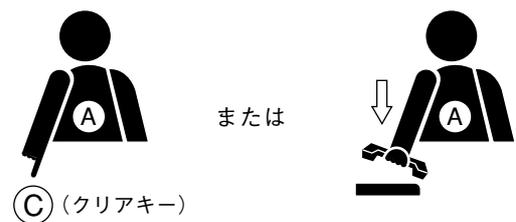
### <転送ページングの操作>

- ・通話中に転送キーを押すと、保留状態となります。続けて、ページング呼び出し操作を行うと、元の通話を保留したまま呼び出すことができます。
- ・応答を待つには、ページングを切らずにそのまま待つか、クリアキー（C）を押して元の通話に戻ってください。
- ・応答があれば自動的に元の通話は保留され、応答相手との通話に切り換わり、クリアキー（C）を押す（またはハンドセットを置く）と転送が完了します。
- ・応答相手との通話を切って、元の通話に戻りたいときは、もう一度、転送キーを押してください。

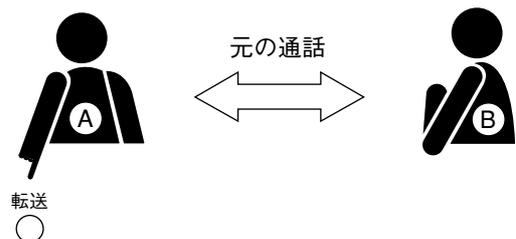
※ S-7000S/-7000D は除きます。



### ● 転送を完了するとき



### ● 元の通話に戻るとき



## ■ ページング呼出音選択

ページング系統ごとに、呼び出し音（6種類または無し）を設定できます。

※ ページング呼出音は、第4章の「ライン属性登録」（ P. 4-6）で登録します。

## ■ ページング呼出時間制限

ページング放送の制限時間を設定できます（1～255分または制限無し）。

※ 制限時間の設定は、第4章の「PIユニット設定」（ P. 4-15）で登録します。

## ■ ページング操作局限定

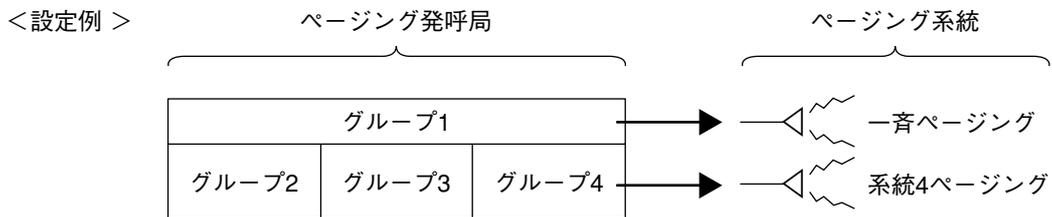
ページング呼び出し操作を端末ごとに禁止したり、呼び出し可能なページング系統をグループごとに設定したりすることができます。

※ ページング呼び出し操作の有無は、第4章の「ページング操作モード設定」（ P. 4-38）で登録します。

※ グループごとにページング可能な系統を設定するには、

まず、第4章の「限定局グループ設定」（ P. 4-30）でグループを登録します。

次に、第4章の「限定局ページング設定」（ P. 4-32）でページング可能な系統を登録します。



# オプション機能

各種ユニットを使用すると、実現できる機能です。

## ■ 局線接続

NTTの加入者回線やPBXの内線トランクと接続すると、端末から外線へ発信をしたり外線からの着信を受けたりして、外線と通話することができます。

### ● 発信

- ・ 局線発信操作特番を押すと、外線またはPBX内線へ発信することができます。
- ・ NTTまたはPBXからの発信音を確認してから相手の電話番号をダイヤルします。
- ・ オートダイヤルなどに登録して使用する場合でポーズを挿入するときは、リダイヤルキーを登録してください。

※ 局線発信操作特番は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。

※ S-7000S/-7000Dは除きます。

### ● 操作例



### ● ダイレクト・イン・ライン

- ・外線またはPBX内線から着信があると、あらかじめ設定した1台の端末を呼び出すことができます。  
(この着信音は、通常の着信音と異なります。)
- ・ハンドセットを取り上げると応答し通話できます。

※ 着信を受ける端末は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。  
※ S-7000D は除きます。

### ● 分散着信

- ・外線またはPBX内線から着信があると、あらかじめ設定した複数の端末(局線着信グループ)を呼び出すことができます(この着信音は、通常の着信音と異なります)。
- ・ハンドセットを取り上げて、局線着信操作特番を押すと応答し通話できます。
- ・局線着信グループ内の1人が応答すると、他の端末への呼び出しは止まります。

※ 局線着信操作特番、着信グループ番号は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。  
※ 着信グループの端末は、第4章の「CO着信グループ所属設定」( P. 4-40) で登録します。  
※ S-7000S/-7000D は除きます。

#### ● 着信



#### ● 応答



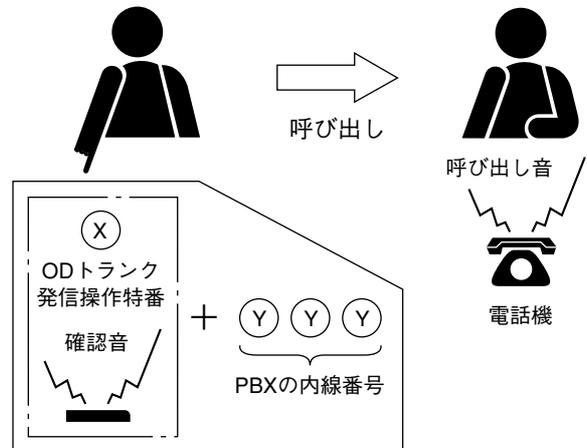
## ■ PBX 接続

PBXのODトランクと接続すると、PBXの内線電話機と相互に呼び出しや通話をしたり、PBXの内線電話機からページング放送などをしたりすることができます。

### < PBXの内線への呼び出し >

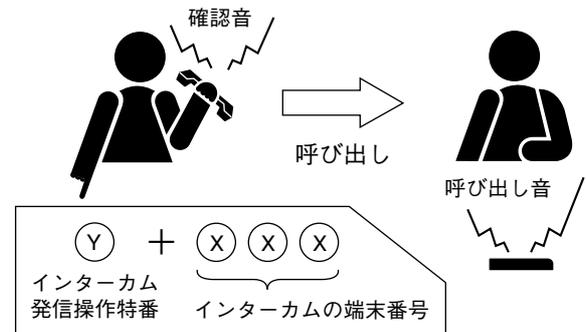
- ・ ODトランク発信操作特番を押すと、PBXと接続できます。
- ・ PBXからの発信音を確認して、PBXの内線番号をダイヤルします。

※ ODトランク発信操作特番は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。



### < PBXの内線からの呼び出し >

- ・ PBXの内線電話機からインターカムの発信操作特番を押すと、インターカムと接続できます。
- ・ インターカムからの発信音を確認して、インターカムの端末番号をダイヤルします。

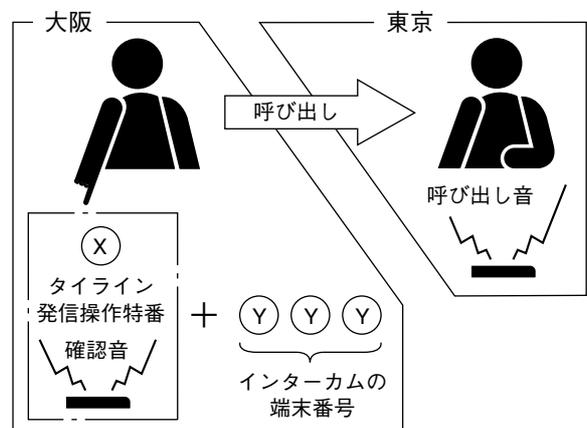


## ■ タイライン接続

4線式の専用線や私設線を介して別のインターカム交換機と接続すると、別の交換機の端末と相互に呼び出しや通話を行ったり、別の交換機へのページング放送を行ったりすることができます。

- ・ タイライン発信操作特番を押すと、他のインターカムと接続できます。
- ・ 接続したインターカムからの発信音を確認して、相手のインターカムの端末番号をダイヤルします。

※ タイライン発信操作特番は、第4章の「ライン属性登録」( P. 4-6) で登録します。



## ■ 発呼局表示

特定の端末（最大4台）にランプ型の表示盤を持たせると、その端末は通話相手や通話中に呼び出してきた相手をランプで表示させることができます。

複数の端末で表示盤を共有して、グループ内のどの端末にかかってきても表示させることができます。

（最大4グループ）

- ・表示盤を持つ端末に呼び出しがあると、呼び出しをしてきた端末のランプが点滅します。この呼び出しに応答すると点灯し、終話すると消灯します。
- ・表示盤を持つ端末が通話中で呼び出しがあるときも、呼び出しをしてきた端末（話中待ちの端末）のランプは点滅します。
- ・話中待ちの端末がキャンセルすればランプは消灯します。

### <話中局表示モード>

話中待ち、または呼び出し中で点滅しているランプを点灯にさせることもできます。

### <発呼局表示メモリ>

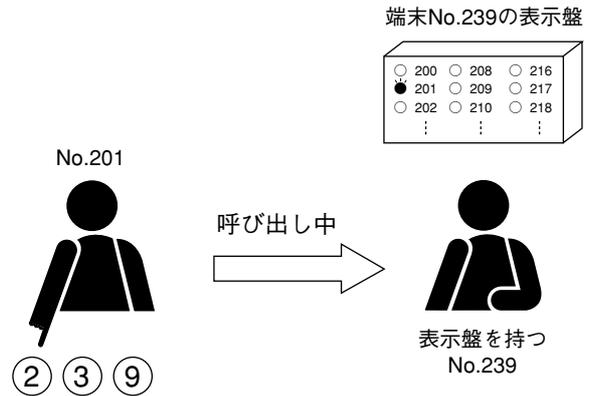
- ・話中待ちの端末がキャンセルしても、ランプを消灯しないで点滅または点灯したままにすることもできます（終話するとランプは消灯します）。
- ・クリア特番を押すと、表示盤のすべてのランプは消灯します。

※ 話中局表示モード、発呼局表示メモリ、クリア特番の設定は、第4章の「発呼局表示モード設定」（P. 4-27）で登録します。

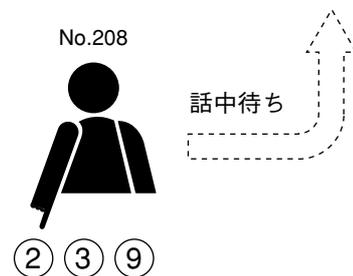
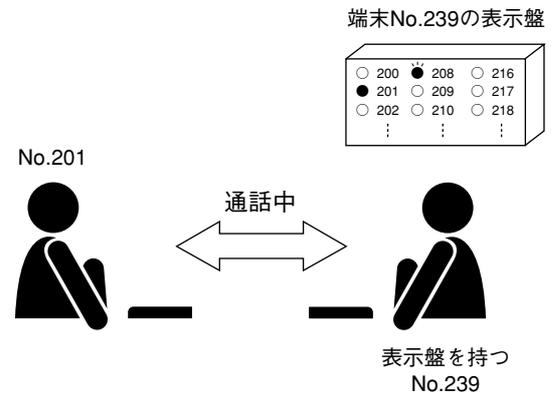
※ 表示盤を持つ端末のグループ設定は、第4章の「発呼局表示器グループ設定」（P. 4-28）で登録します。

※ 端末とランプの対応は、第4章の「発呼局表示器ランプ設定」（P. 4-29）で登録します。

#### ● 呼び出しがあるとき



#### ● 通話中に呼び出しがあるとき



## ■ 外部機器制御

データ送受信装置（E-7000DT、DR-B61）を利用してさまざまな機器や表示盤の制御ができます。

### <ワンショットメイク出力の場合>

ワンショットメイク特番とリレー番号をダイヤルすると、指定した番号のリレーが2秒または4秒間メイクします。

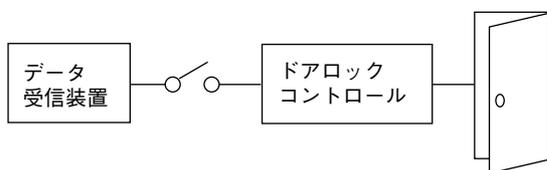
### <メイク/ブレイク出力の場合>

- ・メイク特番とリレー番号をダイヤルすると、指定した番号のリレーがメイクします。
- ・ブレイク特番とリレー番号をダイヤルすると、指定した番号のリレーがブレイクします。

※ リレー番号は、2桁または3桁で指定します。

※ ワンショットメイク特番、メイク特番、ブレイク特番は、第4章の「DTユニット設定」（ P. 4-14）で登録します。

#### ● ワンショットメイク出力制御によるドアリモート例



#### ● メイク/ブレイク出力制御による投薬表示例

1	6	11	16
2	7	12	17
3	8	13	18
4	9	14	19
5	10	15	20



# 第7章

---

## 設定表

この章では、システムプログラミングのときに便利な設定表を用意しています。  
必要な設定表をコピーしてご使用ください。

E-7000DL 局番設定表 (機能コード01)

ユニット名	スロット番号	チャンネル番号	回線種類	局番	端末種類	マスター局番	ゾーン番号
E-7000DL		1					
		2					
		3					
		4					
		5					
		6					
		7					
		8					
E-7000DL		1					
		2					
		3					
		4					
		5					
		6					
		7					
		8					
E-7000DL		1					
		2					
		3					
		4					
		5					
		6					
		7					
		8					
E-7000DL		1					
		2					
		3					
		4					
		5					
		6					
		7					
		8					

## E-7000PI 局番設定表 (機能コード01)

ユニット名	スロット番号	チャンネル番号	回線種類	系統番号	呼出音	ステーションページング
E-7000PI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
E-7000PI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
E-7000PI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
E-7000PI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				

E-7000CO 局番設定表 (機能コード01)

ユニット名	スロット番号	チャンネル番号	回線種類	選択信号	発信操作	着信種別	着信操作	着信端末	着信グループ
E-7000CO		1							
		2							
		3							
		4							
		5							
		6							
		7							
		8							
E-7000CO		1							
		2							
		3							
		4							
		5							
		6							
		7							
		8							
E-7000CO		1							
		2							
		3							
		4							
		5							
		6							
		7							
		8							
E-7000CO		1							
		2							
		3							
		4							
		5							
		6							
		7							
		8							

E-7000TI 局番設定表 (機能コード01)

ユニット名	スロット番号	チャンネル番号	回線種類	選 択 号	信 号 方 式	発 信 操 作
E-7000TI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
E-7000TI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
E-7000TI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
E-7000TI		1				
		2				
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				

E-7000AL 局番設定表 (機能コード01)

ユニット名	スロット番号	チャンネル番号	回線種類	局番	マスター局番
E-7000AL		1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		8			
E-7000AL		1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		8			
E-7000AL		1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		8			
E-7000AL		1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		8			

## 特番設定表

機能コード	機能名称		番 号	最大桁数
01	局 線		発信操作	4 桁
			着信操作	4 桁
	PBX 内線		発信操作	4 桁
			着信操作	4 桁
	OD トランク		発信操作	4 桁
タイライン		発信操作	4 桁	
04	外部機器制御	出力 1	メイク特番	6 桁
			ブレイク特番	6 桁
			ワンショットメイク特番	6 桁
		出力 2	メイク特番	6 桁
			ブレイク特番	6 桁
			ワンショットメイク特番	6 桁
		出力 3	メイク特番	6 桁
			ブレイク特番	6 桁
			ワンショットメイク特番	6 桁
		出力 4	メイク特番	6 桁
			ブレイク特番	6 桁
			ワンショットメイク特番	6 桁
11	ビジールバック		登録特番	1 桁
			取消特番	6 桁
12	リコール		リコール特番	6 桁
13	代理応答		グループ登録特番	6 桁
			応答特番	6 桁
14	固定不応答転送		ON 特番	6 桁
			OFF 特番	6 桁
15	可変不応答転送		転送先登録特番	6 桁
			転送元登録特番	6 桁
18	端末特番		呼出音選択特番	6 桁
19	ファンクションキー振替え		ページング呼出キー	6 桁
			ページング応答キー	6 桁
			転送キー	6 桁
			機能キー	6 桁
20	短縮ダイヤル		可変短縮ダイヤル1桁目	1 桁
			固定短縮ダイヤル1桁目	1 桁
27	割込み		操作特番	1 桁
			応答特番	1 桁
			強制・緊急特番	1 桁
30	発呼局表示		クリア特番	6 桁
40	ワンタッチダイヤル		登録特番	6 桁
43	巡回記録		巡回記録特番	6 桁
44	端末モニタ		モニタ特番	6 桁

## 機能設定表

機能コード	機能名称		登録内容		
01	ページング	系統桁数	1	2	3
04	外部機器制御	出力桁数	2	3	
		出力1出力モード	メイク/ブレイク	ワンショット2秒	ワンショット4秒
		出力2出力モード	メイク/ブレイク	ワンショット2秒	ワンショット4秒
		出力3出力モード	メイク/ブレイク	ワンショット2秒	ワンショット4秒
		出力4出力モード	メイク/ブレイク	ワンショット2秒	ワンショット4秒
05	ページング	転送ページング	なし	あり	
		優先ページングモード	ノーマル	優先	最優先
		時差ページング	固定	併用	
		呼出時間	分		
11	ビジーコールバック	呼出時間	秒		
14	固定不応答転送	呼出回数	回		
		切換時刻1	時 分		
		切換時刻2	時 分		
15	可変不応答転送	呼出回数	回		
17	通話時間制限	パターン1	分		
		パターン2	分		
		パターン3	分		
30	発呼局表示	発呼局表示メモリ	なし	あり	
		話中局表示	点灯	点滅	

コードレス端末局番設定表（機能コード22）

番号	局番	番号	局番	番号	局番	番号	局番	番号	局番
1		33		65		97		129	
2		34		66		98		130	
3		35		67		99		131	
4		36		68		100		132	
5		37		69		101		133	
6		38		70		102		134	
7		39		71		103		135	
8		40		72		104		136	
9		41		73		105		137	
10		42		74		106		138	
11		43		75		107		139	
12		44		76		108		140	
13		45		77		109		141	
14		46		78		110		142	
15		47		79		111		143	
16		48		80		112		144	
17		49		81		113		145	
18		50		82		114		146	
19		51		83		115		147	
20		52		84		116		148	
21		53		85		117		149	
22		54		86		118		150	
23		55		87		119		151	
24		56		88		120		152	
25		57		89		121		153	
26		58		90		122		154	
27		59		91		123		155	
28		60		92		124		156	
29		61		93		125		157	
30		62		94		126		158	
31		63		95		127		159	
32		64		96		128		160	

コードレス端末局番設定表（機能コード22）

番号	局番								
161		193		225		257		289	
162		194		226		258		290	
163		195		227		259		291	
164		196		228		260		292	
165		197		229		261		293	
166		198		230		262		294	
167		199		231		263		295	
168		200		232		264		296	
169		201		233		265		297	
170		202		234		266		298	
171		203		235		267		299	
172		204		236		268		300	
173		205		237		269		301	
174		206		238		270		302	
175		207		239		271		303	
176		208		240		272		304	
177		209		241		273		305	
178		210		242		274		306	
179		211		243		275		307	
180		212		244		276		308	
181		213		245		277		309	
182		214		246		278		310	
183		215		247		279		311	
184		216		248		280		312	
185		217		249		281		313	
186		218		250		282		314	
187		219		251		283		315	
188		220		252		284		316	
189		221		253		285		317	
190		222		254		286		318	
191		223		255		287		319	
192		224		256		288		320	

## 端末設定表

機能 コード	局番								
	設定項目								
	名 称								
23	通話時間制限								
24	話中転送先								
	固定転送先 1								
	固定転送先 2								
	固定転送モード								
26	ハリーアップ								
28	緊急割込								
29	割込レベル番号								
31	発呼局表示器番号								
32	発呼局ランプ番号								
33	限定局グループ番号								
41	固定転送								
	着信モード								
	自動着信音								
	連続呼出音								
45	モニタ呼出端末								
46	モニタ着信端末								
52	ページング操作局								
		緊 急							
		一 斉							
	ページング 呼出操作	モード							
		系統番号							
	ページング応答モード								
61	局線着信グループ番号								
62	局線発信規制								







限定局呼出設定表 (機能コード 34)

発呼グループ	被呼グループ																																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	グループ外				
1	○																																		○		
2		○																																		○	
3			○																																	○	
4				○																																○	
5					○																															○	
6						○																														○	
7							○																													○	
8								○																												○	
9									○																											○	
10										○																										○	
11											○																									○	
12												○																								○	
13													○																							○	
14														○																						○	
15															○																					○	
16																○																				○	
17																	○																			○	
18																		○																		○	
19																			○																	○	
20																				○																○	
21																					○															○	
22																						○														○	
23																							○													○	
24																								○												○	
25																									○											○	
26																										○										○	
27																											○									○	
28																												○								○	
29																													○							○	
30																														○						○	
31																																			○	○	
32																																				○	○
グループ外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	





